

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO MARCH 2015 VOL.63 NO.3

ロータリーの友3月号 第63巻 第3号
平成27年3月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻747号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

3

2015



識字率向上月間

子どもが教室で学べるように

ロータリー家族の絆を強める
ローターアクター

Rotary 



励ましとは炎のようなものです。

奉仕の薪をくべなければ、まもなく消えてしまいます。

ロータリーの創始者 ポール・ハリス



キリトリ線

キリトリ線



サンパウロで 友情を築きましょう



黄其光 (Gary C.K. Huang)

2014 - 15 年度 RI 会長
台湾・台北 RC

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーで、私たちは世界中のロータリアンの仲間たちと友情の絆を築く機会があります。そして、新しいアイデアを分かち合うため、新しい奉仕を計画するため、そしてまさに楽しむために、私たちは 1 年に 1 度、国際大会で、ロータリーの友人と一堂に会する機会を持っています。

2014 - 15 年度の締めくくりを祝い、友人とともにロータリーに輝きを与えるには、ブラジル・サンパウロで行われるロータリーの第 106 回年次大会に参加するのが最適の方法です。今まで国際大会に参加したことがない人も、常連の人もこれを見逃すわけにはいきません。事前登録引は 3 月 31 日まで。ロータリー最大のパーティーに行く計画を今すぐ立てましょう。

盛りだくさんな大会イベント

大会は 6 月 6 日（土曜日）に始まり、開会式の後、アニャンピ・サンバドロームでブラジルの伝統的なカーニバルパーティーとサンバ・スクール・パレードが行われます。自分はずもリズム感がないとか音痴だと思っている人でさえ、一晩中、踊ったり、歌ったり、笑ったりしていることに気づくでしょう。このパーティーとパレードは派手な色彩、羽根飾り、スパンコールのカーニバルの衣装が大きな特徴ですが、サンバの様子や音、アフリカ系ブラジル人の音楽とダンス、サンパウロのおいしい食べ物や飲み物も呼び物です。

月曜日の夜には、ラテン・グラミー賞を 2 度受賞したイヴェッチ・サンガロがロータリアンを楽しませてくれるでしょう。そのほかにも大会期間中、「ロータリーレストランナイト」を利用して、ラテンアメリカの食の中心地で、割引価格で食事を楽しむことができます。アマゾンのおいしい魚、ラテン風の寿司、ブラジリアン・ビーフなどがサンパウロの 30,000 店のレストラン、バーで楽しめます。国際大会の名札を着けていれば、サッカーミュージアムな

ど入場料が無料になる博物館もあります。

多様性あるブラジル文化を感じましょう

ブラジルはロータリーと同じくらい多様性に富んでいます。パウリスタと呼ばれるサンパウロの人々は世界中から影響を受け、活気ある文化をつくってきました。ロータリーの国際大会のハイライトの一つは、「ホスピタリティーナイト」で、ここでは地元のロータリアンと知り合うことができます。月曜日の夜は、パウリスタのライフスタイルをブラジルのロータリアンとともに経験できる機会です。人数が限られていますから、予約はお早めに。

ロータリーでは、奉仕に親睦はつきものです。皆さんが今年度の活動に焦点を当てているのと同様に、国際的な友情の大切さを見失わないようにすること、www.riconvention.org でサンパウロ国際大会の登録を忘れないようお願いしたいと思います。

Gary C.K. Huang

2014-15 年度 国際ロータリー会長

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

『Rotary Japan』のホームページに、英文の RI 会長メッセージを掲載しています。

3月は識字率向上月間です
3月9～15日は世界ローターアクト週間です

- 3 RI 会長メッセージ
サンパウロで友情を築きましょう 
RI 会長 黄 其光

- 19 心は共に 東日本大震災
あれから4年……
ロータリーの支援活動は続いています
いわき桜 RC 遠藤希和子/善通寺 RC 樋笠 幸三/
東京三鷹 RC 奉仕プロジェクト委員長 白石 隼男/
京都紫野 RC/小倉中央 RC 樋上弥寿子/
第2530地区 国際奉仕委員長 武田 安永

- 23 ロータリーデー
篠山 RC 今井 保晴/横浜あざみ RC/大津中央 RC/
八代東 RC/鳥取北 RC 地域奉仕委員長 田村 博信/
スリランカ/バングラデシュ

- 26 2015-16年度国際ロータリー会長
K. R. “ラビ” ラビンドラン
THE ROTARIAN 3月号から

- 31 世界へのプレゼントになろう
2015年国際協議会リポート

- 36 Rotary いま……
ハードルが高くなった? RI 会長賞

- 37 山椒は小粒でもぴりりと辛い
—小さなクラブにあふれる奉仕の心—
燕 RC 遠藤 重治/粉河 RC/八幡浜 RC/
川口/鳩ヶ谷武南 RC/東京田園調布緑 RC 会長 黒坂 浩/
富岡かぶら RC/仙台レインボー RC 秋田 陽子/
茨木 RC 長谷川 浩/蕨 RC/小樽銭函 RC/
関西国際空港 RC 樫井 賢一

- 6 ■ロータリーとは
48 ■エバンストン便り
48 ■管理委員長の思い 
49 ■ロータリー掲示板

新 RC・RC 事務所住所変更・RC 例会変更・新 RAC・
2015-16年度『友』誌表紙写真募集のご案内・例会一覧表のご案内・
2015年6月号『友』誌表紙写真再々募集のご案内・2015-2016年度版
ロータリー手帳のご案内・地区別クラブ数/会員数/出席率一覧表・
『友』4月号主要記事予定

- 51 ■日本ロータリー分布図

- 51 ■奥付

- 52 ■第3回ロータリー活動フォトコンテスト募集中!

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

- 7 特集 識字率向上月間
子どもが教室で学べるように

地域企業の協力で、
シャープペンシルをフィリピンの児童に
吉川 RC 国際奉仕委員長 豊田 宇助

13年前に寄贈した「みなと食堂」をリニューアル
金沢みなと RC 会長 鳥毛 ミチ

過酷な通学環境緩和のために
タイに日本の放置自転車を贈呈
せせらぎ三島 RC

ラオスの5小学校に机といすを寄付
千葉港 RC

素晴らしい元留学生たちと、
ミャンマー寺子屋支援活動
第2570地区国際奉仕部門国際支援委員会 田島 博夫

アフリカ・ギニアの小学生にランドセルを贈ろう
熊本西稜 RC 広報委員会 山角 智秀

ささやかな学びやをネパールの子どもたちへ
東京武蔵村山 RC 国際奉仕委員長 見延 壽昭

- 14 特集 世界ローターアクト週間
ロータリー家族の絆を強める
ローターアクター

第2580地区/弘前 RAC/米子 RAC/藤岡 RAC/
第2560地区/第2660地区/高知西 RAC/第2680地区/
第2710地区/第2640地区/第2600地区/第2700地区/
第2590地区/第2790地区・第2580地区/第2720地区/
第2650地区/第2630地区/第2640地区ローターアクト

- 42 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ⑤

私を変えた米山体験

宗像 RC 安増 惇夫
米山学友 劉 平

- 44 視点 ガバナーのページ

第2770地区 濱野 英美/第2790地区 宇佐見 透
第2800地区 池田 徳博/第2820地区 藤居 彰一
第2830地区 工藤 武重/第2840地区 竹内 正幸
第2580地区 鈴木 孝雄/第2590地区 大野 清一

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp



P7~13 3月は識字率向上月間です。ロータリアンは子どもたちが学校で学べるように支援しています

ロータリーの友 委員会		特別顧問	地区 代表委員
委員長	橋本 長平 (京都東)	中山 義之 (横浜南)	2500 佐藤 真康 (帯広)
副委員長	清水 良夫 (横浜)	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)	2510 柳 孝一 (札幌横南)
R I 理事	北 清治 (浦和東)	上野 孝 (横浜)	2520 太田マリ子 (盛岡滝ノ沢)
R I 理事	杉谷 卓紀 (玉名)	安平 和彦 (姫路)	2530 金平 祖隆 (福島北)
		片岡 信彦 (土浦南)	2540 加賀 美奈 (大曲)
		顧問 本田 博己 (前橋)	2550 伊藤 一男 (大田原)
		志田 洪順 (静岡)	2560 山内 正胤 (十日町)
		大室 偶 (宝塚武庫川)	2570 今泉 博 (川越)
		鈴木 喬 (東京江北)	2770 宮下 守夫 (大宮シティ)
		水野 功 (東京飛火野)	2790 寺川 典秀 (千葉幕張)
			2800 御橋 広真 (鶴岡西)
			2820 木曾 正明 (日立)
			2830 中畑 肇 (弘前西)
			2840 島津 文弘 (高崎北)
			2580 石橋 正男 (東京東江戸川)
			2590 長戸はるみ (川崎高津南)
			2600 山口 健雄 (伊那)
			2610 小間 茂雄 (高岡)
			2620 阿部 正義 (浜松北)
			2630 加藤真左子 (多治見西)
			2750 西澤 宗英 (東京渋谷)
			2760 岩瀬淳一郎 (豊川)
			2780 加藤 盛久 (茅ヶ崎湘南)
			2640 京谷 知明 (堺フェニックス)
			2650 橋本 和典 (奈良大宮)
			2660 藤田誠一郎 (大阪帝塚山)
			2670 石川 浩 (高松南)
			2680 熊見 一郎 (神戸須磨)
			2690 植山 義晴 (益田)
			2700 廣澤 元彦 (小倉東)
			2710 田頭 和規 (福山南)
			2720 高山龍五郎 (大分)
			2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
			2740 杉原 宏一 (諫早北)
			編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,558、会員総数1,220,115人（2014年10月1日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,278、会員数88,460人（2014年12月末現在）となっています。

2014 - 15 RI テーマ



Light Up Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 識字率向上月間



子どもが教室で学べるように



地域企業の協力で、シャープペンシルをフィリピンの児童に

吉川RC国際奉仕委員長 豊田 宇助

吉川ロータリークラブ(RC)では、2014年9月13～16日、第2770地区のフィリピンでの支援事業の視察に、邨田茂会長、国際奉仕委員長を中心に5人で参加しました。クラブでは3年間の継続プロジェクトとして、第3800地区・メトロノバリチェスカローカンRCとともに、学用品も買えない約300人の子どもに学用品と辞書を提供する事業を行っています。今回はその視察で、タリババ小学校を訪問しました。

当クラブの地元・吉川市にある、ぺんてる(株)吉川工場の厚意で寄贈いただいたシャープペンシル1,200本と替え芯1,000ケースを贈呈。当日は台風の影響で休校でしたが、校長先生と児童約20人がわれわれを出迎えて歓迎してくれました。一人ひとりにシャープペンシルを手渡したところ、子どもたちは大喜び。そんな子どもたちの笑顔や姿は、実際に接して感じることであり、大きな感動をいただきました。(第2770地区 埼玉県)



①



②



③

①現地ロータリアン、校長の歓迎を受ける
②③直接、子どもたちに手渡す
④子どもたちが旗を振って出迎える



④

13年前に寄贈した「みなと食堂」をリニューアル

金沢みなとRC会長 鳥毛 ミチ

金沢みなとロータリークラブ(RC)は今年度、国際奉仕活動の一環で、タイ・ラチャブリの小学校にクラブが設置していた食堂をリニューアルし、図書も併せて寄贈するプロジェクトを行い、2014年12月、会員と家

族14人でタイを訪問した。

バンコクからバスで約2時間半かけ、ラチャブリに到着。道の両側には、日本とタイの国旗を振った子ども約120人と、第3330地区・ラチャブリRCの会員が

大勢で出迎えてくれた。

この食堂は2001年にクラブが建設して以来、大勢の子どもたちを育ててきた。「みなと食堂」と名付けられ、喜んでもらっていたが、今回、古くなったこの食堂をラチャブリRCとの協同事業でリニューアルした結果、きれいになった。食堂の壁には、桜満開の金沢城が描かれていた。

また、小学生や住民に利用され、地域のコミュニティー広場としても活用されている図書室に、クラブは今回だけでなく以



子どもたちの歓迎を受ける

満開の桜と金沢城の絵

折り紙に挑戦



前から本を寄贈しているが、利用者の話では「地域の人々の教育に役立っている」とのことである。

セレモニーの後、子どもたちと先生方を集めて、折り紙を教えた。みんな興味深く熱心に折り紙に挑戦し、楽しいひとときを過ごした。

育って行く若い芽が伸びて成長したら、日本とタイの

親睦の懸け橋になってくれることを心から願った。

セレモニー終了後の、ラチャブリRCのロータリアンとの親睦食事会では、お互いに、活発に意見を交換し合った。今後の事業連携の話など、単発で終わらせずに継続して行いたい、という意見が多く出て、実のある会になったことをうれしく思った。（第2610地区 石川県）

過酷な通学環境緩和のために タイに日本の放置自転車を贈呈 せせらぎ三島ロータリークラブ

2014年11月24日、せせらぎ三島ロータリークラブ（RC）の会員17人がタイ・チェンマイ県で行われた「第103回タイ放置自転車贈呈式典」に参加した。

当日は晴天に恵まれ、南国の暖かい気候の中、矢岸貞夫会長があいさつと、今回の事業について報告した。式典には河口湖RCの会員10人をはじめ、第3350地区・バンコク・スリウォンRCと第3360地区・チェンマイ北RCの会員、現地の生徒も参加。在チェンマイ日本国総領事の藤井昭彦氏とチェンマイ県副知事は「このプロジェクトは素晴らしい」「学校に行くまでが便利になった」と、あいさつで感謝の言葉を述べた。

当クラブのこの事業への参加は、今回で12回目を迎える。事のきっかけは、2003年に当時の国際ロータリー会長のビチャイ・ラタクル氏（トンブリRCの創立会員で、タイの外務大臣、副首相を歴任）とバンコク・スリウォンRCの会員が駿東郡長泉町にある米山梅吉記念館を訪問し、その際に三島市で行われていた静岡第2分区のIM（インターシティー・ミーティング）を訪れたことだ。そこでタイへの放置自転車贈呈事業の話が上がった。

タイ国内の中・高等学校数は約1万3,500校あり、これらの学校に通う生徒数は約400万人に上るが、多くの学生は

炎天下、遠距離の徒歩通学の状況にあった。このような過酷な通学環境を少しでも緩和するため、通学の手助けとなる支援として、バンコク・スリウォンRCは、日本の放置自転車をタイ国内の学校に贈呈し、遠距離通学をしている生徒に対し、学校を通じて貸し出す活動を始めていた。ちなみに同RCはタイで唯一、日本語で例会を運営するクラブ。会員約20人で、在タイの日本人と日本語を話すタイ人で構成されている。

せせらぎ三島RCではその事業への協力・支援ができないかとの思いから、2003年のIMの1か月後には会員5人がバンコク・スリウォンRCを訪問して事業についての見識を深め、同年10月に第1回の贈呈を実施。以降、クラブとして毎年約450台を寄贈し、今回の12回目の自転車贈呈式で累計5,400台（103回の事業全体での累計は4万6,000台余）の自転車をタイに寄贈している。

タイの経済発展は目覚ましく、人々の生活レベルも向上し、せせらぎ三島RCでも時代の変化に併せ今すべきこと、できることをあらためて思索する時期を迎えている。しかし、現地では「まだまだ自転車が足りない」との声も聞かれる。会員たちは、この自転車が子どもたちの足となり、生活環境の改善に、ひいてはタイの地域社会の発展の一助となり、日本とタイの友好が末永く続くことを願っている。（第2620地区 静岡県）

左：藤井昭彦総領事のあいさつ 左下：チェンマイ県副知事も交え記念撮影 右下：自転車にまたがって笑顔



ラオスの5小学校に机といすを寄付

千葉港ロータリークラブ



①寄贈式参列の子どもたち ②ロータリー徽章を貼る ③土がむき出しの旧校舎 ④新校舎に置かれた新しい机といす ⑤⑥みんなで記念撮影

千葉港ロータリークラブ（ＲＣ）は、クラブ創立 30 周年記念事業として、ラオス人民民主共和国サラワン県の 5 つの小学校に対し、同国および地元政府、現地在住の日本人ボランティアと協力し、児童 400 人分の机といすを寄贈しました。これにより、同県の小学生の学習環境が改善されることが期待されています。

ラオスはカンボジア、ミャンマーとともに新興メコン 3 か国として今後の発展が期待されていますが、現状では GDP（国内総生産）が 100 億ドル（2014 年、国際通貨基金）にとどまり、国際連合基準では後発開発途上国と位置付けられています。また 2005 ～ 11 年の 15 歳以上の識字率は 73%にとどまるなど（ユネスコ統計研究所データベース）、経済状態から教育への投資も十分とはいえません。こうした中、ラオス政府の支援も受けて同国の高校生への無償教育事業を運営する「てっちゃんねっと・トレーニング・センター」代表の吉田哲朗氏から、サラワン県の小学校が学習机やいすの不足で困っている、との情報が当クラブにもたらされました。

当クラブで早速事情を調査したところ、同国南部のサラワン県は、首都ビエンチャンからバスで 16 時間と、交通不便な地域にあって経済発展が遅れていることが

ら、教育投資への余裕がなく、外部からの支援を求めていることが判明しました。当クラブは、同県の小学生の学習環境改善が喫緊の課題であると判断し、地区の協力も得て、クラブ創立 30 周年記念事業の一環として今回の寄贈を決定しました。

寄贈式は 2014 年 9 月 23 日、サラワン県サラワン市センワン小学校で行われました。クラブからは藤田英司会長以下 4 人が、日本から 17 時間かけて参加しました。

代表団は午前 9 時 30 分に到着しましたが、式典の開始予定が 11 時にもかかわらず、マニーソン・ルーシーサムット国会議員（サラワン県選出）ほか政府関係者、サラワン県教育局長、先生、児童、保護者など約 100 人がすでに参列しており、期待の大きさを実感しました。

式典では国会議員と千葉港 ＲＣの紹介、サラワン県教育局長の謝辞、藤田会長のあいさつに続き、机といすの贈呈、記念写真撮影を行い、無事終了しました。

同小学校は、旧校舎と新校舎があります。旧校舎教室には床がなく、地面に老朽化した不ぞろいの机を並べて学習していました。新校舎はアスファルトの床があるものの机がなく、小学生は床に座り込んで勉強していました。当クラブの寄贈により、机で勉強できると小学生が

喜んでくれました。他にも寄贈したコンセンドン市カントウン小学校、サムアイ市メオパッタナ村小学校、サラワン市パゴー小学校、ノンサイ小学校も同様の状況だと

聞いています。本件を契機に、サラワン県だけでなく、ラオスとの親善を深めていく所存です。

(第2790地区 千葉県)

素晴らしき元留学生たちと、ミャンマー寺子屋支援活動

第2570地区国際奉仕部門国際支援委員会 田島 博夫(行田さくらRC)



ヤンゴン近郊の寺子屋の院主に寄付を渡す新島修一部門委員長

2013 - 14 年度に発足した当地区の国際奉仕部門国際支援委員会の活動は、前年度までのWCS(世界社会奉仕)委員会の活動を引き継いで、さらに発展を図っている段階です。委員会では、発展途上国を対象にした「環境保全支援運動」「世界寺子屋支援活動」の資金援助を実施しています。

地区では以前から、日本ユネスコ協会連盟が実施する発展途上国での識字率向上支援活動「世界寺子屋運動」を支援してきました。各クラブから拠出いただいた支援金をより多く現地に送り、「目に見える支援をしよう」ということで、地区が直接支援する形で活動を行うための、委員会の努力が始まりました。地区内にすでにあった縁を手繰り、ミャンマーの寺子屋の支援に、われ

われ独自に、信用のできる現地のパートナーを探ことからスタートしました。折よくミャンマーには2014年5月に同国で初めて創立された第3350地区・ヤンゴンロータリークラブがあり、2014年11月8～14日の日程で、地区の担当委員5人が現地を訪れ、今回はヤンゴン、バガン近郊の4つの寺子屋やヤンゴン大学などを訪問しました。

現地のパートナー探しには、ドクター・ティン(Dr. Htay Lwin)氏の活躍がありました。ティン氏は当地区の今泉清詞パストガバナーの私的奨学金「今泉記念ビルマ奨学会」の奨学金を受けて日本の大学で勉学に励み、現在、医師となって自国と日本の行き来を続けています。両国の懸け橋となるべく「ミャンマー日本友好協会」の事務局長としても尽力されています。自身が受けた奨学金支援に感謝し、この国の将来を憂い、何を成すべきか一緒に考え、自らわれわれのミャンマーの現地視察に全面的に協力してくれ、訪れた寺子屋にも、多くの浄財を支援してくださいました。

現地では、米山記念奨学会の支援を受けて育った米山学友会のメンバーの多くが、独自に寺子屋への支援を行っています。この日本独自の米山記念奨学金の理念がきちんと根付いていることが感じられました。現地のパートナー作りのための窓口として、彼らの存在が大きなものとなりそうです。(埼玉県)

① Dr. ティン氏(右)の通訳で子どもたちにあいさつ ② 院主を敬い、あいさつをしてから下校 ③ 日本からお土産のキャンディーをプレゼント



アフリカ・ギニアの小学生にランドセルを贈ろう

熊本西稜RC広報委員会 山角 智秀

熊本西稜ロータリークラブ（RC）はクラブ創立25周年記念事業として、アフリカ・ギニア共和国の小学生に、文房具などの学用品を寄贈する奉仕活動を計画しました。

ギニア共和国はアフリカ大陸西部に位置し、人口は約1,000万人、国民一人あたりのGNI（国民総所得）は460ドル（日本4万6,330ドル／世界銀行、2013年）と、非常に貧しい国の一つに数えられています。農業と鉱業（主にボーキサイト）が主要な産業ですが、経済的には恵まれていません。

こうした状況の中、子どもたちの学用品なども大変不足しており、教育環境が整っていないそうです。今回の奉仕活動は、NPO法人日本ギニアコナクリ国際交流協会代表のカマラ・モハメッドさん（熊本県在住）の呼びかけに応じて計画したもので、モハメッドさんによると、不用になったランドセルを贈ったところ、子どもたちに変え喜ばれたそうです。これまでは個人レベルで行われていましたが、今回は熊本西稜RCが主体となり、地区補助金を活用し、各方面（市内中学校など）に呼びかけ、コンテナで輸送するという大規模な計画を立てました。

2014年7月から準備し、ランドセル1,000個の収集を目標としたところ、最終的に1,871個を集めました。9月より今坂晋典会長をはじめ全会員で作業し、ランドセルの中に文房具を詰め、その他クラブが購入した衣類、

ロータリークラブの皆さんへ

こんにちは

このたび、私たち錦ヶ丘中学校の生徒は、ロータリークラブのみなさんの力をお借りして、アフリカ・ギニアのみなさんに学用品を寄贈させていただくことになりました。

私たちの学校では、今年度「ボランティア活動に積極的に取り組める生徒会」を目指し、これまで清掃活動をするなど地域の中での取り組みを行ってきました。そこで今回、世界を視野に向けたロータリークラブさんの取り組みを知り、ぜひ参加したいと思い、生徒のみなさんに呼び掛け、学校全体でボランティア活動の一環として行わせていただきました。

「アフリカ・ギニアの子どもたちの役に立ちたい」という意識が高く、多くの人が学用品をもってきてくれました。「アフリカ・ギニアの子どもたちが笑顔になってほしい」という思いが込められています。どうか、私たちのこの思いもせてとどけて下さい。よろしくお願いします。そして、力をかしていただいて ありがとうございます。

錦ヶ丘中学校 生徒より

ランドセルの集荷中、この手紙を預かりました

靴、タオル、バッグ、雑貨、楽器、文具、ボール、せっけん（衛生事情が悪いため）などをダンボールに詰めると、136箱分にもなりました。



①ランドセルに文房具を入れる ②シールを貼る ③一個ずつダンボールに入れて ④梱包済みダンボールを2階から1階へ ⑤モハメッドさんと ⑥みんなでコンテナを見送る ⑦1,871個を送り終わり、記念撮影！

ランドセルにはロータリーの徽章と「熊本西稜ロータリー JAPAN」と記されたタグを貼り、2014年11月1日、コンテナに満載し送り出すことができました。会員も直接現地を訪問して、ギニアの子どもたちの手に渡り喜ぶ姿を見られたらと思っていましたが、同地でのエボラ出血熱流行のため、出向くことができなかったのは非常に残念でした。しかし1月16日、約2か月の船旅を経て現地に無事に到着したとの報告が、写真とともに届けられました。(第2720地区 熊本県)

無事、子どもたちの手に届きました



ささやかな学びやをネパールの子どもたちへ

東京武蔵村山RC国際奉仕委員長 見延 壽昭

電気もない、水道もない、先生もいない、隣の村へ行くのに半日もかかる。そんな恵まれない環境の中でも勉強をしたいと願っているネパールの子どもたちに、せめて雨露をしのげる教室をつくってあげたい。そんな思いを形にすべく、東京武蔵村山ロータリークラブでは創立50周年に向けたプロジェクトを立ち上げました。

当クラブは2014年1月17日に創立40周年を迎えました。このプロジェクトは、次の50周年(2024年)を目指してクラブ全体で共有したプロジェクトです。会員が奉仕の気持ちを長く持ち続けるために、また、国際奉仕の新しい試みとして、単年でなく10年という長い期間を通して行うことで全会員が高揚心を持ち続け、かつ、子どもの成長への関心を維持することで、結果として子どもも会員も笑顔になるための取り組みを形にしたものです。

場所は、アジアの中でも最貧国といわれるネパールの首都カトマンズの西、標高2,000～2,200mにあるパルパの子どもたちです。年間約1万5,000円の奨学金を村の人たちが出し合って学校へ通わせた子どもは、成長してまた村へ帰ってきて、今度は後輩の面倒を見ると聞きました。学ぶことは、かつての日本もそうであったように、国の将来を担う人材の出発点だと思っています。

このプロジェクトには、垣見一雅さんという水先案内人

がパルパにおられます。もともと女子高校の英語の先生でしたが、ヒマラヤへ行った際にサポートをしてくれた現地の人が事故で亡くなり、その人の村を訪ねてみたらあまりにも貧しかった姿に衝撃を受け、高校を辞めて現地に入り、援助活動をされています。今でも、携帯電話もパソコンも持たず、車や事務所もなく、リュックを背中に山の中を歩きながら、現地の要望に応えようとしておられます。

昨年6月、比留間孝司現会長と私は一時帰国された垣見さんに会いました。垣見さんは普段ネパールにいますが、雨期で足場の悪い6～7月に日本に帰ってきて、応援してくれた人へのお礼に行ったり、新しい支援のお願いに行ったりして8月にネパールへ戻られます。もう20年もそんな活動をされています。今年の6月には、クラブでの卓話もお願いしてあります。

プロジェクトでは、この10年間で500万円の資金調達を目指しています。これだけあれば学校が建つのです。金額の多少は問いません、ぜひ皆さまの応援をお願いいたします。皆さまの善意と名前はそのままネパールへ届けます。

(第2580地区 東京都)

振込先：西武信用金庫 村山支店

口座名：普通 025 - 1193187

東京武蔵村山ロータリークラブ 本会計 小林 均



2時間かけて通学する子ども



学校の図書室



校舎の様子

ロータリー家族の絆を強める ローターアクト

3月9～15日は世界ローターアクト週間です。ローターアクトたちのさまざまな活動をご紹介します



▲ ふうせんバレーボール大会

第 2580 地区

11月15日、東京東江戸川ロータリークラブ主催のふうせんバレーボール大会の手伝いをしました。ふうせんバレーボールは、障がいがある方、高齢者、健常者がわけ隔てなくプレーできるユニバーサルスポーツです。多くの友好地区のローターアクトも参加し、北は福島県から南は岡山県まで総勢38人で、運営を手伝いました。最初は緊張して笑顔の少なかった参加者も、最後には満面の笑みとなりました。

(東京都・沖縄県)

チャレンジパーク

弘前RAC ▶

弘前ローターアクトクラブは、地域の人たちと触れ合う活動を目指しています。11月にはエコやリサイクルをテーマにした体験型イベント「チャレンジパーク」を実施。参加した地域の小学生は、日ごろ捨てるものを再利用して遊具にしたり、ゴミ分別方法などのエコクイズに答えたり、楽しく学びました。会員はこの活動をきっかけに、子どもたちが環境についてより関心を持つことを願っています。

(第2830地区 青森県)



◀ トライアスロンの聖地でボランティア

米子RAC

日本のトライアスロン発祥の地・鳥取県米子市で毎年7月に開催される全日本トライアスロン皆生（かいけ）大会でボランティア活動を長年続けています。エイドステーションで選手への飲食物サービスの手伝いをしたり、競技のコース上で選手を安全に誘導したりします。朝10時から夜10時まで、ほとんどが炎天下の活動ですが、たくさんの選手からの「ありがとう」の言葉に、ボランティアのやりがいあらためて感じる活動の一つとなっています。

(第2690地区 鳥取県)



御巢鷹山で慰霊行事

藤岡RAC ▶

7月6日、群馬県の南西部、御巢鷹山で慰霊行事を実施。地区内外のローターアクトやロータリアン26人が参加しました。日航機墜落事故から30年。ローターアクトは30歳で卒業。現役アクトは事故当時を知らない。「地域を知る」「ロータリアンの意思を継ぐ」「私たちに何ができるか、自発的に考える」をテーマとし、事故に関わった医師と葬儀業のロータリアンから行きのバスの中で話を聞き、現地では登山を通して事故の悲惨さを体感。また、大雪で痛んでいた登山道の手すりの整備、清掃を実施しました。(第2840地区 群馬県)



◀ 復興に向けたドミノ倒し

第2560地区

地区行事として、ロータリアン、インターアクト、県内外のローターアクトと一緒に復興に向けたドミノ倒しを実施。第2560地区ローターアクトは、「団結」と「成長」を今年度の目標とし、ドミノ倒しは集中力、忍耐力、協調性とさまざまな能力が培われること、またロータリー家族としてさらに団結できるものとして行われました。当日は36人で約3万ピースのドミノを3時間ほどかけて並べました。ドミノが倒れていく様子はFacebookに掲載し、復興へのメッセージとして発信されました。(新潟県)



献血呼びかけ活動を実施

第2660地区 ▶

地区では、7月と2月の年2回献血呼びかけ活動をしています。今年度は、地区ターゲット「躍 ～倍返しだ!!～」と、国際ロータリー会長方針に基づくロータリー家族の関係強化を目的として、①活動場所を例年の1か所から4か所に増やし、同時開催、② インターアクトクラブ、地区社会奉仕委員会との合同活動、③ 2回で献血目標500人、と新たな挑戦を試みました。その結果、7月は269人が献血。2月にも実施し、多数の参加がありました。(大阪府)



◀ アクト米作り

高知西RAC

地区内の各クラブが、四国の自然を生かした活動や地域に根差した活動を行っています。高知西ローターアクトクラブでは、ロータリアンから借りている土地を「アクト農園」と名付け「アクト米」作りを続けています。田植えから稲刈り、袋詰めと、全ての作業を自分たちで行い、売上金はクラブ活動の財源となっています。提唱ロータリークラブはもちろんのこと、地区内のローターアクトクラブからの参加もあり、地区内交流の場でもあります。(第2670地区 高知県)





◀ スポーツ大会

第 2680 地区

姫路ローターアクトクラブのホストで、11月9日、スポーツ大会が行われました。ロータリアンやローターアクターはもちろん、インターアクターやライラ学友会など青少年部門からの参加が増え、近年取り組んでいるクロスプロモーション（各団体の枠を超えたつながり）の成果が出てきました。また、スポーツ行事は見学者も参加しやすく、友達をつくってからローターアクトの目的や活動を理解することができます。会員は、インターアクターがローターアクトに興味を持てるように、次年度にもつなぎ、この輪が広がるよう見守りたいと考えています。

（兵庫県）

海外研修実施

第 2710 地区 ▶

毎年、海外研修を実施しています。その年の地区代表、海外研修実行委員長が交流のある海外の地区を選択し、2泊3日から3泊4日で行います。今年度は第3480地区（台湾）の台北市を訪問し、親睦を深めました。第3480地区とは2年前からお互いの国を行き来し、交流を行っています。第2710地区では、その他にも韓国、香港、シンガポールなど、さまざまな国のローターアクターたちと交流しています。（広島県・山口県）



▲ チャリティーバザー

第 2640 地区

10月に開催されたロータリーの地区大会で、チャリティーバザーを実施。福祉施設「ベンチエ貧しい患者と障害児・孤児を守る会」から購入した、ベトナム戦争で使用された枯葉剤の影響と言われる耳や目が不自由になった人たちが作ったキーホルダーや小物入れなどを販売し、売り上げを同施設へ寄付しました。そろいの赤いポロシャツを着て販売する姿を見て、ローターアクターが頑張っているからと、たくさんのロータリアンが協力、ほぼ完売となりました。（大阪府・和歌山）

ステナイ生活

第 2600 地区 ▶

近年、地区を挙げて国際協力NGO団体シャプラニールが行う「ステナイ生活」プロジェクトを、国際奉仕活動として継続して行っています。本やCD、DVD、古切手などの不用品を集め、専門業者に買い取ってもらい、その売上金がバングラデシュなど主に南アジアの貧しい人々の支援につながる活動です。今後も継続して支援していく予定。

（長野県）



◀ アクトの日、地区一斉清掃活動

第 2700 地区

「アクトの日」イベントを9月7日に開催。地区全15ローターアクトクラブが一斉に、福岡県糸島半島の海岸などそれぞれの活動地域で清掃活動を行い、ロータリアンやインターアクターも合わせて150人以上が参加しました。

（福岡県・佐賀県・長崎県）



旧東海道ウォーキング×アクトバーガー

第 2590 地区 ▶

今年度の新たな試みとして、ローターアクトの認知度向上による会員増強を目的に「ローターアクト説明会～旧東海道ウォーキング～」を実施。10月5日は京急川崎駅近くの「東海道かわさき宿交流館」から生麦駅近くの麒麟ビール横浜工場まで、11月16日は保土ヶ谷駅前の横浜保土ヶ谷ロータリークラブ事務所から横浜駅近くの貸し会議室まで、2日間でロータリー家族や友人はじめ一般の人々総勢約150人が旧東海道を歩きました。ゴール地点では、昼食にローターアクトたちが企画して作った「横浜アクトバーガー」を振る舞い、ローターアクトについての簡単な説明やレクリエーションを行いました。（神奈川県）

**大人の運動会**

第 2790 地区・第 2580 地区

9月15日、第2790地区と第2580地区のローターアクトが合同で地区交流会を開催しました。ロータリアンやインターアクトも参加し、ロータリー家族で親睦を深めました。「大人の運動会」と題したこの会は、大人が本気で体を動かし、言葉を交わさなくとも心が一つになる有意義なイベントになりました。（千葉県／東京都・沖縄県）

**アクトの森清掃活動**

第 2720 地区 ▶

年に2回、9月と4月に「アクトの森」清掃活動を行っています。世界に誇る阿蘇の自然の中で、清掃活動を通し自然に触れ、多くの仲間と親睦を深めながら楽しく奉仕活動を実施。回数を重ねるたびに自分たちの行っている活動の大切さを実感する機会となっており、他地区からの参加もあります。今では、地区を超えた行事になっています。（熊本県・大分県）

**部門研修セミナー開催**

第 2650 地区

地区の年間目標は「誇り」。地区内全ローターアクトが「誇りを持った行動」と「誇りに思う活動」ができるよう、部門研修セミナーを開催しました。ローターアクトプログラムの目的から、ローターアクトクラブ定款、細則、今まで当地区が培ってきた規定に至るまでを講習。今後のローターアクト活動をより良いものにするためにあらためて基礎を学ぶセミナーとなりました。（福井県・滋賀県・京都府・奈良県）

**地区研修親睦会**

第 2630 地区 ▶

11月8～9日に地区研修親睦会を行いました。地区内から30人以上の参加があり、今年度一番盛り上がった行事となりました。前半は地区で共用して使用するローターアクトクラブPR用チラシの作成、後半は名城大学の体育館でアクトクイズ大会を行いました。第2630地区は岐阜県と三重県にまたがる地区のため、クラブ間の連携が取りづらいことが課題でしたが、このような研修を今後も行い、親睦を深めていく予定となっています。

（岐阜県・三重県）



リーダーシップフォーラムを開催

第 2640 地区ローターアクト



今年度、私たち第 2640 地区のターゲットは「信頼」です。まずはロータリアンとの絆を強くしお互いを信頼することから始めようと、リーダーシップフォーラムの企画を考えました。自分から発言し、相談できるように、多くの企画案を出し、話し合いを繰り返した結果、ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）の形式を用いた研修会を開催することになりました。しかし、見たことはあっても、どうしたらいいのかわかりませんでした。そこでロータリアンに相談したところ、答えはすぐに出ました。中井昭宏地区ローターアクト委員長が地区 RLI ファシリテーターであることから、すぐに RLI 日本地区代表委員の米田真理子パストガバナー、地区 RLI ファシリテーターの松田香純氏、中井崇嗣氏、内藤絵梨奈氏に協力していただけることになったのです。

8 月 24 日、リーダーシップフォーラム当日

は、多くのローターアクター、ロータリアンが集まり盛大に開催されました。まずは、米田パストガバナーから RLI について詳しく教えていただき、ローターアクターが 7 人で一組のグループになり、実践が開始されました。テーマは「リーダーシップ」。最初にファシリテーターであるロータリアンの進行の仕方に驚きました。私たちと初対面であるにもかかわらず会話はとてもスムーズで、参加者全員が発言していました。すごい研修システムだと思いました。

私たちは、この研修会でお互いのクラブの考え方や特徴を知り、さらにリーダーシップの定義が明確になり、その重要性も理解することができました。そしてローターアクターとして今、自分に何ができるのか考える機会となりました。クラブでもこの RLI 形式でディスカッションをしたら、きっとみんなの意見を聞くことができ、話し合いができると思います。

（大阪府・和歌山県）



ロータリアンのパートナー ローターアクター

ローターアクトは、地元や海外での奉仕活動に関心がある、18 歳から 30 歳までの青年男女のためのクラブです。1968 年 3 月 13 日に、世界で初めてノースシャーロット・ローターアクトクラブ（RAC）が設立されました。現在、世界には 7,000 を超えるローターアクトクラブがあり、その会員は約 170,000 人に上ります。大学または地域社会を基盤とするローターアクトクラブは、地元のロータリークラブによって提唱され、サポートを受けますが、それぞれ独立し

て運営しています。ローターアクトクラブとロータリークラブは、「奉仕のパートナー」として、ロータリー家族の重要な一員となっています。ローターアクトを「卒業」した後は、ロータリークラブに入会することが推奨されています。

アクトの日

アクトの日とは、アクト（9）ト（10）にちなみ、9 月 10 日前後の休日を中心に、日本全国でさまざまな活動が行われる日です。ローターアクターの仲間意識を高め、ローターアクトを広報することを目的としています。

2011年3月11日。あの日から4年になりますが、復興はまだ途上。「いつになったら元の生活に戻るのか」。そんな思いをいだきながら、また、亡くなった人の面影を追いながら、生活をしている人は少なくありません。

ロータリアンは、そんな被災者の方々の役に立てればと、4年たった今も支援を続けています。被災者の心に寄り添いながら……。

デザイナーを夢見た少女姫花ちゃん

いわき桜RC 遠藤希和子



2011年3月11日、東日本大震災の津波で、いわき市平薄磯のいわき市立豊間小学校の児童2人が亡くなりました。その1人が鈴木姫花ちゃん。夢はデザイナーになることでした。震災当日、父方の祖母宅で津波にのまれ、おばあさまと亡くなりました。

震災後、彼女のことを知った京都のグラフィックデザイナー竹内明二氏は、日本グラフィックデザイナー協会主催の「優しいハンカチ展」に、自分の作品の代わりに姫花ちゃんの黄色いハンカチを展示してくださいました。デザイナーになりたかった夢を知ったコシノヒロコさんと郡山アーバンロータリークラブ（RC）の鈴木尚子さんとが、姫花ちゃんに手を合わせ、家族に会いにきてくださいました。

薄磯では、310人以上が亡くなり、まだ10人以上が行方不明です。当時、小学4年生（10歳）だった姫花ちゃんは絵が大好きで、何度も賞をもらい、自慢の娘だったと、「愛娘がハンカチの数だけ、多くの人に勇気や希望を分けて

いる」と父・貴さんはうれしさと誇らしさが込み上げてきたそうです。

1枚800円のハンカチの収益は全て、いわき市の災害遺児と義援金に役立ててもらおうと、家族全員で寄付を続けています。私は、諸事情が重なり出遅れての協力でしたが、いわき分区のロータリアンはもちろんのこと、京都や秋田の知人、友人に大きな力をいただき今回、貴さんをはじめご家族といわき桜RCの3人で、皆さまからの善意の寄付金をいわき市にお届けしてきました。

東日本大震災の2週間後に生まれた、姫花ちゃんの弟・承君はまもなく4歳になります。津波、姫花ちゃんのこと、承君の誕生を、貴さん・美起さん夫妻は生涯忘れることはなく、複雑な毎日を送るのかと思っておりますが、奥さまの美起さんがとても明るく、気丈にしていらしやる姿を拝見するにつけ、40歳前のお二人には、姫花ちゃんの思い出とともにがんばって生きていただきたい、と思いました。

（第2530地区 福島県）



サヌカイトが奏でる石巻と善通寺の“絆”コンサート

善通寺RC 樋笠 幸三

善通寺ロータリークラブ（RC）は東日本大震災の支援事業が4年目を迎え、今年度は心がより豊かになるような支援を目的とし、「心楽しむサヌカイトが奏でる神秘的音楽会」と題し、前年度サヌカイト（讃岐岩）のモニュメント寄贈にご協力いただいた前田宗一氏（坂出RC直前会長）のご縁、ご協力により善通寺市と石巻市において“絆”コンサートを開催しました。

まず善通寺市民会館にて9月30日に2回公演し、午前の部には善通寺市立西中学校全校生徒と一般市民とロータリアン、午後の部には同市立東中学校全校生徒（2公演合わせて約1,000人）が、サヌカイトの音色とピアノ、マリンバの演奏を楽しみました。そして、石巻市立湊中学校に贈る歌声「花は咲く」を合唱し、DVDに録画して届けました。

石巻市では石巻市立湊中学校講堂にて、10月24日絆コンサートを開催しました。石巻南RC米谷正信会員の司会により、石巻湊中学校の全校生徒と先生、PTAほか、石巻4ロータリークラブの会長・幹事、当クラブの宮崎雅彦会長はじめ会員3人（計約200人）が同じサヌカイトとピアノ、マリンバの奏でる音色に耳を傾け、最後に「花は咲く」を合唱し、香川県出身のサヌカイト奏者小松玲子氏、岩手県出身のピアニスト松岡淳氏と共に心を一つに盛会裏に終えることができました。

この“絆”コンサートは、石巻4ロータリークラブの協力により善通寺RCとサヌカイトコンサート実行委員会として協同で主催。ここまでの道のりはまさに“絆”から生まれた2日間でした。



また、東日本大震災発生当時、声をかけることのできない四国善通寺から何か支援ができないかと「心をひとつに」と励ましの行動（うちわにメッセージ）を開始し、善通寺にある陸上自衛隊、行政や市民、事業者への声かけがきっかけとなった支援事業も4年目を迎えるにあたり、東日本大震災支援3年間のあゆみパネル展（パネル30枚、バナー、中学生のお礼の手紙などを展示）を同時開催しました。善通寺では市民会館ロビーにて11日間、石巻市では石巻湊中学校コンサート会場入り口にて、展示させていただきました。

創立45周年事業で、善通寺に招待した生徒は3年生だけとなりましたが、当時の引率の先生ともパネルの前で笑顔の交流ができたことは、絆コンサートとともに大変有意義な時間でした。

今回この事業に至った善通寺と石巻を結ぶ「サヌカイト」の縁でご協力いただいた皆さまに、大変感謝しています。（第2670地区 香川県）



児童クラブへ図書を寄贈

東京三鷹RC 奉仕プロジェクト委員長 白石 隼男

クラブではロータリー財団の復興支援補助金を活用し、10月24日に、福島県矢吹町の児童クラブへ児童図書を寄贈しました。

正満たつ子会長を含め総勢10人が参加し、まず、矢吹町役場を訪問。教育委員会の栗林正樹教育長へ図書目録を贈呈。栗林氏からは震災の被害と復興状況、とり

わけ児童の教育環境改善への熱い思いが説明され、心のこもった感謝の言葉をいただきました。

福島県南東部に位置する矢吹町は、あまり報道されませんでした。東日本大震災で3分の1の家屋に被害が出たほか、校舎にも大きな被害が出ました。三鷹市と矢吹町は姉妹都市提携を結んでおり、多くの交流の積み重ねがあります。そんな交流の中で、十分な数の児童書を確保するのに大変苦勞をしていることを知ったのが、本プロジェクトが生まれた背景です。



矢吹町には小学校が4校あり、それぞれの小学校には児童クラブが設置されています。児童クラブは1～3年の児童が放課後、下校までの間、宿題、読書、友達との遊びをする場所です。

今回、各児童クラブへ約80冊の本を贈呈しました。時間の制約がありましたが、三神小学校と中畑小学校の児童クラブを訪問でき、どちらも約30人の児童が在籍していて、クラブの先生には感謝の言葉で、また、児童の皆さんからは明るい笑顔で、迎えていただきました。

(第2750地区 東京都)

被災者と生徒が交流

京都紫野ロータリークラブ

台風一過のお天気を気にしながら10月14日、京都市立紫野高校で、東日本大震災で被災し京都府に避難している方々やボランティア団体の方々と生徒との交流会「ところをつなぐ京都紫野のつどい」を開催。生徒やロータリアンら約150人が参加しました。同校は、当クラブが就職面談や海外短期留学の際、支援させていただいている地元の高校で、今回の被災者支援活動に快く協力してくださいました。

当日は生徒会・放送部の司会進行をはじめ吹奏楽やチアリーダーの元気な演奏で被災者の方々を勇気づけました。宮城県名取市の復興ボランティア太田幸男さんの話や復興の支

援活動を行っているシンガーソングライター・しおりさんの演奏が披露され、生徒たちに深い感動を与えました。

生徒会の辻本雪里さんは「受け身ではなく、自分たちから復興の支援に取り組みたい」と話し、宮城県石巻市で被災した宇治市の高橋幸子さんは「心のこもった演技や演奏に力をもらった」とほほ笑み、紫野高校でのつどいを終えました。

一行はその後、上賀茂神社へ「復興祈願」のため参拝し、早期の復興実現に祈りを込めた一日となりました。

(第2650地区 京都府)



—東日本大震災

東日本大震災復興支援チャリティーバザー開催

小倉中央RC 樋上 弥寿子

いまだ復興の進まない現状がある中で、この悲惨な大災害を風化させないためのチャリティーバザーを計画し、2014年11月8～9日に開催された「門司港グランマーケット2014秋」に、わがクラブも初めて出店しました。

あいにく小雨も降りましたが、来場者も多く、にぎわっていました。目的は東日本震災復興支援ですが、芳賀元生会長の掲げる今期目標“会員同士の絆”が深まる行事になりました。

バザーは、会員がアンティークな物を持ち寄り、2日間販売しました。販売促進用人形、足踏みミシン、輪



島塗、陶器、レコード、ブリキの置物など、集まった品物もユニークで、会員はおそろいのピンクのジャンパーを着て臨みました。本来の自分の職業とは違う体験でしたが、お客さんとの会話も楽しく「またやりたいね」と会員にも好評でした。収益は西日本新聞社を通じて、すべて東北へ寄付しました。(第2700地区 福岡県)

FUKUSHIMA から世界へ、感謝と近況報告

第2530地区 国際奉仕委員長 武田 安永

2011年3月11日の東日本大震災、とりわけ東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、第2530地区は、筆舌に尽くし難い厳しい体験を強いられてきました。同時に世界のロータリークラブ、ロータリアン、そして一般の多くの方々から今なお物心両面にわたる、多大なご支援をいただいております。

ご承知のように福島県は、国内第3位の広い面積をもつ県です。現在も県内外に避難を余儀なくされている県民は12万人以上を数え、まだまだ先が見えない課題が山積されております。

こうした中で、当地区国際奉仕委員会は、この約4年間にわたり、世界各国からお寄せいただいております身に余るご支援に対し、当地区ホームページ(<http://ri2530.com/index.html>)を介しささやかながら“ふくしまの感謝の心”をお伝えすることにしました。加えて、県民が願う福島の農産物をはじめ観光地などに対する放射線の深刻な風評被害を

払拭する意も込めさせていただくことにしました。

このホームページは野崎潔ガバナーを筆頭に、既に昨年の9月初旬から掲載しております。当地区は8つの分区を持っておりますので、各分区の現ガバナー補佐に執筆者の選任もお願いし、各分区内の視点で順次掲載中です。この間も、ロータリー関連の多岐にわたる震災復興支援事業が随時実施されております。

いま、われわれができることは、福島はこの感謝の心を「世界の人々にお伝えしたい」一心でノワロー・ジョン・パスカル当地区国際交流委員長の協力も得ながら、原稿依頼や和文英訳などの作業に取り組んでおります。

なお、この震災で県民は苦渋の生活を強いられましたが、世界のロータリアンからいただいた温かい友情をあらためて実感しております。ホームページをあえて英文にしているゆえんです。(福島県)

ロータリーデー

人出が期待できるまつりに合わせ

篠山RC 今井 保晴

今年度、ロータリーデー検討委員会を早々に立ち上げ井上隆雄委員長以下、検討を重ね、丹波篠山の秋の味覚を振る舞う「丹波篠山味まつり」(10月11～13日)に合わせ、多くの人出が期待できる初日の10月11日に絞り込んで、ロータリーデーを開催することを決めました。

当日は、ロータリアンはもとより、支援している兵庫県立篠山産業高等学校インターアクトクラブ(IAC)にも協力してもらい、「ポリオ撲滅」の募金活動を実施。インターアクターが大きな声で「全世界でポリオの発症数を99%減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆さまからの支援が欠かせません」と募金協力を要請すると、多くの人たちの心を打ったのか、およそ5万円を集めることができました。

さらに、2013年に友好クラブを締結した仙台西ロータリークラブ

(RC)と協力して支援を続けている、東日本大震災で被害の多かった宮城県南三陸歌津港の若い漁師たちの力になるために、「南三陸特産塩蔵わかめ」の販路拡大への協力を企画。仙台西RCとともに「南三陸わかめ」と「丹波ささやま新米コシヒカリ」のセットを1,000円でPR販売し、200組を売り上げました。チラシを見せて注文販売していますので、今後の購入も重ねてお願いし、販路を拡大するための応援ができました。

わがクラブは地元活性化のため、地区補助金を積極的に活用して社会奉仕活動をほぼ毎年行い、また新世代の活動として、公立中学校では全国的に少ない篠山中学校IACも創設し、2つの高校と合わせて3校のIACを強力にサポートしています。(第2680地区 兵庫県)



「さんま」で復興支援

横浜あざみロータリークラブ

秋晴れの11月13日、横浜市青葉区の区政20周年を記念した区民祭りが行われました。私たちのクラブはロータリーデーの企画として東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県女川町の漁師さんたちを支援するため、さんまを1,000尾、無料配布し、復興のための支援金を募りました。

震災後、海岸の整備も整わない中、女川町の若い漁師

さんたちが「支援を受けるだけではだめだ」と立ち上がって漁に出たものの風評被害でさんまは売れませんでした。そこで、横浜中央市場南部市場の方たちが「愛と勇気とさんま」プロジェクトを立ち上げ、さんまを買取り「横浜を日本一のさんま消費地にしよう」と配布を始めました。私たちも支援のためにさんまを区民の皆さまにご賞味いただき、日本一の消費地となるよう新横浜ロータリーアクトの皆さんや米山学友、ガバナー補佐や多くのロータリアンの応援を得て活動しました。

これは同時に区民の皆さんに、ロータリーを知ってい

ただく絶好の機会ともなりました。45mの長蛇の列に並ぶ方たちにロータリーの資料を渡しながら「ロータリーとは」を会員が一人ひとりに説明しました。会員もロータリー家族とともにさんまを食べて大いにこのお祭りを楽しみました。

(第2590地区 神奈川県)



ロータリーデー

大津市学童野球選手権大会

大津中央ロータリークラブ

11月22日、第14回を迎える「大津市学童野球選手権大会」が開催されました。大津中央ロータリークラブでは本大会を後援。この大会は、小学6年生にとっては最後の大会であり、かつ、今まで出場できなかった選手たちの活躍の場としても意義のある大会と言われています。今回は、閉会式に合わせて「ロータリーデー」を実施し、スポーツドリンクの配布やロータリークラブについての啓発活動を行いました。(第2650地区 滋賀県)



農と食育をテーマに畑に挑戦

八代東ロータリークラブ

八代東ロータリークラブ(RC)は、長期目標の中で「水と環境」をテーマにしています。今年度はロータリーデーの活動として「農と食育」、野菜収穫を企画しました。

ロータリーデーは会員と地域の皆さまとの協同参画事業ということなので、参加いただく方々、児童発達支援事業所「さくら」「ぷくぷく」、社会就労センター「ワークショップ八代」へのお願いからスタート。10月11～12日、皆さんおよびロータリアンと元会員、家族で、

広さ300坪の畑に挑戦しました。植えた野菜はすべて自分のものになります。これからは折に触れ畑の見学が楽しみ、とは皆さんの話でした。

そしていよいよ12月13日、現地周辺にロータリーデーや八代東RCののぼり旗も立て、野菜収穫祭を行いました。当日は寒波と小雨模様でしたが、見事に成長した無農薬のダイコン、ハクサイ、レタスなど10種類くらいを、子どもたちと引率、家族、他クラブのロータリアンの皆で収穫。地元テレビ局の協力も得ました。子どもたちにはお菓子のプレゼントもあり、楽しい有意義なロータリーデーとなりました。(第2720地区 熊本県)



山陰海岸ジオパークフェスティバル in とっとり

鳥取北RC 地域奉仕委員長 田村 博信

鳥取県東部の5ロータリークラブ(鳥取、鳥取北、智頭、鳥取西、鳥取中央)は、11月2日、協同でロータリーデーの活動として、ポリオ撲滅に向けての募金とロータリークラブの活動をアピールした。「山陰海岸ジオパークフェスティバル in とっとり」が鳥取駅前のバード・ハットで開催され、後援の形式で参加。各クラブの活動の写真をパネル展示し、協同で作成したチラシと5クラブがそれぞれ趣向を凝らした記念品を配布した。当日は雨模様だったが、フェスティバルと同時開催というこ



ともあり多くの人々が来場し、募金も6万5,472円が集まった。(第2690地区 鳥取県)



スリランカ 1) スリランカのポリオ・フリーを祝って行われた Ride to Light Up Rotary に 300 人が参加。その間ともされるロータリー聖火を掲げる黄其光国際ロータリー（R I）会長。コロンボ市内を自転車で回りました。2) K. R. ラビンドラン R I 会長エレクト（写真左側）も参加。3) ハイライトは、ロータリー聖火の点火。聖火は世界中を回ります。4) このイベントで集まった収益は、ロータリー財団に寄付されます。 バングラデシュ 5)ー 6) バングラデシュ第 3281 地区が開催したロータリーデーに出席する黄 R I 会長。

K.R. "RAVI" RAVINDRAN

K. R. "ラビ" ラビンドラン

**スリランカ初の国際ロータリー（R I）会長は、
自分がごく平凡な人間だと主張します。皆さんはどう思いますか。**

「"ラビ"と呼んでください」。誰かを紹介されると K. R. ラビンドラン氏は決まってこう言います。威風堂々のたたずまい。姿勢が良く長身で、洗練された印象の人が持つさりげない自信がうかがえます。好感を与える容貌は、絶え間ない好奇心と深遠な慎み深さをたたえています。

ラビンドラン氏は、世界に顧客を持つスリランカの印刷・包装の最大手、Printcare 社の創設者兼 C E O（最高経営責任者）。国内外で数々の賞に輝いている上場企業で、印刷、包装、デジタルメディアソリューションのデザインから納品までを一手に担い、ティーバッグのタグと小袋の生産量では世界一を誇っていると言っても過言ではありません。「当社のこだわりは、環境面での持続可能性、社会的責任、地域社会への参画、高い倫理基準」と、ラビンドラン氏は強調します。

1974 年にコロombo・ロータリークラブに入会し、R I 財務長、R I 理事、ロータリー財団管理委員をはじめ、数々の役職を歴任。スリランカのポリオプラス委員長を務めた時には、全国予防接種日に停戦を実現するため、ユニセフとともに北部の武装派と交渉するタスクフォースを率いました。さらに、1 万 5,000 人の児童のために、津波で破壊された 25 の学校を再建した同国のクラブと地区が支援する「Schools Reawakening（学校再復興）プロジェクト」の委員長も務めました。このほかにも複数の企業や慈善信託の理事を務めています。

インタビューを行った『THE ROTARIAN』編集長ジョン・レゼックは、その印象を次のように述べています。「初めて会った時、こちらの質問に答える代わりに、雑誌についていろいろと質問しようと決めたようでした。どこにいても一番身なりの良い人であることは間違いありません。履いていたモンクストラップ靴までびかびかに磨かれ、まさに申し分なしです。多才であると同時に、綿密さと思慮深さでこれらの才能をうまくまとめていると感じました」

あなたはビジネスで成功されています。ロータリーはビジネスではありませんが、それと通ずるところがあります。ビジネスで学んだことで、ロータリーで生かしたいと思うことは何ですか。また、どのように生かす予定ですか。

成功とは相対的な言葉です。アインシュタインはかつて「成功する人間になろうとするのではなく、むしろ価値のある人間になるようにしなさい」と言いました。価値ある人間と見られる方が、重要なことです。さて、質問についてですが、ロータリーがビジネスではないことは明らかです。しかし、ビジネスのやり方に沿って運営できないわけではありません。ビジネスでは、私たちは株主に対して恩義があります。一方、ロータリーでは、私たちを信頼し、責任を託してくれたロータリアンに対して責任があります。私たちがささげたあらゆる時間とリ

ソースは報いられなければなりませんし、支出はすべて正当なものと認められなくてはなりません。設定する目標は透明性が高く、効果を測れるものでなければなりません。あらゆるレベルのリーダーは、自分の行うことに対して責任を持たなければならないのです。

人間は、育つ場所によって形成されるという考え方があります。これは本当だと思いますか。

その通りです。人格形成において、家庭ほど好ましい影響を与えられることはありませんし、家庭にとって代わることでできる場所があるとも考えられませんが、私にとってはそうでした。両親に教えられた価値観を、ロータリーがさらに強めてくれたことに感謝しています。今日の私は、ロータリーによって形づくられたと、誇りを持って公言できます。商

取引と大義、親睦と奉仕を融合させる力がロータリーにはあることを、私が保証します。ロータリーでは切磋琢磨^{せつさくたくま}できることを、身をもって経験しました。

視覚に訴えずにスリランカを説明するとしたら、どのようにしますか。

観光用パンフレットにもあるように、スリランカは、インド洋に浮かぶきらめくような島で、観光地として人気があります。しかし、スリランカの秘密は、その国民にあります。スパイスとクリケット、そして紅茶が大好きなスリランカ人は、あふれる笑顔と温かい心で知られ、3000 年の英知によって培われた豊かな文化を誇っています。果てしなく続くビーチ、時間が止まったかのような遺跡、温かいもてなし、ゾウやクジラの群れ、サーフィン好きにはたまらない高波、名物の紅茶、風味豊かな食べ物、手頃な物



価値、そして何よりも重要なのは、親切です。すてきな人たちがいる島国、それがスリランカです。

どうしてロータリーに入会したのですか。リーダーとしてここまで登りつめたきっかけは？ 関わっているすべての組織でリーダーを務めているのでしょうか。

人生には、運命的だと思えることがあります。私がロータリーに入会したのは、親睦を楽しみたかったからであり、そこで責任ある立場に就こうとは思いませんでした。実際、リーダーの役目を任せられると知っていたら、入会しなかったかもしれません。これまで長年、歴史的なプロジェクトに携わったこともあります。ロータリーでの最良の思い出は、さまざまな文化や国の友人たちとともに、夜遅くまで笑ったり、語りあったりしたこと。リーダー職に就くために入会する人はいませんが、リーダーにしっかりとついて行けば、自然にリーダーとしての役目が回ってくるものだと思います。

リーダーシップの最も重要なルールを3つ挙げてください。

まず、誠実さと高潔さが挙げられます。リーダーとそれに続く人たちの間に信頼関係がなければ、何をやってもうまくいきません。高潔さと誠実さは切り離すことのできないもので、有能で信頼できるリーダーには欠かせない資質です。出世のためだけに信念を捨ててはなりません。どんな状況でもリーダーが信念に従っていれば、チームは安心してついてくれます。組織のあらゆるレベルで、隠し事や偽りのない誠実なコミュニケーションを保つことが大切です。

次にマネジメントです。優れたリーダーは、組織のあらゆる面を知り尽くしていなければなりません。あるいは、知っている人たちが、もっとはっきり申し上げれば、自分よりも組織に詳しい人たちの周りに置くことです。内外の関係者からの尊敬を得られるようになるにちがいありません。マネジメントでは、組織のあ

らゆるレベルで、高い倫理に基づくビジネスの基準と業務が必要とされます。

3 番目に透明性。これはその人の人柄を反映するものです。わからないことがあれば素直に認め、最善を尽くして答えを見つけることです。自分の考えや決定の理由を知ってもらうことで、なぜそのような決定に至ったのかを周囲は理解し、あなたについてきてくれるでしょう。部下の仕事ぶりを観察し、その意見に耳を傾け、認めることです。マネジメントスタイルは、協力、倫理的行動、多様性の尊重、組織の成功への献身に基づいたものであるべきです。

あなたのような立場にある人が決してしないことは、どのようなことでしょうか。

練習なしで演説をしてはいけません。それをするのは政治家だけです。

すべてのロータリアンが持つべき品性とはどのようなものだと思いますか。それは、生まれつきのものですか、それとも習得できるものでしょうか。そのような品性を持つ人は、不足していると思われるますか。

品性とは、環境によって形成されるものです。ロータリー会員の中には、入会する時点で会員として適格ではないと思われる人が多くいますが、そのような人たちも仲間からの影響を受けながら立派な会員になれると私たちは信じています。しっかりとしたロータリークラブには、会員の品性を変える力があります。私自身、楽しみたいという理由でロータリーに入会した一人であり、40 年たった今も十分に楽しんでいます。しかし、楽しいだけでは、これだけ長い間ロータリーにとどまり続けることはなかったでしょう。ロータリーで得られる達成感、



そして、自分が持つささやかなリソースをほかの人たちのリソースと合わせることで、何千、ひいては何百万という人の役に立てることが、ロータリーに居続ける理由です。

次年度には何に力を注ぎたいとお考えですか。どのようなことを達成したいですか。

私はごく平凡な人間ですし、自分の彫像を後世に残したいとは考えていません。しかし、ある人が言ったように、「普通の人が期待を超え、機会をつかみ取った時、真に画期的なことが成し遂げられる」ものです。私もそんな人になりたいと願っています。周りのことすべてを少しずつ良くしていくことで、私がロータリーを去るときには、ロータリーが今よりも少し良くなっていれば本望です。役職の指名は、偏りなく、実力に基づいて

行うつもりです。運営費の削減を目指しますが、これは有能な職員の全面的な協力なしには達成できないことを承知しています。また、ロータリアンにとって会員であることの価値をもっと高めたいと考えています。

悪いロータリアンはいますか。そのようなロータリアンに会ったことがありますか。

ロータリーは社会の縮図です。社会に存在するものは、ロータリーにも存在します。社会で悪と見なされていることは、ロータリーでも悪です。一人ひとりのロータリアンが神聖な習慣や資質を持って入会してくるわけではありません。悪いと思われるロータリアンでも、良い時があります。反対に、良いと思われるロータリアンが、悪い時もあるでしょう。ただし、ロータリーの本

質を会得した人が良いロータリアンへと変化していくというのはよく目にすることです。

解決できない問題に突き当たったことがありますか。その時、あなたはどうしましたか。

何度もありますよ。そんな時は、気を取り直して前進し続け、落ち込んだり、やる気を失わないことです。

ロータリーの最重要課題は？

もちろん、ポリオの撲滅が第一目標であり、ロータリアンすべてがこれに注視し続ける必要があります。さらに、本来なら増加すべき会員数が減少している地域があることは、周知の通りです。コミュニケーションの改善に役立つテクノロジーを本部が用意していますが、多くのクラブがこれを適切に活用していない



ために、一向に進展が見られません。特に外部の人に向けて、ロータリーのブランドをもっと輝かせ、力強いメッセージを発していかなければならないことは明らかです。

持続可能性とは、それ自体が目標でしょうか、それとも、綿密に練られた計画に伴う当然の副産物なのでしょうか。

持続可能性は、システムとプロセスの持続を意味します。ある年度に特定の手法を使って一時的に会員が増えたとしても、翌年度にまたいき詰まるのなら、それは持続可能なプロセスとは言えません。持続可能性の基本は持続可能な発展であり、これには相互に関連する4つの領域、すなわち、生態学（エコロジー）、経済、政治、文化が含まれています。

ロータリーの場合、近年、特にロータリー財団を通じて、持続可能なプロジェクトに力を入れています。私たちはまた、「持続可能性」をどう定義するかについても、議論をしてきました。持続可能性についてはさまざまな意見があって当然であり、新しい補助金モデルの下でつくり出されたプログラムが熟すにつれて、こうした議論もいずれ落ち着くでしょう。

スリランカでのポリオ撲滅キャンペーンの課題の一つに、国内北部で続いていた内戦がありました。そんな中、あなたは、子どもたちは争いとは関係がないということを交渉で説得し、ワクチン投与のための停戦実現において非常に重要な役割を果たされました。おそらく謙遜なさるでしょうが、自分に危害を加えようとしている人たちを相手に交渉した経験とは、どんなものでしたか。その経験をパキスタンにも応用できると思いますか。

スリランカとパキスタンでは、識字率が違います。スリランカの政府軍は読み書きができますから、ポリオのワクチン投与が良いものであると知っていました。反乱軍も読み書きができるので、子どもたちを守ることの必要性を理解していました。同じく読み書きのできる政府

の役人たちも、内戦で一時的に有利になるよりも、子どもへのワクチン投与の方が大切であると知っていました。このような状況で唯一必要とされたのは誠実な仲介者であり、ロータリーがその役割を果たしたわけです。

パキスタンの事情は違います。タリバンの大部分は読み書きができず、次世代を守ることよりも反米感情が先に立っています。残念なことですが、問題はそこにあるのです。パキスタンにもアジズ・メモン氏率いるロータリアンがいて、勇敢な役割を果たしているのですが。

スリランカでの自分の役割については、話すほどのことはありません。大した役割ではありませんでしたから。

「世界へのプレゼントになろう」というテーマを思いついた経緯を教えてください。テーマのネクタイはご自分で選んだのですか、それとも周囲の人たちに手伝ってもらいましたか。

私一人で思いついたものでないことは確かです。妻がずっと手伝ってくれましたし、親友や家族もそうでした。自分だけでこんな素晴らしいテーマを思いつくほどの頭は私にはありませんよ。しかし考えてみてください。ロータリーにいる私たちは、善い行いを目指し、人類に素晴らしいものを与えてきた歴史上の偉人たちを尊敬しています。人間としての尊厳を大勢の人々に与えたエーブラハム・リンカーン。社会から見捨てられた人たちに慈悲の心を与えたマザー・テレサ。抑圧された人たちに平和的变化を与えたマハトマ・ガンジー。こうした人々は皆、人生を他人のためにささげました。彼らの人生そのものが世界へのプレゼントとなったのです。私たちもそれぞれの方法で、世界へのささやかなプレゼントとなることができるのではないのでしょうか。

長身で身なりが良いことによって思いがけない恩恵を受けたことがありますか。

私のことをおっしゃっているんですか？ 1m 85 cm ですから、確かに背は高い方です。「身なりが良い」というの

はどうでしょうかね。メリットがあるかどうかはわかりませんが、飛行機の座席に収まるのには苦労します。

会長となる次年度、時間がなくてできなくなることは何ですか。

昨年10月22日に生まれた孫娘ともっと一緒に過ごしたいのですが、その時間はなくなるでしょう。同居していますので、自宅に戻って孫と一緒に過ごせるようになることを心待ちにしています。よちよち歩きができるようになり、私が多くの時間を過ごす書斎までたどり着けるようになる日が待ち遠しいです。

普段、どのような本を読んでいますか。何語で読むのですか。何度も読みしている本がありますか。

ビジネス誌を読むようにしています。『THE ECONOMIST』が好きですね。英語で読むことがほとんどです。妻バナティーは母国語で読むのを好んでいます。

よく読み返す本は2冊あります。1冊はスティーブン・コヴィーのベストセラー『人生を成功させる7つの秘訣』、もう1冊はグルチャラン・ダースの『The Difficulty of Being Good』という本です。ダースは、ハーバード大学出身で、インドP & Gの元CEOです。この本には、古代インドの叙事詩『マハーバータ』、ヒンズー教のダルマ（法）、そして、実的な状況における倫理的行動について書かれています。フィクションを読むのは、もう諦めました。

会長として後世に何を残したいですか。ロータリーに永続的な影響を残した会長は誰だと思いませんか。

何かを残すことは考えていません。私はごく平凡な人間ですから。ロータリー歴代会長には、末永い影響を残してきた人が多くいますね。私が会ったことのある会長の中では、クレム・レヌーフ会長、そしてカルロス・カンセコ会長が、永続的な影響をロータリーに残したと言えるでしょう。



世界へのプレゼントになろう

2015 年国際協議会レポート

ロータリーの証しを世界に残すために

開会本会議は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの思い出話から、静かに始まりました。そして、現在ロータリーに加盟している国々の旗の入場へと続きます。1人の思いから4人が集まって始まったロータリーが、今、200以上の国と地域に広がったという、ロータリーの壮大な歴史と物語に思いをはせることのできる見事な演出でした。

今年の国際協議会は、いつもと様子が違うところがありました。この開会本会議もその一つです。例年なら、登録当日の夕方はレセプションだけですが、今年は、その日の夕刻に開会本会議と晩餐会が開催され、ガバナーエレクト夫妻やロータリーのシニアリーダー夫妻が、正装で集まりました。

しかし、開会本会議に集まった人々の最も大きな関心が、国際ロータリー（R I）会長エレクトがどのような話をし、どのようなR Iテーマを発表するのか、ということにあったのは、変わりなかったことでしょう。



ポール・ハリスの思い出話から始まりました

食事のために中断していた会議が再開し、R I会長エレクトのK. R. ラビンドラン氏の講演が始まると、出席者は期待を込めて、その話に集中しました。

「私たちがリードするのは一年に限られています。来年度の366日の毎日は限られた貴重な時間であり、二度と訪れるものではありません。与えられた時間が限られていると悟った時、その時間はさらに貴重なものになります。何かを成し遂げ、創造し、自分がここにいたこと、意味ある存在であることの証しを残したいという気持ちがあります。だからこそ、多くの人たちは、ロータリーの役員としての一年を、証しを残すための一生に一度のチャンスと捉えるのです。しかし、私はこう申し上げます。もし、本当に変化をもたらしたいと思うなら、自分の証しをロータリーに残すのではなく、ロータリーを前進させることによって、ロータリーの証しを世界に残すためにこの一年を使ってくださいと」

この言葉の通り、今回の国際協議会でラビンドラン氏が自身の新しい方針を打ち出すことはありませんでした。

この言葉の通り、今回の国際協議会でラビンドラン氏が自身の新しい方針を打ち出すことはありませんでした。

「人生の終わりを迎える時、与えられたものを無駄にし、後世に何も残さなかったと悟るのでしょうか。人生を振り返り、自分の善き行いがこの世に生き続けると知るのでしょうか。人生は一度しかありません。2015 - 16年度というチャンスは一度しかありません。その時間はあまりにも短く、なすべきことはあまりにも多いのです」と、貴重な時間を精いっぱい過ごすことを示唆しました。

「私たちの第一の、そして最も重要なチャレンジはポリオの撲滅です。

25年以上前、私たちがポリオ撲滅を約束した時、125か国にポリオが常在し、毎日1,000人以上の子どもがポリオによって体にまひを生じていました。現在、ポリオ常在国は3か国、2014年のポリオの症例数は333件にまで減りました。そのほとんどの報告は、パキスタンからのものです。私たちの課題はワクチンを子どもの口に届けるだけではなく、殺害者たちから予防接種員を守ることもあります。タリバーンが、子どもたちのワクチン投与に向かう女性たちを狙い撃ちし、罪のない子どもたちを教室で殺害するという手段を用いる中、パキスタンの政府と市民は、ロータリーとともにポリオのない未来を実現するために力を尽くしています。25年の活動、そして何百万人という人たちの信念、献身、信頼は卑劣な敵によっておとしめられることはありません。私たちは闘いを続け、必ずや勝利することでしょう。なぜならば、私たちはポリオのない未来をプレゼントすると、世界の子どもたちに約束したからです。私たちは必ず、このプレゼントを子どもたちに贈ります」とポリオ撲滅への意気込みを表しました。

「ロータリーは膨大な可能性を秘めています。しかし、



K. R. ラビンドラン R I 会長エレクト

多くのクラブや地区では、ロータリーのあるべき姿が実現されていません。私たちの組織を形づくる基本に立ち返る方法を見つけなければいけません。それは、人生のあらゆる場面における高い倫理基準と各クラブの人材の多様性を奨励する職業分類システムです。これらは、会員増強の足を引っ張る障害にすぎないと見られることが、あまりにも多いのが現実です。これらはロータリーの成功に欠かすことができなかったものであり、これらを見れば、私たち自身を危険に陥れます。誠

実さにおいて非の打ちどころがなく、やると決めたことを何でもできる専門性を持った会員からなっているクラブこそ、真のプレゼントだと言えるでしょう。しかし、ロータリーを一世紀前と同じように語り、ロータリーの成長を期待することはできないことに、私たちのすべてが気づいています。私たちは今、新しい現実に生きています。ブランディングへの集約は確かに必要なことなのです。世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要があるのです」と、クラブのあり方にも一石を投じました。

「私たちは若い会員に魅力あるものでありたいと思っています。しかし、ロータリーのバックボーンとなる年配の会員を遠ざけたり、最近退職したもののまだ十分に貢献できる会員を疎んじようと思っているわけではありません。会員に対し、クラブの枠を超えた活動に参加し、ロータリーのネットワークにもっと関与するよう奨励します。しかし、会員に負担がかかるようなことはしたくありません。各課題を解決するための簡単な答えはありませんが、何とかして答えを見つけなければいけません」と述べ、それを見つけるのがガバナーやロータリーのリーダーの役割であると続けました。

「自分の人生において、また、自分が大切にするもろの責任をおろそかにせずに、どうしたら自分自身をプレゼントとしてささげられるのでしょうか。それは可能なことであり、実際に私たちはそれを実行します。なぜならば、私たちは一体となってこの課題に臨むからです。それが私たちを導いていくテーマです」と話し、新年度の R I テーマ「Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

「ロータリーにおいて私たちはあらゆるリソースをささげますが、何よりも大切なのは自分自身をささげることです。何かを手渡すというのと、手を差し伸べ



黄其光 R I 会長

るということには、大きな違いがあります。特に、思いやりの心を持った温かい手であれば、その違いはなおさらです。私たちは昔、子ども心に、思いやりと愛のこもったささやかなプレゼントは、気持ちのこもっていない高価なプレゼントよりも貴重であることを理解していました。他人のために何かする時には全身全霊をささげて初めて価値があるということを私たちは理解しています。だからこそ、私は皆さんに懇願するのです。『世界へのプレゼントになろう』と、テーマの意味を説明しました。

ロータリーのDNAは何なのか考える

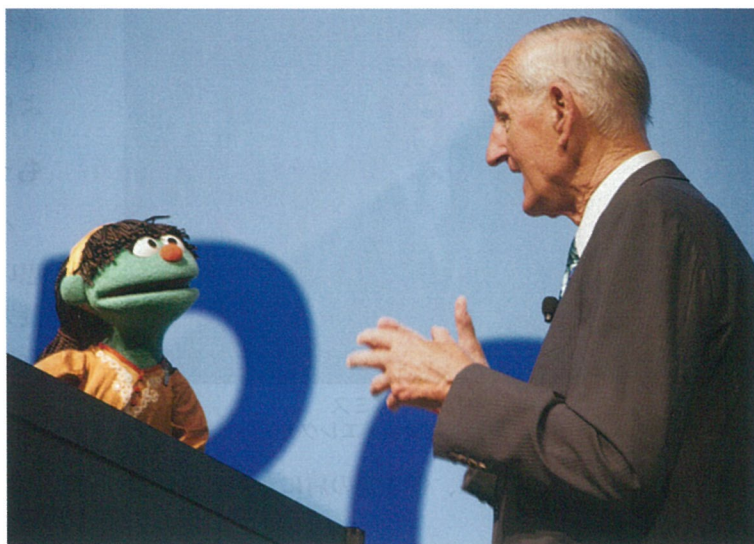
現代社会や文化の傾向について研究をしているマイケル・マクイーン氏の話は、過去にも国際協議会で聞いたことがあります。彼は、現代のトレンドについて、また、若い世代について紹介し示唆を与えています。

今回彼は、「21世紀における会員組織」というテーマで話し、継続して繁栄しているブランドを持っている企業の例から、長続きする組織の要素を紹介しました。

「時代の変化に合わせて再調整をしていける組織であること。自分たちがなぜ存在しているのか、ロータリーで言えば、ロータリーのDNAは何なのかを考え直して調整するということです。コダック社は、もともと記憶媒体を売る会社でした。時代の変化に合わせ、どのようにしたらフィルムをもっと買ってもらえるのかではなく、どのような方法でデータを残してもらえらるだろうかを考えるべきでした。もし、このような自問をしていたなら、今のデジタル時代にもっと大きな影響力を持っていたかもしれません。ロータリーがコダックのような畏^{おそ}れにはまることは避けなければなりません。そのためには、

『ロータリーのDNAとは何なのか』を考えることです。新しい会員を集めようとする時に、時代とともに変わることのない、自分たちの価値観、優先事項、コミットメントを忘れてはいけません。時代に合わせるために、妥協する必要はありません。妥協して中核的価値観を変えれば、その組織は長続きしません」と、組織の原点に立ち返ることの重要性について話しました。

一方で、「ニーズと時代が変わる時に、どのように組織をつくり直していったらいいのでしょうか。ロータリア



子どもたちの手洗いとトイレについて教えるために生まれたセサミストリートのキャラクター・ラヤちゃんを紹介するビル・ボイド元RI会長

ンが常識として考えていることは、これから組織に入れようとしている若い人たちには、おかしいことと考えられるかもしれません。イノベーションと創造性を考える時に、新鮮な目を持った人に聞くべきです」と述べ、「数十年前には意味があったが、今はその意味を失っているものをロータリーは残そうとしています。その全てが悪いとは言いませんが、私たちは変化に対応しなければいけません」と続けました。

3つ目として「ロータリーのポジションをクラブレベル、世界レベルで変えること。ロータリアンであることにどのような価値があるのかを伝えることです。若い人たちは友達とネットワークをつくるのが上手です。奉仕活動に参加して社会にお返ししたいと考えています。世界の人口の半分は30歳未満です。その方々に、もっと会員になってもらいましょう」と述べました。

最後に「どうやったら、もっと地域社会に受け入れられるのかを考えるべきです。今、ロータリーは向かい風

に直面しています。ヨットの場合、向かい風の中で操縦するのは非常に難しいものです。その場合は、まっすぐ進むのではなく、方向を変えながら進む必要があります。今、ロータリーが直面している向かい風は、ロータリーが方向性を変える機会でもあるのです。ポール・ハリスは『ロータリーが可能性を実験するためには、常に変化し、場合によっては大きな変化をしなければならない』と言っています。皆さまは、変化、場合によっては革命的に地区とクラブを変える用意があるでしょ



マイケル・マクイーン氏



レイ・クリングスミス
ロータリー財団管理委員長エレクト

うか。ロータリーの未来は、皆さまの肩にかかっています」と結びました。

ロータリー財団管理委員長エレクトのレイ・クリングスミス氏は、元ロータリー財団親善奨学生です。彼は「私はロータリー財団から生まれた者です。私の命はロータリー財団から得たものであると考えられます。ですから、来年度をロータリー財団の歴史の中で一番素晴らしい年度にしたいと思います」と、抱負を語り、また、2016 - 17 年度にロータリー財団の 100 周年を迎えるに当たって、財団管理委員会が設置した新しい優先項目が設定されたと話しました。

新しい優先項目は「永久にポリオを撲滅する」「ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる」「財団の補助金と 6 つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める」「ポリオプラスにおける成果と『世界でよいこと』をしてきた 100 年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める」の 4 つです。

クリングスミス氏は、「クラブや地区も世界へのプレゼントになりましょう。世界各地の地域社会でプレゼントになりましょう。そのためには、私たちは鼓舞され、

日程をすべて終えて「はい、ポーズ」



誇りをもって、世界をよくするために活動していくことです。それによって全ての人たちがよりよい生活ができ、より人になっていくでしょう」と締めくくりました。

もっと器を大きくしなさい

今回の国際協議会は、実務的な講演に終始したように思いました。その中で、ラジェンドラ・サバー元 R I 会長夫人のウシャ・サバーさんの話は、長年、夫とともにやってきた活動を紹介し、心打たれるものでした。

「私は母親です。私には、世話をできる手と愛情のこもった心があります。最も大切なことは、私は母親にしか見ることのできないものを見る目と、母親にしか聞くことのできないものを聞く力を持っていることに気がつきました」と話し、母親として、ロータリアンの配偶者としての経験から話を進めました。

「夫がクラブ会長になった時、私は不満を言いました。ある時、私は相談を聞いていただいている方に、『なぜ家族に必要とされている時に、ラジャはロータリーに入ったのでしょうか』と聞



ウシャ・サバーさん

きました。その方はじっくりと考えて『あなたがなぜこの地球に存在しているのか考えたことがありますか。世界は荒れて苦しんでいる人たちがたくさんいます。ロータリーをあなたの家庭の諸悪と見るか、あなた自身の人生を変える光と見るかは、あなたの判断次第です』とおっしゃいました」と述べました。そして、その人から聞いた物語を紹介しました。

「ある先生が、ある朝、水と塩を持ってきました。そして、一人の生徒に水に塩を入れて飲みなさいと言いました。生徒が塩水を飲んで、あまりにも塩辛くて飲めませんと言いました。先生は近くの湖に生徒を連れて行き、塩を一つまみ入れて同じ生徒に水を飲んでみなさいと言いました。生徒は、塩が入って

いるのにこの水はとてもおいしいですと言いました。それに対して先生は言いました。人生の問題というのは、困難をどう感じるかであって、それは器次第なのです。視野を広げなさい。器を大きくしなさい」

ウシャさんは「私は深く考えるようになりました。私の視野が広がり始めました。自分たちのことから、ほかの人たちのことを考えるようになったのです。私の心の声が『もっと器を大きくしなさい。グラスではなく湖になりなさい』と言いはじめました」と述べました。

その後、彼女は奉仕をする機会に恵まれ、今日までさまざまな活動が続けてきましたが、それらについて紹介し「夫と私は、奉仕活動をしなければならないという中毒にかかっています。私たちは生きている限り、私たちが健康である限り、奉仕活動が続けていくでしょう。皆さまは私よりたくさんの能力をお持ちの方々です。いろいろな方法で、世界をもっと小さくし、平和という私たちの夢にもっと近づけることができる人たちです。私は、私の人生を変えた受益者の方々に感謝します。私はロータリアンに感謝します。皆さまが奉仕のために時間を割いて、人生を変えていくこと、皆さまが自らのリソースをプレゼントして、人々の生活を向上し、人々に喜びを与えていること、愛と思いやりを持って皆さまが世界のプレゼントになっていること、人類のプレゼントになっていることに感謝したいと思います」と結びました。

自分自身の物語を分かち合う

「時間には限りがあります」というラビンドラン氏の言葉の通り、国際協議会も終わりの時を迎えました。

閉会のあいさつで、ラビンドラン氏は「ロータリーの物語は私たちの経験を基にしたものです。私たちが物語を伝える時、私たちが分かち合っているのはロータリーの物語ではなく、私たち自身です」と述べ、ロータリー

ラビR1会長エレクトとバナティー夫人



「ロータリーのリーダーとは、オーケストラの指揮者のようなもの」と話すクリフォード・ダクターマン元R1会長

にまつわる自身の経験について語りました。

1963年、ラビンドラン氏が子どものころ、母親はポリオを発症し人工呼吸器（鉄の肺）が必要な状態になりました。しかし、スリランカにある人工呼吸器は既にすべて使われていました。そこで、ロータリアンであった祖父や父親の仲間たちが手を尽くし、海外から人工呼吸器を取り寄せ、母親の命は救われました。

「私の母は、ロータリーによってポリオから救われた最初の何人かの一人だったと思います。それ以来、ロータリーは何百万人の命を救いました。これからも、ロータリーは多くの人々の命を救うでしょう。しかしそれは、砂漠の砂のようなものです。海の水のようなものです。尽きることはないでしょう。51年前、ロータリーは私にプレゼントを贈ってくれました。私の母を帰してくれたのです。そして、今晚、私は母の息子として、皆さまの会長エレクトとして、数年後、ロータリーはポリオのない世界を人類にささげるのではないかと、皆さまにお願いしたいと思います」と語り、ポリオ撲滅について話を続けました。

穏やかな思慮深い口調ながらも、ポリオ撲滅への強い意志が感じられましたが、それは子どものころの母親をポリオに奪われてしまうかもしれないという恐怖を感じた体験からきているのだと思います。

ビジネス的な発想は、組織を合理的に前に進めます。困難な経験をした人の経験やそこから救われた人の物語は、人々の心を動かし、「自分も何か役に立ちたい」という気持ちを起こさせます。その両方を持ち合わせたラビンドラン会長エレクトは、来年度、たくさんの示唆を与えてくれるものと期待したガバナーエレクトも少なくなかったことでしょう。

取材 『友』編集長 二神 典子

ハードルが高くなった？ R I 会長賞

1月に開催された国際協議会で、2015－16年度の国際ロータリー（R I）テーマが発表されました。これに加えて、各ロータリークラブが挑戦する「R I 会長賞」も発表されました。

すでにPETS（会長エレクト研修セミナー）で聞いたり、R Iのウェブサイトから資料をダウンロードしたりして、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、その内容を知って驚かれた方も少なくないと思います。

「ハードルが高くなった」というのは、例えば、「ロータリー財団への寄付目標額が増えた」とか、「会員増強の目標値が上がった」という意味ではありません。「オンラインツールの利用」という項目が入っているからです。内容は、以下の通りです。

- ・My Rotary へのアカウント登録：全クラブ会員の少なくとも50パーセントが、登録を完了する。
- ・ロータリーショーケースの利用：少なくとも1件のプロジェクトについて、情報を掲載する。
- ・ロータリーのアイデア応援サイトの利用：ほかの地区・クラブによるプロジェクトを支援するか、クラブ独自のプロジェクトに対する応援を募る。
- ・My Rotary のフォーラムへの参加：少なくとも二人の会員が、フォーラムでのディスカッションに参加する。

この4項目から2項目を達成する必要があります。今年度もMy Rotary やロータリークラブ・セントラル（クラブが目標を立て、達成状況を確認するオンラインのツール）に関する項目はありましたが、いずれも任意のものでした。新年度は範囲が広がり、選択肢はあるものの必須項目となっています。

さて、皆さまのクラブではいかがですか。どのくらいの方が参加されているでしょうか。その前に、これらの項目について、どのようなものか見当もつかない、という方もいらっしゃるかもしれません。

インターネットに慣れない世代にとっては、なかなか高いハードルだと思います。インターネットは使いこなしていても、フォーラムに参加するのに英語が苦手なので難しいのではないかと心配される方もいらっしゃるでしょう。どちらも問題はないが時間が取れないという方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、R Iのウェブサイトを通して、これまでは得ることの難しかった情報を、簡単に得ることができるようになりました。例えば、新年度のR Iテーマは、国際協議会で発表されると同時にR Iのウェブサイトに掲載されていて、ガバナーエレクトが連絡する前に、多くのロータリアンが知っていました。世界中のロータリークラブのさまざまな活動を知ることができます。海外のロータリアンと情報交換をしたり、交流をすることもできます。

My Rotary にアクセスするのは、それほど難しいことではありません。インターネットの検索サイトで「国際ロータリー」と入力すれば、R Iのウェブサイトを見つけることができます。画面が開いたら、上にあるMy Rotary をクリックしてください。アカウント登録がまだの方は、ここで登録して、先に進んでください。

早速、トライしてみましょう。My Rotary にあるいろいろな項目を開いてみて、どこにどのような情報があるのかを見てみてください。少し慣れてきたら、次のステップへ。ロータリーショーケースやフォーラムなど、すべてはMy Rotary から参加することができます。

英語で情報発信をすれば、世界中のロータリアンが読んでくれます。しかし、必ずしも英語でなければならないということもありません。日本語でも、国内の利用者が増えれば、十分に情報のやり取りができるようになります。「ハードルが高くなった」と書きましたが、実はそんなに高くもないのです。必要なのは、怖がらずに挑戦するというだけです。

『友』編集長 二神 典子



山椒は小粒でもぴりりと辛い

—小さなクラブにあふれる奉仕の心—

「会員数が減少して思うように活動ができない」という悩みを抱えているクラブも少なくないことでしょう。今月は、30人以下のクラブの活動を紹介します。「人数が少なくても、できる活動はたくさんある」ということを、これらのクラブの活動が物語っています。

異文化の冒険

——世界は君を待っている

燕RC 遠藤 重治

日本語が流暢で学業優秀な米山奨学生、われわれの身近にいる米山奨学生を地元の中学校に招き、中学生の皆さんと異文化交流ができれば素晴らしいという思いで、燕市立燕中学校を会場に「異文化の冒険——世界は君を待っている」と題した交流会を、12月5日に開催しました。

中学2年生220人と米山奨学生8人、同じ大学で学ぶ留学生の友人12人。トーゴ、インドネシア、中国、韓国、マレーシア、メキシコ、モンゴル、ベトナム、東ティモール、ネパールと、10か国20人の留学生が参加しました。またコーディネーターとして、国際政治学を専攻し、世界30か国を訪問した経験のある新潟国際情報大学の佐々木寛教授に講演と進行を依頼。同大学の国際交流インストラクターのサポートをいただきました。

講演の後は中学生と留学生がグループに分かれてのワークショップ。中学生が抱く留学生の出身地のイメージ、留学生が新潟に対して抱いていたイメージと実際と

のギャップを紹介。各国の風土や食べ物の話を聞き、世界の広さを感じるとともに驚きと発見の連続だったようです。

最後に留学生から聞いた話を基にグループごとに出身地に関するクイズを考え出題。「トーゴは何語?」「東ティモールはどこ?」「日本にあってマレーシアにないものは何?」など、会場全体でクイズに参加。異文化について楽しく勉強することができました。

初めての試みでしたが、これからも継続していきたいと思います。
(会員数 30人 第2560地区 新潟県)

KOKO塾「まなびの郷」で 高校生とオープンカフェ

粉河ロータリークラブ

KOKO塾「まなびの郷」は、地元の和歌山県立粉河高等学校が和歌山大学の協力・支援を得て、13年前に立ち上げられた「学びの場」です。その趣旨は、年齢や職業などの違いを超えて誰もが自由に参加できる豊かな学びの場を創出し、生涯学習の推進と豊かな町づくりに資するとともに、高校生たちの確かな学力の向上を図ることです。

11月8日には、同塾の町づくりワーキンググループを中心に地域の協力を得ながら、「ワッショイとんまか〜もっとつながれ〜」をテーマにオープンカフェを開催。町の活性化を論議するトークセッションや粉河高校の音楽系クラブの演奏、メイン企画の「よさこい」などで大変盛り上がりしました。

当クラブは会員8人で初参加し、さつまいもスティックの販売に挑戦しました。作業手順は、サツマイモを切って、揚げて、砂糖をかけ、紙コップに詰めて完成。当日は天候にも恵まれ、準備したサツマイモ20kgは完売しま





障がい者施設の人々と クリスマス会

川口・鳩ヶ谷武南ロータリークラブ

川口市内のNPO法人「ほっとすてーしょん」は、地域の障がいを持つ人々の就労、生活、余暇に関する支援事業を行い、ノーマライゼーションの推進に寄与しています。当ロータリークラブは、その趣旨に賛同し、今回「ロータリーデー」として、クリスマス会を開催することとなりました。当日は、地域の方々に楽しんでいただくよう、施設利用者の方々とご家族、支援学級の中高生の皆さんとご家族、それに、わがクラブの会員とその家

族、総勢80人ほどが集まり、例会から見学参加してもらいました。会員の作った軽食に舌鼓を打ち、サンタさんからのプレゼントに大喜び、「けやき太鼓」に参加して太鼓をたたいたり、パティシエの作る巨大なクリスマスケーキに歓声をあげたり……と、楽しく進行。最後は参加者全員で「手に手つないで」を合唱し、クラブの広報活動としても十分効果があり、有意義な一日となりました。

(会員数 26人 第2770地区 埼玉県)



した。

私たちは高校生の若いエネルギーを感じると同時に、青少年を育てるという夢を、微力ながら実行できたのではないかと自負しています。来年度以降も、この企画を続けたいと思っています。

(会員数 19人 第2640地区 和歌山県)

「浜っ子共同作業所」に スポーツ用品を寄贈

八幡浜ロータリークラブ

11月19日、八幡浜ロータリークラブは「浜っ子共同作業所」(障がい者福祉施設)に地区補助金を活用して、卓球とバドミントンのラケット各20本を贈りました。これを用いて今年5月、八幡浜高校インターアクトクラブを加え「親善球技大会」を行います。それまでに三者とも練習に励み大会に備えます。

贈呈式の後、辻彰三会長と浜っ子共同作業所利用者代表の河野良輔選手(障害者スポーツ全国大会優勝者)が始球式試合を行いました。結果は当然……(会員数 27人 第2670地区 愛媛県)



ミクロネシアの小学校に 机といすを寄贈

東京田園調布緑RC 会長 黒坂 浩

私たちは2004年、ミクロネシア連邦チューク州ザビエル高校にコンポスト・トイレ(バイオ・トイレ)を寄贈したことに始まり、その後、州立病院に医療廃棄物用焼却炉、同州の小学校に机といす200組を寄贈するなど、支援をしてきました。

今年度は2度目となる机といすの寄贈を実施、300組を現地の小学校に贈りました。今回は特に現地の女性



桑の木鉢おもてなしプロジェクト

富岡かぶらロータリークラブ

地区補助金を活用して、世界遺産の富岡製糸場に桑の木を植えた鉢を贈る「桑の木鉢おもてなしプロジェクト」を計画、10月7日、同製糸場で「移動例会」を開催し、鉢

2個を贈りました。

鉢は、製糸場の正門近くに設置されました。蚕が桑の葉を食べて育ち、絹糸をはいてマコを作るまでを、見学者に理解してもらうのに役立ててもらいたい、という思いで計画した事業の一環です。

この鉢は、高さ約60cm、直径50cmで、側面に桑の葉がデザインしてあり、下方にクラブ名が入っています。制作は、美術陶芸家に依頼しました。

(会員数 26人 第2840地区 群馬県)



組織「CWC」により、ミクロネシア駐日大使館を通じての要望によるもので、幸い、わがクラブの会員でもある東京実業高校校長の上野毅会員から、机、いす提供の申し出があって実現しました。

ミクロネシア連邦と日本の国旗、そしてロータリー徽章をデザインしたシールを作り、12月2日、会員全員で寄贈する机といすに貼る作業を行いました。12月5日には会員有志と東京実業高校野球部の生徒25人の応援を得て、会員が所有する一時保管場所までの輸送トラックへの積み込み作業を行いました。

保管した机、いすは12月22日の船便で横浜港から

チューク州へ向かい、年明け1月2日には港に着きました。

現地での船からの荷おろし、各小学校への配送作業は「CWC」が責任を持って行われ、現地の状況を確認するため、前回同様、会員有志が現地を訪問する予定です。その際には、現地の様子を含めあらためて寄稿しようと思います。

(会員数 28人 第2750地区 東京都)

気仙沼赤牛漁港に 水産物集出荷施設と密漁監視施設

仙台レインボーRC 秋田 陽子

10月17日、宮城県気仙沼市赤牛で水産物集出荷施設、密漁防止設備の引き渡しが行われた。

これは、昨年度、当クラブの会員から気仙沼の漁港の監視小屋が津波で流されて困っているという報告があり、申請したもの。今年度、第2520地区の震災復興事



業費で220万円が認められ10月完成となった。床面積約58㎡の木造2階建て。1階には事務所と作業場、2階にはサーチライトを備えた監視室が設けられ、ウニやアワビの集出荷、磯根資源の保護活動に使われる。

たった11人しかいない小さなクラブから7人が参加し、漁業関係者とともに「ロータリーデー」と銘打って引き渡された建物に、これからいっぱい海産物があふれ、笑顔の漁民が集う場所となるよう祈って喜びを分かち合った。
(会員数 11人 第2520地区 宮城県)



出前授業を通じた 子どもたちとの触れ合い

茨木RC 長谷川 浩

職業奉仕委員会の出前授業を、10月8日に茨木市立畑田小学校5年生全員(56人)を対象に行いました。テーマは「物流のしくみ」。この小学校の校区内には国道があり、インターチェンジも隣接しているため、近隣には物流拠点も多くあります。その影響で交通量も多いので、先生方からは安全に関する話も含めてほしいとの要望がありました。

当日は、始めに体育館で30分の講義。その後、運動場で実際の保冷車(3tトラック)を使っの体験学習を行いました。講義では「物流ってなに?」「荷物はどうやって運ばれてくるの?」などを、小学生向けのリーフレットを使って、戸川通夫会長がわかりやすく説明。運動場での体験学習は、実際に業務に携わっている方々による説明です。

ドライバーからは「死角」といって、サイドミラーでは見えない部分があることを聞き、実際に運転席に乗って体験したり、荷物の積み下ろしに使用するパワーゲート



に乗って荷台の中に入ったりと、子どもたちにとっては初めての体験でした。

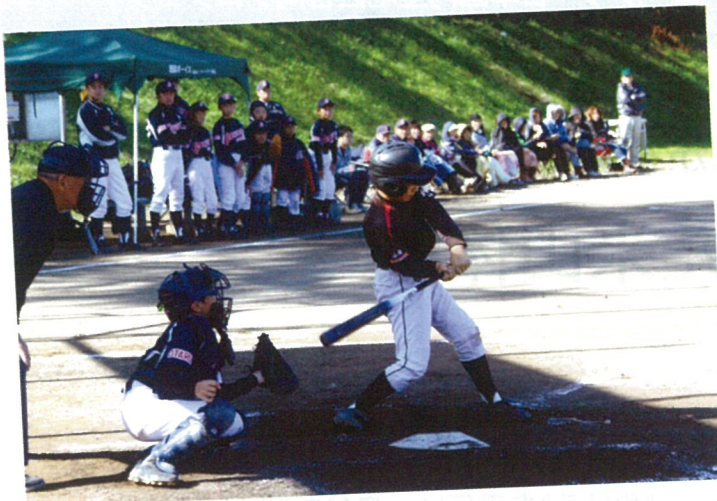
最後の質疑応答では、大人顔負けの専門的な質問が出るなど、子どもたちの興味と好奇心は尽きることがありません。爽やかな秋晴れの下、日ごろとは一味違った授業を受けた子どもたちにとっては、思い出に残る授業になったと思います。
(会員数 27人 第2660地区 大阪府)

安心安全まちづくりフォーラム 「災害時トイレどうしよう! in 埼玉」

蔵ロータリークラブ

11月8日、クラブ創立50周年記念事業として「安心安全まちづくりフォーラム『災害時トイレどうしよう! in 埼玉』」をロータリーデーとして開催。蔵市や埼玉県など行政関係や学校、PTA、各町会、婦人会などから約700人が参加しました。当クラブの主催、NPO法人日本トイレ研究所の企画運営で開き、当日の様子はテレビや新聞で紹介され、意義ある社会奉仕事業と





少年野球大会

小樽銭函ロータリークラブ

10月11～12日、小樽市立銭函小学校のグラウンドで、「第31回小樽銭函ロータリークラブ杯少年野球大会」を開催（第1回は1983年）。小樽

市と隣接の札幌市手稲区の星置、稲穂地域の7チームが父母の会や保護者らの多くの声援を受け、白熱したプレーを繰り広げました。

準決勝では、延長同点時の特別ルール「促進ルール」を適用する場面もあり、熱戦となりました。決勝戦では朝里ホーネッツが銭函ボーイズを3対0で振り切り、優勝を飾りました。（会員数 20人 第2510地区 北海道）



して広く発信されました。

災害への備えは「まずトイレから」との認識を、多くの市民、地域、学校などに持ってもらい、現状認識、備え、実践策などについて議論しました。排せつ、し尿処理、衛生管理などが命に関わること、公助には限界があり、自助・共助の意識向上、平素の防災訓練、備蓄方法など地域防災力アップに役立ってもらうことを目的としました。電気、水道が復旧しても下水道の復旧なくして、水洗トイレや生活排水の使用はできません。究極の災害対策は下水道にある、とも言えます。

基調講演では、東日本大震災では対策本部などで救命に携わった岩手県の医師・秋富慎司氏、続いて宮城県塩竈市立浦戸中学校教頭の伊東毅浩氏のお話を聞き、パネルディスカッションでは国土交通省の加藤裕之氏らが参加し、蔵市のトイレ事情、要援護者対策などについて活発に議論されました。社会奉仕活動のあり方に一石を投じる有意義なフォーラムでした。

（会員数 28人 第2770地区 埼玉県）

関空島の浄化センターを見学

関西国際空港RC 樫井 賢一

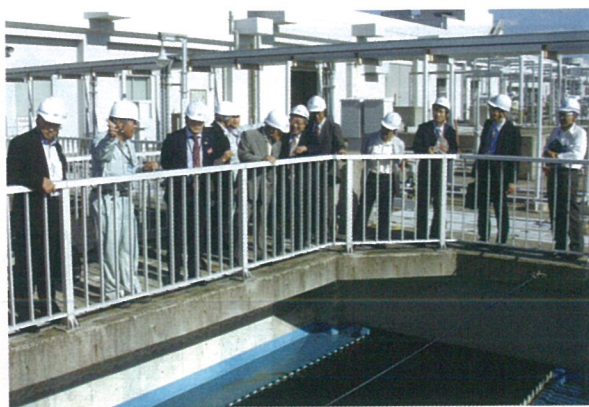
10月7日の例会の後、約1時間にわたって関空ウオッチングをしました。今回は、関空島の南側に設置され

ている浄化センターで、関西国際空港にとって大切な水処理の仕組みを見学、総勢16人が参加しました。

毎日、およそ4万人が働き、利用している関空島の水のインフラ設備を一手に管理しているのが浄化センターです。上水の給水管理はもちろん、旅客ターミナルビルの厨房からバス、トイレの排水をはじめ、空港のさまざまな施設から出される生活排水の処理と管理を担っています。

汚水が高度に浄化され、中水として再利用されているシステムに、参加者全員が納得。われわれのクラブの会員が、関空を陰で支える設備とそこで働く人々と交流し、また、日ごろ見ることのない水資源の有効活用の仕組みをじかに見学することができた、有意義なひとときでした。

（会員数 22人 第2640地区 大阪府）





“よねやま”から広がる新しい世界 ⑤

私を変えた米山体験



宗像 R.C.

(第 2700 地区 福岡県)

カウンセラー

安増 惇夫 さん

とりあえず引き受けたカウンセラー

私が 1986 年に創立会員として入会した宗像ロータリークラブ (R.C.) は、宗像が古来、唐や宋との大陸貿易の要衝として栄え、また地域に大学があることを踏まえ、当初から国際交流と青少年育成に重点を置いています。その一環として、将来の教育者を目指す福岡教育大学の留学生たちに、日本を好きになってもらおうと、市内在住の外国人留学生全員を対象に「サービスパスポート」を発行。これは、会員の店や病院、会社のサービスを優遇して受けられるもので、今も毎年度配布しています。

こうしたクラブの仕事や組織づくりに追われ、刺激を楽しんでいましたが、数年もすると例会は単調でつまらなくなり、「そろそろ辞め時かな」と考えていた矢先、会長から「安増さん、米山奨学生のカウンセラーをしてみらんね？」と打診されました。私は即座に断りましたが、「こんな子と酒でも飲んだら楽しいんやない？」と書類を見せられ、暇つぶしのような気持ちで引き受けました。



当時の安増氏と劉さん(中央の二人)

ここから私と米山の関係は始まったのです。

“化ける”を手伝い、自分も“化ける”

そもそも私は留学生に偏見を持っていました。歓楽街には、留学生を名乗る外国人が多く働いており、彼らが勉強をしていないことは一目瞭然でした。しかし、劉平^{リュウピン}さんやその友人たちと関わるうちに、彼らの真面目に学ぶ姿が私の見方を変えました。劉さんは困っている同胞のためにと、裁判所での法廷通訳のボランティアを始めました。誰にでもできる仕事ではありません。基礎訓練を受け、専門外なのに一生懸命勉強に打ち込んでいました。「この子は化けたな」と感じました。「留学生なんてどうせ……」という私の偏見は、完全に消えていました。

以来、地区米山委員と同委員長、米山記念奨学会理事など、長年米山に関わっていますが、原点となるのは、やはりカウンセラーの体験です。それ以前も外国人留学生との交流はありましたが、“金のない留学生を支援する”という程度の意識が、“人を育てる”という認識に変わったのは、米山カウンセラーをしてからです。人を育てるというのは、自分が上の立場にいる、ということではありません。“化けるのを手伝う”という意味です。そして、私たち自身も“化ける”ことができるのです。

なぜ今、米山なのか？

昨今、事業に対する疑問の声が聞こえてきます。なぜ米山なのか。反日と言われる国からの留学生になぜ奨学金をあげるのか。それは、人を育てるからです。世界に平和の種を蒔いてきたこの事業の種が、ようやく開花しようとしていると実感しています。皆さん、米山カウンセラーになってみませんか。ロータリアンにとって、日本にとって、本当に大切な事業です。留学生との交流、本音での語り合い、目に見える国際奉仕の最前線です。これほど魅力にあふれた、面白いチャンスはめったにありません。最後に、地区を代表し米山に関わる私を応援してくれる宗像 R.C. の皆さんに、心から感謝をささげます。

宗像RCの安増惇夫氏は以前、留学生の支援に積極的ではありませんでした。ところが、“とりあえず”で引き受けた米山カウンセラーの体験がその認識を変えることになり、現在は米山記念奨学会理事や全地区の米山委員長への研修で講師を務めるほど、米山に深く関わっています。安増氏の心を変えるきっかけとなった元奨学生・劉平さん^{リュウビン}も、ロータリアンとの出会いから心に変化が生まれて……。今回は、米山体験が変える「心」のストーリーを紹介します。



米山学友
リュウビン
劉平さん

出身：中国

奨学期間：1997 - 98

学校名：福岡教育大学大学院

ロータリアンの背中を追って

ロータリアンからおいしいものをごちそうになった、こんな所に連れていってもらった……。多くの米山奨学生はこうしたうれしい体験をしていると思います。いい思いができた幸運ではなく、私たち留学生のために、できる限りのことをしたいという皆さんの気持ちは何よりうれしいのです。私も約20年前、寒い冬にストーブやコートを差し入れてもらったり、人生に迷った時に的確なアドバイスをいただいたり、数え切れないほどのご恩をいただきました。

特にカウンセラーの安増さんは、車のドアまで開けてくださるような、まるで映画の英国紳士のような方でした。ロータリアンと接するうちに、自分ももっと人間を磨き、成長し、自分の生活や仕事だけを考えるのではなく、皆さんのように社会に還元できる人間になりたいと強く思うようになりました。

日中における「期待の窓」に

私は現在、日系企業に勤め、日中間を往復する日々ですが、奨学生時代から地方裁判所の法廷通訳、教育委員会派遣の通訳教師、国際交流協会のボランティアなどを続けています。今日の日中関係には心を痛めています。この困難を乗り越えるために、われわれ留学経験者一人ひとりが両国の実情、異なる文化などの情報を発信し、未来への懸け橋となるべきです。

最近、自分の体験や日本の風景、食べ物などの画像や動画をインターネット上で発信したところ、中国の親戚や友人から「こんな日本は初めて！」と絶賛され、大きな反響がありました。こんな小さなことでも、両国間の壁に穴を開け、「期待の窓」になるのだと思いました。一人ひとりが小さなことでも実践していけば、いつか壁はなくなると信じています。皆さんが私たちに注いでくださった気持ちを若い世代に引き継ぎたい。そんな気持ちで、これからも頑張っていきます。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



タイ米山学友会が児童養護施設で奉仕活動

タイ米山学友会が12月21日、バンコク郊外の児童養護施設を訪問して奉仕活動を行いました。学友たちは食材を持ち込んで子どもたちにランチを提供したほか、メンバーからの寄付や勤務先企業からの協賛を得て集めた絵本やおもちゃ、お菓子、シャンプーなどを一人ひとりに手渡しました。同学友会幹事のインタラチット・ヌンヌットさん（2006 - 07 / 横浜鶴見北RC）は「子どもたちが昼食をおいしそうに食べるのを見て、うれしかった。これからも自分たちにできる活動を考え、続けていきたい」と語りました。昨年は新たに大学生2人に奨学金の支給を始めるなど、創立3周年を迎えたタイ米山学友会は、着実に活動の幅を広げています。



タイの学友が多くの子どもたちに贈り物

ガバナー訪問、 伝道師の旅

第 2770 地区

濱野 英美 ガバナー
(大宮シティ RC)



第 2770 地区は、地区内に 75 クラブあり 12 グループに分かれています。ガバナーとして、各クラブを公式訪問させてもらいましたが、その際に感じたことを述べさせていただきます。2014 年 7 月 9 日～12 月 3 日の約 5 か月にわたる伝道師の旅でした。

全てのクラブに大歓迎していただき、感激の連続でした。それぞれのクラブが地域密着型の特徴ある奉仕事業を実施していました。クラブの事業においては、前年踏襲型はダメ。地域社会のニーズと合致した奉仕事業、何か視点を変えて実行するよう要望しました。各クラブでは世代交代の時期にさしかかり、いろいろ模索している感がありました。

国際奉仕、社会奉仕のバランスが良く取れたクラブもあれば、地域への社会奉仕だけのクラブもあり、特徴が出ていました。ガバナー補佐の各クラブへの対応が素晴らしく、充実した訪問ができました。クラブ協議会の内容も従来型ではなく、質疑、要望、回答と迅速に実施できました。

事前に年度計画書を私もクラブ委員長さんも十分理解してクラブ協議会を実施した関係で、委員長さんは棒読みでなく内容のある自分の言葉で対応していただきました。特に強調した事項は、『週報』の作成、資料整理、会計処理、バランスの取れた奉仕事業、寄付^{ゼロ}0 クラブをなくすこと、戦略計画委員会の設置などでした。

合同公式訪問は 2 か所、5 クラブでしたが、やはり個別に訪問すべきと、今感じております。大多数のクラブが懇親会を開催してくださり、非常に打ち解け、実施していただき感謝しております。できればもう一度訪問したいクラブばかりでした。夏の暑さにも負けず、二日酔いにもめげず訪問できました。ありがとうございました。

(歯科)

魅力ある ロータリークラブを目指し

第 2790 地区

宇佐見 透 ガバナー
(千葉幕張 RC)



第 2790 地区（千葉県）は 13 分区 84 クラブで構成され、会員数 2,714 人からのスタートでした。歴代ガバナーの長きにわたる指導で 1994 年 11 月末からの会員減少は 2 年前に歯止めが掛かり、現在約 100 人の新会員を得ている。公式訪問におけるクラブ協議会では“なぜロータリーは魅力を失ってしまったか”を話し合った。魅力に満ち、憧れでもあったロータリーはどうすれば復活できるのだろうか、さまざまな議論が交錯する。そんな中会員増強のスローガンが掲げられとすぐさま、量が増えると質は下がり、質を上げようとすると量が減るのではなど、まさに錯誤としか言いようがない意見が聞かれる。

できない理由だけ議論し、やらない理屈ばかりを語り合うマイナス発想ではなく、まずやろうとするプラス発想からのスタートが大切ではなかろうか。自らの職業において、鍛えぬき完成された匠の技は、地域の方々から信頼され、クラブの存在感を高め、さらなる発展につながっていく。新たな会員を迎え入れ共に郷土愛に満ちた社会の構築を目指すため今こそ職業奉仕の大切さを見つめ直したい。今一度原点に戻ろう。

2000 年に国際ロータリー（RI）理事会で地区リーダーシッププラン（DLP）に参加するための義務規定が承認された。現在、ガバナーは地区組織を構成する上で DLP に準拠したリーダーシッププランを確立するよう義務づけられている。今年度、私は地区組織を見直し、黄其光 RI 会長が掲げたテーマ「Light Up Rotary」のもと、ロータリーがどのような活動をおこなっているかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」の開催を 84 クラブの全会員に呼びかけてきた。“未来永劫変えることなく継続していく”という考え方から、“変わりながらみんなで続けていく”ことの大切さを改めて考えてみる時を迎えている。

(酒精飲料)

今後の日本のロータリーは、どうあるべきか

第 2800 地区

池田 徳博 ガバナー
(鶴岡西 R C)



12 月末日時点での会員数は 1,622 人と、7 月 1 日時点の会員数から 40 人の増員となっています。

各クラブ、ブロックにおいては「ロータリーデー」に取り組み、奉仕活動をするによるロータリーの広報が、各イベントごとに実施されました。

また、初めての試みとして、11 月にテレビ 27 回、ラジオ 35 回ロータリーについてのコマーシャルを放送しました。ロータリアン自身や一般の方々のロータリー活動への理解が深まったかと思います。

地区大会においては、日本人の精神とロータリーの中核理念である「親睦」との融合を図る試みとして、宗教学者・山折哲雄氏の記念講演を一般公開かつロータリーデーの催しとして実施し、竹腰兼壽国際ロータリー会長代理から一定の評価をいただけたかと思います。

そして、ロータリーの中核的価値観の中の「親睦」と「奉仕」との関係についてですが、「親睦」は、畏友関係と言ってもいいのではないかと思います。互いに尊敬し合い、高め合う、濃密な関係形成であると思うのです。他方、「奉仕」は、「親睦」によって高められた人格が、ロータリーの外に向けられた場合、自ら発露する行動です。また、その「奉仕」によって、人格がさらに陶冶され、その素晴らしい資質が、ロータリーに戻されるという循環になるのでしょうか。

ロータリーは、ユニセフ（国連児童基金）や WHO（世界保健機関）に、取って代わる必要はありません。あくまで、「親睦」による、昇華のための活動なのではないのでしょうか。それは、日本における「道」です。このような捉え方をすることによって、今、100 周年を迎えようとする、日本のロータリーの、本来のあり方を定め直すことができるのではないのでしょうか。

(弁護士)

地区補助金の活用

第 2820 地区

藤居 彰一 ガバナー
(日立 R C)



昨年度から導入されたロータリー財団の新補助金制度においては、地区補助金ために申請できる D D F（地区財団活動資金）の額が 50% までに増額されたのが一番の特徴である。この新制度を有効に活用するため、地区として「深めよう、奉仕を通じて地域社会への貢献を」という目標を掲げた。

わが地区においては、1998 年 2 月末の 2,982 人という会員数をピークに、年々減少の一途をたどっており、昨年度末には 2,000 人を下回ってしまった。公式訪問時に、この問題について各クラブとの意見交換を行ってきた。それぞれのクラブは、各事業に一生懸命取り組んでいるが、地域の方々からすれば、ロータリークラブは地域のためにどのように取り組んでいるか、よく見えない所もあるのではなかろうか。地域で実施している奉仕事業を、地域の人々に理解してもらうための継続的な努力をしてきただろうか。

ロータリーは、国際ロータリーとロータリー財団を両輪として成り立ち、寄付をするのもその資金を活用するのもわれわれロータリアンである。寄付金の管理はロータリー財団管理委員会によって厳正に行われているが、その活用については奉仕活動の各委員会に任せきりになってはいないだろうか。

今年度はこの地区補助金の活用を目指し、地区内全 58 クラブに対し地域社会に役立つ奉仕事業の実施をお願いし、取り組んでいただいた。その結果、教育関係（25 件）、地域社会の発展（21 件）、保健・水など（12 件）、の活動の申請があり、現在進行中である。

本件の狙いは、地区内全クラブが奉仕活動への、より積極的に参画であり、地域社会に貢献することで、ロータリアンの自信と誇りに結びつき「Light Up Rotary」につながっていくことである。今後もブラッシュアップさせていきたいと思っている。

(電気技術)

だから、 ロータリーは面白い

第 2830 地区

工藤 武重 ガバナー
(弘前西 R C)



ガバナー年度も 8 か月が経過しました。地区大会も無事終了し、地区内各所でのインターシティーミーティング (IM) も、順調に行われています。

7 月の年度スタート以来、おかげさまで、いろいろな機会をいただき、地区内をくまなく訪問しました。その中で強く感じたのが、地方経済の疲弊と、高齢化の進展でした。多くのクラブが、会員の維持に苦心している、その現実を目の当たりにしました。

おそらくこれは、わが第 2830 地区に限ったことではないでしょう。全国の大多数の地区、クラブで抱えている、共通の課題ではないでしょうか。いや、現代の「国際ロータリー」という組織全体が内包する、根本的なテーマなのかもしれません。

その解決のため、ロータリーにおけるさまざまなルールの変更が行われてきました。また、クラブ単位では、創意工夫を凝らした会員増強活動を展開しているところもあります。生き残りのため、クラブ自体が積極的に変わっていく、その努力も確かに必要だと思います。

しかし、一方で私は、守るべきロータリーの原点は、しっかりと守られなければならないと、この 8 か月で強く感じました。

言うまでもなく、ロータリーは、昨日今日できたものではありません。1905 年、ポール・ハリスによってシカゴで産声を上げた、100 年余の歴史を持つ組織です。その目的、そして先人たちが目指してきた奉仕の理念、倫理観、価値観、ルールなどは、いかに時を経ようとも、安易に変えるべきではないと思うのです。

今更ながら、「時代の変化に対応する」ことと「時代の変化に迎合する」こととの違いはなんぞや、などと禅問答のようなことを考えています。やはり、ロータリーは、奥が深い……。

(タクシー業)

「ヤル気」から 「本気」へ!!

第 2840 地区

竹内 正幸 ガバナー
(太田 R C)



当地区は今年度、日本で一番早い地区大会を 8 月 9 ~ 10 日に開催しました。その目的は、会員にいち早く国際ロータリー (R I) のテーマや地区活動の目標を示し、理解していただくことでありました。その結果は 9 月 9 日 ~ 12 月 18 日の 46 クラブの公式訪問で見事に成果を出し、当初の目的を達成することができました。

1 つ目は会員増強です。12 月 31 日までの上半期で 89 人の増強、会員数 2,005 人となりました。うち女性会員は 18 人の増強。地区 3 か年戦略計画である会員数 2,000 人の確保、女性会員 100 人を見事に達成しました。これは各クラブの会長、幹事の皆さんが自クラブの実情、また将来を見据えた増強に「本気」で取り組んだ結果です。下半期は会員増強とともに会員維持に励み、女性未加入クラブ^{ゼロ}を目指し努力していききたいと思います。

2 つ目は地区補助金の申請クラブが昨年の 33 クラブから 41 クラブと大幅に増加したことです。新補助金モデルを導入することによるロータリー財団の新しい可能性について、公式訪問を通じて訴え、理解を得ました。地区補助金は各クラブの活性化のための手法であり、財団への寄付は 3 年後にまた自分たちに戻り地域に密着した事業予算となります。ロータリーの存在を地域で確立することによりロータリーの公共イメージを上げ、「ロータリーに輝きを」もたらす大きな要因となります。

ロータリーの悪いところ。それは「例年通り」という言葉です。会長、幹事が安心、安全に一年間を過ごそうとする姿勢はよくない。会員増強とともに会員の変化があり、地域社会も年々変化しています。ロータリーは現状を把握して問題を解決し、毎年進化しなければなりません。「ヤル気」から「本気」へ、ロータリーのリーダーが真剣に取り組まなければ、ロータリーの未来はありません。

(土木工事)

原点を重視する 第 2580 地区

第 2580 地区

鈴木 孝雄 ガバナー
(東京池袋 R C)



当地区は 1920 年に創立された日本で最初のロータリークラブである東京ロータリークラブ (R C) を親クラブとして誕生しました。1980 年に東京が 2 つに分割されて、現在は東京都北部と沖縄県を領域として 70 クラブが地区内にあります。地区の特色として、伝統的な正統派のロータリーを頑固に守るという気風があります。1923 年に発生した関東大震災の折、世界のロータリークラブから、誕生間もない東京 R C 宛てに、現在のお金で 10 億円とも 20 億円とも言われる多額の義援金が大坂 R C 経由で送られてきました。当時の東京 R C の会員がそれをいかに活用して関東地方を復興させるかを考えたことが、私たちの奉仕活動の原点になっているのではないかと思います。

地域社会の活動に自ら参加していれば会員資格になるとか、配偶者の仕事の手伝いのために仕事を中断した人、または同じ理由のために仕事をすることがない人に会員資格を認める、などとなっている国際ロータリーの定款・細則では、誰でも会員にとまでは言わないものの、抵抗感を持つ会員が多いのは事実です。温故知新や、チェンジ、新しい風を目標に掲げるクラブもありますが、わが地区の大半は原理原則を重んじ、本来のロータリーの理念を大切に活動していきたいと願っているロータリアンの集まりです。職業奉仕という崇高な理念を常に意識し、仕事に励み、社会の発展のために役立つことを探して奉仕活動をしています。会員増強に関しては、クラブにふさわしい方を、できれば若い方を男女関係なく会員に迎えようとし、ローターアクトを卒業したロータリアン予備軍を何とかクラブに取り込もうと工夫を凝らしています。東京という地の利を生かして、低会費で例会時間を早朝や夕方にした、E クラブでない新クラブを創立しようと模索しているところです。

Light Up Rotary !

(通信機器製造)

米山記念奨学事業の さらなる発展のために

第 2590 地区

大野 清一 ガバナー
(横浜東 R C)



青少年をはじめとする若い世代に対するわが地区の思いには、強いものがあります。例えば地元のボーイスカウトに対し、物心両面で支援しているクラブも多く見られます。インターアクトクラブは 19 あり、各地域で活発なボランティア活動を行っています。本年度は第 3520 地区 (台湾) への海外研修で、現地のインターアクターと交流し、見聞を広めました。インターアクト活動は顧問教諭と提唱ロータリークラブ (R C) の指導、支援によるところが大きく、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

青少年交換は欧米アジア 8 か国との間で実施。現在 6 つあるローターアクトクラブは、地区内外で交流を図り、提唱 R C と協力してロータリーデーを開催しています。R Y L A (ロータリー青少年指導者養成プログラム) は今年度で通算 31 回目の開催。ロータリー財団関連では、地区補助金による当地区独自の奨学金制度で音楽など、分野を限定しない奨学生を毎年海外へ派遣し、グローバル補助金では疾病予防と治療の分野で現在 2 人 (医師、看護師) の奨学生を派遣中です。

以上にも増して、当地区として特筆すべきは、米山記念奨学事業に非常に熱心であることです。過去 18 年間、一人当たりの寄付額が全国 34 地区中首位であるという実績もさることながら、優秀で甲乙つけがたい申請者の中から、日本と祖国の懸け橋になってほしいと願いを込めて 20 人近く選出し、毎年 40 人前後の奨学生をお世話してきました。奨学期間が終了した学友は、祖国に帰ってさまざまな仕事を通して地域貢献をしています。私は当地区の米山学友が、祖国でどのように活躍しているか、その活躍ぶりをフォローし、特集を組めないかと検討しています。地区内外のロータリアンに彼らの活躍を知らせることでより理解が深まり、この事業がさらに発展することを願うものです。

(タクシー業)

国際大会カウントダウン サンバを踊ろう



ブラジルでは毎年この時期に、夏の終わりと四旬節（復活祭に先立つ46日間）の始まりを世界最大の祭典の一つ、カーニバルで祝います。各地域が競ってきらびやかに装飾された山車を準備し、ドラムのリズムに乗って踊り続けるお祭り騒ぎが数日間にわたって続きます。サンバ・スクールと呼ばれるこれらのチームの中には、5,000人で構成されるチームもあり、バンド、歌、全体のまとまり、衣装、活気と迫力、山車、ダンスなどのカテゴリーで審査が行われます。

リオのカーニバルが一番有名ですが、サンパウロのカーニバルも独自の盛り上がりを見せます。3万人を収容できる会場アニャンビ・サンバドロームで、市内トップクラスの14のサンバチームが二夜にわたりパレードをする様子は、ブラジル全土に放送されます。またそれぞれの地域では、誰でも参加できる小さなお祭り「Blocos（ブロコ）」が行われます。

2015年6月6～9日に開催されるロータリー国際大会でも、大会出席者がブラジルならではのお祭りを間近に体験する機会があります。6月6日、サンパウロのカーニバルと同じ会場で行われる「ロータリーカーニバル」にぜひ参加ください。詳細と登録は www.rotary2015saopaulo.org.br/carnaval-do-rotary から。

早期割り引き登録は3月31日まで。
登録は www.riconvention.org/ja からお早めに。

今後のR I 国際大会

2015年6月6～9日
ブラジル・サンパウロ
(以下、予定)
2016年5月29日～6月1日
韓国・ソウル
2017年6月10～14日
アメリカ・アトランタ
2018年6月24～27日
カナダ・トロント

統計

全世界ロータリアン総数
1,220,115人
クラブ数 34,558 クラブ
地区数 536 地区
国と地域 200 以上
ローターアクト会員数 169,395人
クラブ数 7,365 クラブ
国と地域 160 以上
インターアクト会員数 396,980人
クラブ数 17,260 クラブ
国と地域 150 以上

2014年10月1日現在

ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

管理委員長の思い

新補助金モデルと財団専門家グループ

2014～15年度ロータリー財団管理委員長 ジョン・ケニー



新しい補助金モデルが、全地区に導入されて2年目となりました。これまでの成果を振り返ってみましょう。最も大きな成果としては、以前よりも多くのクラブと地区が協力し、より大規模で、持続可能性の高いプロジェクトを実施していることが挙げられます。ロータリー財団は、総額2,350万ドルに及ぶ488口の地区補助金と、4,730万ドルに及ぶ868口のグローバル補助金を授与しました。

管理委員会は、財団資金が有効に使用されるようにする受託者としての責任を強く自覚しており、ロータリー財団専門家グループを通じて、クラブと地区に対してそのための支援を提供しています。専門家グループは各重点分野または財務監査においてよりすぐりのロータリアンで、昨年度には、管理委員会に代わって153件以上の任務を遂行しました。そのうち44件は補助金承認に先立って行われる書類審査、68件は大

規模プロジェクトに義務付けられた現地視察であり、プロジェクト承認前、またはプロジェクト実施中に行われるものです。専門家グループはまた、41件のプロジェクト監査または地区監査を行いました。

新補助金モデルにおいてはまた、グローバル補助金の提唱者が地域社会のニーズ調査、プロジェクトの持続可能性、モニタリングと評価といった要件に苦勞したことも報告されています。これらは専門家グループが支援できるものであるため、プロジェクト申請手続きの初めから支援を強化しようグループに依頼しました。補助金の提唱者となっているクラブまたは地区は、補助金担当職員に連絡して、専門家グループの支援を求めることができます。

現在、各重点分野ならびに監査の専門家の増員に取り組んでいます。このグループへの参加に関心がありましたら、ぜひEメール (cadre@rotary.org) でご連絡ください。

管理委員会は今後も、補助金モデルがクラブや地区にとってできる限り利用しやすくなるよう努めていこうと考えています。

ROTARY 掲 示 板

新クラブ（既存クラブの合併）

草加中央（2770・埼玉県）

2015年1月1日承認

会員数 27人 例会日 木 19:00

例会場 草加市立中央公民館

事務所 〒340-0003 草加市稲荷3-13-26

会長 小倉 勝一 幹事 百瀬 皓

*草加中央RCと草加南RCが合併。

草加中央RCの加盟承認日は、元の草加中央RCの加盟日を保持した、1995年4月18日です。

事務所住所変更

長万部（2510・北海道）

〒049-3521 山越郡長万部町字長万部
36-2 多目的活動センターあつまんべ・

長万部商工会内

茨木（2660・大阪府）

〒567-0881 茨木市上中条1-9-14

サンピア芳泉201号

四条畷（2660・大阪府）

〒575-0033 四条畷市美田町16-2

梶川方

佐賀大和（2740・佐賀県）

〒840-0211 佐賀市大和町大字東山田
1857-13-105

例会場・曜日・時間変更

沼田（2840・群馬県）Dylan

佐土原（2730・宮崎県）シェラトン・
グランデ・オーシャンリゾート5階

新ローターアクトクラブ

東京板橋セントラル

（2580・東京都・東京板橋セントラル）

発会 2014年12月5日 会員数 8人

〒173-0027 板橋区南町27-17

茂木行政書士事務所内

会長 福田 一輝 幹事 仁藤 有紗

2015—16 年度 『友』誌表紙写真 ロータリアンから募集 テーマは 設けません

4月30日締め切り

次年度の表紙写真を募集いたします。テーマは設けません。募集要領は下記の通りです。

- ① 締め切り 2015年4月30日
- ② 点数 1人3点まで
- ③ サイズ 紙焼き四つ切り（それに近いサイズも可）
- ④ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所・電話・ファクス、タイトル、撮影場所、撮影年月、撮影データ（カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッターの速度）、簡単な写真説明。
- ⑤ 発表 『友』誌2015年8月号、ホームページ『ロータリージャパン』（6月下旬予定）に入選者のみ。
- ⑥ 審査員 ロータリーの友編集担当理事ほか。
- ⑦ その他 表紙のサイズに合わせトリミングをする場合があります。／写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。／採用決定作品は、掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。／掲載に際して、賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。／入選作品の著作権は撮影者に帰属します。『ロータリーの友』は、印刷物（『ロータリーの友』、『友』英語版、その他）ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用権を保有します。／応募作品の返却はいたしません。

敬弔 第2820地区・山本吉蔵氏が1月14日逝去されました。92歳。謹んで哀悼の意を表します。
（石岡RC会員・1994-95年度G）

◆例会一覧表のご案内 今月号には横・縦両方の表紙の裏側に、「例会一覧表」が折り込んであります。この表は年に2回、本誌3月号と9月号に準備し、横組み表紙の裏側は第2500地区～第2620地区、縦組み表紙の裏側は第2630地区～第2740地区が掲載されています。

例会一覧表は『ロータリージャパン』www.rotary.or.jpの“クラブ例会”のコーナーにも掲載しており、同コーナーからは、各クラブのホームページにもリンクしております。メイクアップなど、各クラブご訪問のときにもご活用ください。

リンク更新のためにも、クラブホームページ開設・変更の折には、『友』へもぜひ、ご一報をお願いいたします。『ロータリージャパン』へのリンク承認状は、“クラブ例会”の中にありますので、そこからプリントアウトし、クラブ会長、担当者が署名の上、『友』（右記FAX番号宛て）へ、お送りください。

◆訂正 本誌1月号縦組みP29上から二段目タイトルならびに文中の染織→染織へ、おわびとともに訂正します。

2015年6月号『友』誌 表紙写真、再々募集 締め切り今月末！

2014—15年度6月号を募集しています。詳細は本誌3月号縦組みP32、または『ロータリージャパン』www.rotary.or.jpを、ご覧ください。今年度最終号の表紙を飾るラストチャンス、ふるってのご応募、お待ちしております。

◆ご案内 本ページ毎号掲載の右記一覧表は3つのゾーン順で、横組みP51奥付の、日本ロータリー分布図の色分けと対照しご覧ください。

2015 - 2016 年度版 ロータリー手帳 ご予約受付中

ロータリアンの皆さまのご意見を受けて「ロータリー手帳」は毎年、改訂を加えご準備しております。

2014-15 年度版から、表紙デザインも一新しました。会員の皆さまからのお声により、使いやすいよう開き具合などに微調整を施し、ペンサックを太くするなど工夫を凝らしています。

ロータリー年度に合わせてのスタイルや、全国34地区のガバナー事務所や地区大会の予定など、ロータリー関連事項の掲載は変わりません。

付録の年間スケジュール帳、アドレス帳、ロータリー関連資料の3点も最新版へ、リニューアルしております。手帳の色はロータリーカラーであるロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は2月1日付で、ロータリークラブにお送りしたご案内状を、ご覧ください。

(定価 600 円 + 消費税 / 送料別)

ご注文は、クラブ事務局を通じて、お早めにロータリーの友事務局まで、お願いいたします。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務局
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2014 年 12 月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第 2500 地区	67	2,276	2,230	81.50
第 2510 地区	70	2,578	2,579	83.31
第 2520 地区	80	2,298	2,297	80.24
第 2530 地区	66	2,364	2,325	82.62
第 2540 地区	42	1,109	1,058	82.77
第 2550 地区	51	1,713	1,660	85.58
第 2560 地区	56	2,084	2,022	84.04
第 2570 地区	52	1,680	1,705	84.27
第 2770 地区	75	2,628	2,589	83.73
第 2790 地区	84	2,780	2,746	84.60
第 2800 地区	50	1,622	1,633	87.76
第 2820 地区	58	1,985	2,011	83.12
第 2830 地区	41	1,135	1,134	83.52
第 2840 地区	46	2,004	1,912	85.64
第 2580 地区	70	3,005	3,006	84.64
第 2590 地区	60	2,176	2,185	87.63
第 2600 地区	55	1,996	2,017	88.54
第 2610 地区	65	2,635	2,664	82.93
第 2620 地区	78	3,006	3,048	88.90
第 2630 地区	80	3,120	3,119	85.56
第 2750 地区	99	4,727	4,597	80.25
第 2760 地区	84	4,824	4,832	93.94
第 2780 地区	64	2,318	2,240	80.45
第 2640 地区	70	1,975	2,025	86.50
第 2650 地区	97	4,629	4,584	89.29
第 2660 地区	82	3,660	3,684	87.30
第 2670 地区	74	2,997	2,969	86.69
第 2680 地区	73	2,867	2,880	91.34
第 2690 地区	67	3,090	3,110	86.18
第 2700 地区	61	3,197	3,221	89.80
第 2710 地区	74	3,323	3,287	90.71
第 2720 地区	74	2,416	2,417	84.65
第 2730 地区	65	2,339	2,341	82.55
第 2740 地区	57	2,227	2,201	86.00
34 地区合計	2,287	88,783	88,328	

日本のロータリー
会員数 88,460 人
クラブ数 2,278
(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 第 2750
地区のクラブ数・会員数は、
P B グループ 9 R C 323 人
(北マリアナ諸島・グアム・
ミクロネシア・パラオ)を含
みます。P 6「日本のロー
タリー」数は、34 地区合計から
P B グループを引いた数にな
ります。前年同月末 P B グ
ループ 8 R C 会員数 287 人。

修正 本誌 2 月号横組み P
49 (11 月末) 表中、平均
出席率修正: 第 2540 地区
78.68%。地区会員数修正:
第 2560 地区 2,090 人、第
2760 地区 4,866 人、34 地
区合計会員数を 89,379 人
へ、表外と P 6「日本のロー
タリー」最終行の会員数を
89,056 人へ修正。

*『ロータリージャパン』の
「ロータリー関連資料」には、
データ修正後の表を掲載。

* 第 2520 地区の数値はすべ
て概数です。

**ROTARY
JAPAN**
Home Page 
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 4 月号主要記事予定

横組み 特集 雑誌月間

Rotary World Magazine Press の紹介

2014 - 15 年度ロータリーの友地区代表委員座談会

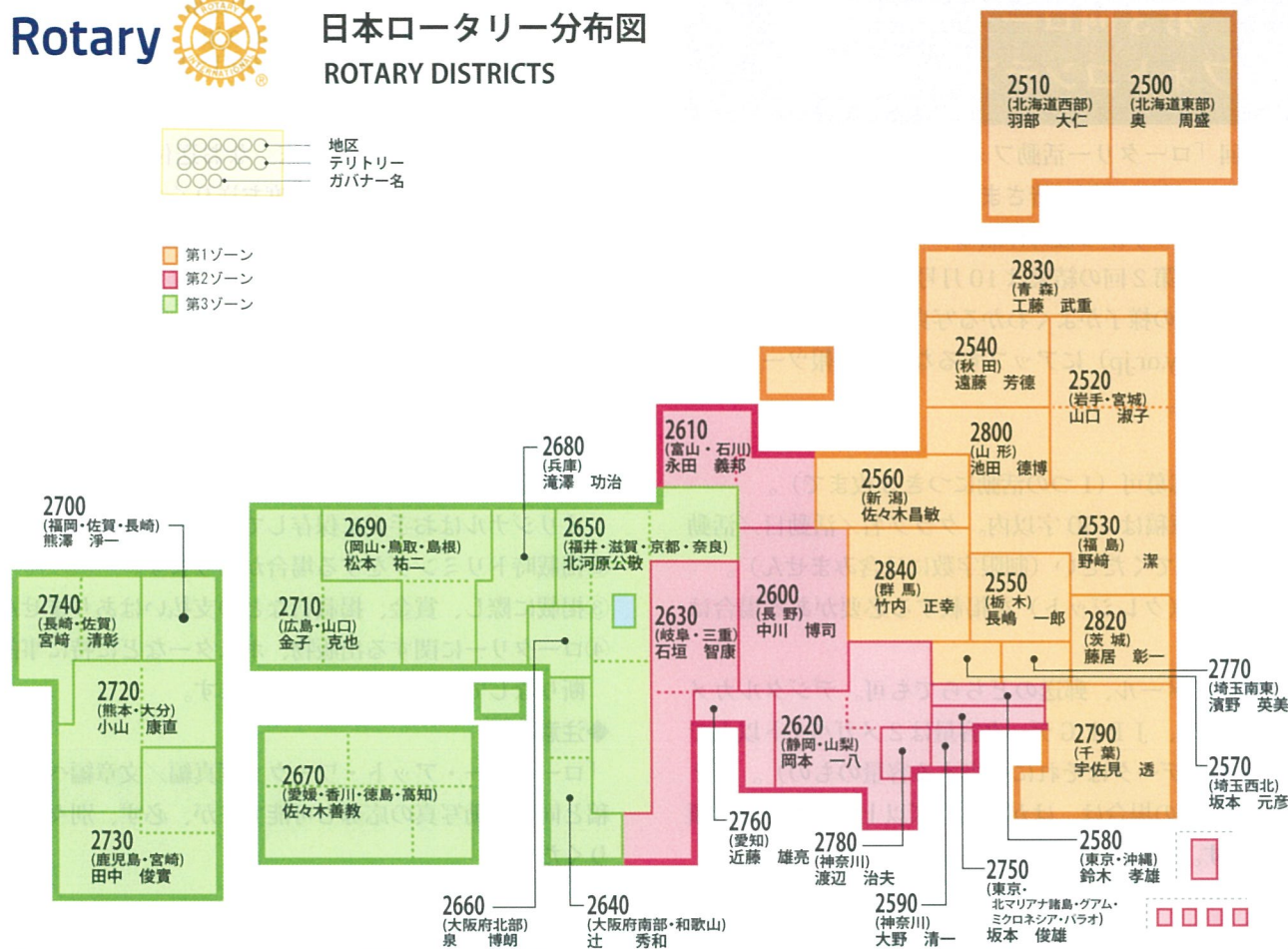
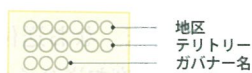
ガバナーの代理として

縦組み 日本の再生 地域の役割と文化芸術の力

前文化庁長官 近藤 誠一

わがまち……そしてロータリー 那覇市





『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第63巻 3月号

2015年2月28日印刷 2015年3月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

社員	北 清治	(浦和東)
	杉谷 卓紀	(玉名)
	鈴木 孝雄	(東京池袋)
	坂本 俊雄	(東京八王子南)
	渡辺 治夫	(横須賀)
	泉 博朗	(大阪帝塚山)

■ 理事会

代表理事	橋本 長平	(京都東)
理事	清水 良夫	(横浜)
	中山 義之	(横浜南)
	神崎 正陳	(茅ヶ崎湘南)
	上野 孝	(横浜)
	安平 和彦	(姫路)
	片岡 信彦	(土浦南)
	本田 博己	(前橋)
	志田 洪顯	(静岡)
	大室 偽	(宝塚武庫川)
	鈴木 喬	(東京江北)
	水野 功	(東京飛火野)
	森本 行俊	(東京町田サルビア)
	横山 武志	(東京北)
	中里 公造	(川口モーニング)
	大澤 成美	(東京臨海)
	野中 茂	(川崎)
	渡辺 誠二	(東京みなと)
	二神 典子	(東京築地)
監事	高良 明	(川崎西)
	船越 豊	(千葉中央)
相談役	板橋 敏雄	(足利東)
	中村 昌平	(東京北)

■ 職員

所長	渡辺 誠二	(東京みなと)
編集長	二神 典子	(東京築地)
編集	稲川 やよい	
	黒野 稔二	
	野崎 恭子	
	山名 愛	
	飯田亜由香	
経理	富澤 美子	
	半田 弥生	
	福元菜穂子	
振込銀行	三井住友銀行浜松町支店	
	口座番号 (普通) 7450015	
郵便振替	口座番号 00180-8-694591	
印刷	大日本印刷 (株)	
表紙印刷	半七写真印刷工業 (株)	

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

第3回ロータリー活動 フォトコンテスト募集中！

第3回「ロータリー活動フォトコンテスト」を実施しています。下記の要領で皆さまのクラブの写真を送りください。応募の中から優秀作品は『ロータリーの友』誌に掲載します（第2回の結果は10月号横組みP 40 参照）。

また、活動の様子がよくわかる写真は『Rotary Japan』（www.rotary.or.jp）にアップするなど、広報ツールとして共有します。

◆応募要領

- ・ 何度でも応募可（1つの活動につき3枚まで）。
- ・ 写真説明原稿は150字以内。クラブ名／活動日／活動場所を入れてください（制限字数には含みません）。
- ・ 撮影者名（クレジット）を掲載する必要がある場合はご明記を。
- ・ 送付はEメール、郵送のどちらでも可。デジタルカメラの場合は、JPEGデータ容量は2メガバイト以上で（TIFFデータはそれに相当する容量のもの）。フィルムカメラの場合は、はがきサイズ以上の紙焼きでお送りします。

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所
Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956

- ・ 締め切りは2015年6月末。なお送付は、年度末にまとめてではなく、活動の都度お送りください。
- ・ 送付時、メールの件名／封筒には「フォトコンテスト」と必ず明記してください。
- ・ 原則、応募作品の返却はしませんが、要返却写真はその旨を送付時にお書き添えください。

◆入賞作品について

- ①掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合は、解像度の高いデータが必要になりますので、オリジナルはお手元に保存しておいてください。
- ②掲載時トリミングをする場合があります。
- ③掲載に際し、賞金、掲載料などの支払いはありません。
- ④ロータリーに関する出版物、ポスターなどに特に事前の断りなしで掲載することがあります。

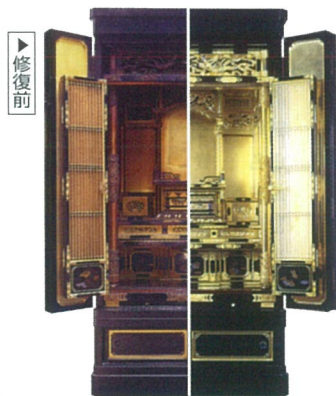
◆注意事項

「ロータリー・アット・ワーク」写真編／文章編へのご投稿と同じ活動写真の応募も可能ですが、必ず、別々にお送りください。

京に生まれ育って186年、若林はお仏壇・仏具の専門店です！

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで
在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

伝統工芸 京仏壇・京仏具
(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

京都本社／〒600-8218 京都市下区七条通新町東入 ☎(075) 371-3131 (代)・年中無休
東京店／〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 ☎(03) 3755-8488 (代)・水曜定休
築地店／〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1 (築地本願寺内) ☎(03) 3546-8228 (代)・日曜定休
札幌店／〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 ☎(011) 512-3455 (代)・日曜定休
仙台店／〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 ☎(022) 213-0666 (代)・日・夜定休
近江草津店／〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 ☎(077) 564-1011 (代)・水曜定休
福岡営業所／☎(092) 761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫 芸術の香り高い迫真の肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に

法人企業や団体の創立者、功労者のご顕彰に。叙勲、褒章、就任退任のご記念に。還暦、古希、喜寿、米寿など人生の節目の記録に。金、銀婚式などのお祝に、また遺影を肖像画にしますと仏間の暗さが減じ明るくなります。褪色のない油彩肖像画……是非お勧め申し上げます。

日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫による最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

ホームページ <http://www.nihonshouzou.jp/>

(株) 日本肖像 ☎0120-222-368

東京事務所／☎03-5285-3141
福岡事務所／☎092-451-0133 広島事務所／☎082-264-6075
熊本本社／〒861-1102 熊本県合志市須屋3882-1
☎096-249-1081 FAX 096-249-1082

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅



二羽のカワセミ (大阪府)
撮影 小島 常男 (2660 大阪船場)

「還暦を過ぎてから健康のために毎日のようにカメラを提げて近くの大泉緑地を歩いていて、野鳥に出合うのがとても楽しみです。」

川せみのねらい誤る濁かな 正岡子規
翡翠の掠めし水のみだれのみ 中村汀女

わが国では各地で見かけ、水面すれすれにすすめて一直線に飛ぶ姿態がうつくしい。昭和四十年以降の自然環境破壊で「ほろびゆく自然のシンボル」としても注目されている。

土岸に横穴をつくって棲み、ヨーロッパ、アジアに分布している。

長いくちばしのカワセミが大阪府堺市の大泉緑地の池の上に伸びた枝にとまって向き合っている。全長十七センチ、スズメより大きくブッポウソウ目カワセミ科の鳥で、暗緑青色の体で背や腰は美しい色彩で「空飛ぶ宝石」と称され、水中の小魚を餌にしている。



「雪原カーニバル」(新潟県)
撮影 山内 正胤 (2560 十日町)

はじめて見かけたときは、その美しさに息をのみました。カワセミは大泉緑地の宝です。環境に適應していつまでも棲み続けてほしい」と、撮影した小島常男さんは言う。

※

見渡すかぎり暗夜の雪原にあかあかと灯る一口ソクの雪原カーニバル――

ここは新潟県十日町市で、雪まつりとしては最も古い「十日町雪まつり」で知られ、「のつとれ松代城」など豪雪の中で雪を楽しむ祭りがいくつもある。「雪原カーニバルなかさと」もその一つで、毎年三月第二土曜日に十日町市千里のなかさと清津スキー場を会場にして雪原の中に二万本のキャンドルを点火して夢見るような世界をつくり出している。

スキーのたいまつ滑降や雪上火などと相まって幻想的なキャンドルの点灯は午後六時に始まり、一万人を超える人たちが会場づくりに協力する国際ボランティア学生協会のメンバーとともにキャンドルにつぎつぎに点火していく。

「写真は昨年三月八日にキャンドル点灯が終

了する直前の情景を撮影したもので、まずまず子どもたちの楽しそうな表情も撮れてよかったと思っています」と、山内正胤氏は言う。

キャンドルに幻想の夢雪まつり

岡井輝生
(ジャーナリスト)

締め切り迫る!!

『友』誌六月号
表紙写真再々募集中!

二〇一五年六月号の『ロータリーの友』誌表紙写真を、ロータリアンの皆さまから再々募集しています。テーマは設けません。応募要領は左記の通りです。

◆応募要領

- ① 締め切り 二〇一五年三月三十一日
- ② 点数 一人三点まで
- ③ サイズ 紙焼き四つ切り(それに近いサイズも可)
- ④ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所、電話・ファックス、写真タイトル、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ(カメラ名、使用レンズ(ミリ)、露出、シャッター速度)、簡単な写真説明
- ⑤ 発表『友』誌、ホームページ『ロータリージャパン』に入選者のみ
- ⑥ 審査員(予定) 岡井耀毅氏(元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者)など

詳細はホームページ『ロータリージャパン』www.rotary.or.jpをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしております。

初めての医療市民 公開講座大成功！

豊中ロータリークラブ

第二六六〇地区 大阪府

厚生労働省の資料（二〇一〇年）

かり味方につけ、さらに飛躍していかなければなりません。

今年度のクラブ標語は「絆のハーモニーを大切に」です。ロータリアン同士の絆や親子、友人、兄弟姉妹などあらゆる絆がハーモニーのごとく広がっていけば、必ずや活気ある楽しいクラブが作れると思います。クラブ創立六〇周年に向け、会員一同スクラムを組んで頑張っていきたいと思っています。

（玉利佳久・記）



新聞社を職場訪問した会員たち



医療をテーマにして好評だった市民公開講座

によると、日本人の平均寿命は女性八六・三歳、男性七九・五五歳に対し、健康な生活を送れる健康寿命が女性七三・六二歳、男性七〇・四二歳で、その差は女性が一二・六八年、男性が九・一三年もあります。

つまり、人生最後の数年間は医療や介護を受け、健康でない生活を送ることになるようです。これからは平均寿命だけでなく健康寿命を延ばし、最期までQOL（Quality of Life、人生の質）を保って過ごすことが大切です。

健康寿命を短くする要因としては、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）、認知症などが挙げられます。

クラブではこうした現状を受け、

刈谷RCバンド結成 一〇周年記念ライブ開催

刈谷ロータリークラブ

第二七六〇地区 愛知県

二〇〇四年に五人の会員有志で結成された刈谷ロータリークラブ（RC）バンドが一〇月二五日、地元のリブハウスを借り切り、「結成一〇周年記念ライブ」を行いました。

（児島義介・記）

一〇月一八日に「健康寿命を延ばすために」と題した市民公開講座を開催しました。兵庫医科大学リハビリテーション医学教室主任教授の道免和久氏による講演「最新の脳卒中リハビリテーション」、JCHO大阪病院副院長の富士武史氏の講演「ロコモティブシンドローム」メタボの次はロコモ」を実施。講演の間には、会員の病院の専門スタッフの実演で、介護予防体操も行いました。

当日は、一般市民、介護関係者など一〇〇人を超える参加者があり、活発な質問もあつて二時間の予定時間を三〇分以上延長するという盛況ぶりでした。なお、クラブでは今年四月二四日に、今度は「認知症」をテーマに市民公開講座を開催する予定です。



バンド結成 10 周年記念ライブを開催

これまで、クリスマス会や家族会などでスタンダードナンバーや懐かしのJポップを披露してきました。時には刈谷市の音楽祭にゲストで参加したり、女性会員四人がAKB48の歌とダンスで花を添えたこともありました。

当日はクラブ会員だけでなく、家族や友人も多く訪れ、総勢五〇人を超える盛大なイベントになりました。また、昨年からの活動を開始した隣町・知立市の知立RCバンドも駆け付け、共演してくれました。

演目は「聖者の行進」で始まり、ラストの「明るい表通りで」では全員が手拍子で大いに盛り上がりました。音楽を通じた交流の輪がさらに広がり、会場全体が理屈抜きの楽しい時間を謳歌していました。



韓国の姉妹クラブの会員たちと交流

温泉旅館と盛りだくさんの二泊三日を過ごし、大いに友情を深め、楽しんで帰国されました。会員数三十一人の小クラブでこうした事業を行うには、全会員の協力が必要ですが、事業を通して結束が強まり、隠れた才能が発掘されたことも収穫でした。

私どもとほぼ同時期に創立されたソウル漢水RCは、今や地区有数の大クラブです。東北の片田舎の当クラブとはいかにも対照的な都会のクラブですが、故人を含め会員同士の個人的な信頼関係が不思議と築かれてきました。今回参加した双方の会員も若返りが進み、交流は続いていきそうな気配です。

政治の世界ではギクシャクする日韓関係ですが、今回の熱い交流を通じてロータリーの活動の意義と素晴

らしさに、あらためて気付かされた思いです。二〇一六年のソウル国際大会にはクラブを挙げて行くという約束をしました。それを今から楽しみにしています。

(星宏一・記)

江南RC五〇周年 記念講演会を開催

江南ロータリークラブ
第二七六〇地区 愛知県

九月一四日、クラブ創立五〇周年記念事業の第二弾、さらには「ロータリーデー」として、池上彰氏の講演会を開催。同時に会場では、クラブと縁の深い江南市国際交流協会の展示ブースを設けました。

当日は午後の開場にもかかわらず、朝八時から並ぶ人もあり、開場三〇分前には予想をはるかに超える市民らで長蛇の列になりました。しかし、前日までさまざまな想定の下、最後尾の看板や、案内やお願いの言葉などを綿密に準備しており、それほど慌てることもなく、自由席にもかかわらずスムーズに誘導できました。会場の江南市民文化会館大ホールは一四〇〇人を収容できますが、ほかに小ホールや展示室にもスクリーンやいすを準備し、何とか約



開場前に多くの人が並んだ講演会

二〇〇〇人に入場していただけた。人気者の池上彰氏、また入場無料にしたことで、同会館始まって以来の入場者数になったそうです。また、入場口では当クラブを紹介したチラシを配り、大いにロータリーのPRもできました。

講演のタイトルは「学び続ける力」。ご自身の体験、生涯を通じて学ぶことの重要性などについて語り、約一時間半の講演に観客は引き込まれました。

池上氏は講演会前日にトルコのイスタンブールから帰られ、当日、東京から名古屋を経由し江南まで来て、講演会の合間に携帯電話で雑誌のインタビューを受けていました。翌日には信州大学で講義、その後はまた海外に飛ぶとのことでした。私たち

会員一同、ほぼ同年代の池上氏の体力、気力に圧倒された一日でした。

(堀尾庄一・記)

第二七三〇回の 記念例会を開催

鹿児島南ロータリークラブ
第二七三〇地区 鹿児島県

クラブは一〇月一五日、地区番号と同じ第二七三〇回例会を迎えたことから、当日を記念例会としました。

一〇月は職業奉仕月間であり、この日は南日本新聞社を職場訪問する日でした。参加者は一六人でしたが、新聞ができるまでをじっくり学び、全員で横断幕の前に記念撮影をした後、記念例会を開き昼食を取りました。創立五六年目にして第二七三〇回例会を迎えることができ、クラブの歴史の重みを感じました。

二〇一三年にクラブ創立五五周年を迎え、五五周年記念として『なつかし道の碑』という本を出版したところ、見事、第一二回自費出版南日本大賞の企画賞を受賞することができました。また、一〇月一八〜一九日の地区大会では、ロータリークラブ・セントラル賞も受賞。今年度は何かとおめでたいことばかりです。こういう時こそフォロワーの風をしっ



切手展のブースではロータリーの紹介も

動をしました。一〇月三十一日～一月二日、都立産業貿易センター浜松町館で開催された全国切手展には大勢の切手収集家が集まり、ロータリーブースは首都圏在住のROSメンバーが交代で担当しました。ブースにはロータリー関連の切手や資料を展示するとともに、ロータリーの活動を「END POLIO NOW (今こそポリオ撲滅のとき)」といったポスターなどで紹介しました。

遠方からバナー持参で来訪してくれたロータリアンもあり、ロータリー談議に花が咲きました。一般の方からはロータリーについての質問などが多く寄せられ、ロータリーの広報誌や『友』誌の「ロータリーとは」などを使って紹介しました。ロータリー関連の切手や、回収した使用済

み切手を格安で販売し、ロータリーを印象付けるとともに、一般の収集家にも喜ばれました。

展示部門の競争出品に参加した船橋南ロータリークラブの浜名賢一ROS元会長の作品「奉仕に歩む『ロータリー』」はロータリーの奉仕がわかりやすくまとめられているとの評価を得、銀賞を受賞しました。

次は四月二十四～二十六日、東京・浅草の産業貿易センター台東館で開催されるスタンブショーでロータリーのブースを開設する予定です。

(横浜緑RC 鶴岡武・記)

伊勢神宮 「初穂曳」に参加

川崎麻生ロータリークラブ
第二五九〇地区 神奈川県

三重県の伊勢神宮では毎年一〇月、新穀を内宮(皇大神宮)、外宮(豊受大神宮)に供進する神嘗祭が行われます。両宮に初穂を搬入する「初穂曳」行事に参加するため、一〇月一四～一五日、当クラブ会員と家族、知人の三三人が三重に向かいました。

出発日は台風の影響が心配されていましたが、運良く当日の朝は台風一過の晴天に恵まれ、バスが出発し

ました。当クラブがお世話しているロータリー青少年交換学生のマリリン・レヴァシユアーさん(フランス)も参加することになり、車中から見える富士山の雄大な姿に感動し、カメラに収めていました。

翌一五日も晴れ、まずは伊勢市の二見興玉神社で心身を清め、一〇時に初穂曳出発地点に到着。そこから一・二キロの道のりを、白装束にハッピ姿で、全国からの八八〇人の参加者とともに「エンヤ、エンヤ」の掛け声も勇ましく、初穂を積んだ山車を外宮まで曳きました。道中は全国の郷土芸能、太鼓や踊りでにぎわう中を見物しながら進みました。

一二時ごろ外宮に到着。そして、束にした初穂を手を持ち納所に奉納しました。一三〇〇年続く「第六二



青少年交換学生らとともに初穂曳に参加

回式年遷宮」を前年に終えた、真新しい社殿にお参りするなど貴重な体験ができ、感激しました。バスの車内は楽しく、日本の伝統に触れ、会員相互の親睦を図ることもでき、有意義な活動でした。

(志村幸男・記)

ソウル漢水RCとの交流

喜多方中央ロータリークラブ
第二五三〇地区 福島県

当クラブは一九九一年の創立当初から海外交流に積極的で、九四年に経済交流として始まった韓国・第三六四〇地区のソウル漢水ロータリークラブ(RC)とは、五年後に姉妹クラブ締結、交流一〇周年の節目には双子クラブ締結に発展。この間、二三年おきに相互訪問してきましたが、東日本大震災と原発事故の影響で、近年はここからの訪問ばかりでした。今年度は交流二〇周年であり、ぜひ韓国からの来訪を実現させたいと半年前から準備を進め、昨秋ようやく実現できました。

一〇月一七日にチャ・ドヨン会長、ヒョン・チョンウク直前ガバナー以下総勢十一人が喜多方を訪れ、記念植樹、特別例会、懇親会、観光ツアー、



地域の人たちと一緒に海岸清掃

た。参加してくれた人に、ロータリーの活動について理解してもらえような楽しいイベントになりました。

ロータリーデー清掃活動

別府ロータリークラブ

第二七二〇地区 大分県

一〇月一九日、「ロータリーデー」として奉仕活動を実施しました。「おんせん県おおいた」にある、別府温泉への陸の玄関となる九州横断道路沿線の清掃です。

これは当クラブの副会長が組合長をしている、鉄輪やまなみ旅館組合の方々が、湯治客へのおもてなしの心で、毎年この時期に行ってきたのですが、いつも一〇人程度の参加

で大変に苦勞している様子でした。そこで、クラブとしてこの清掃活動に参加させてもらい、ロータリーデーの活動としたところ、当クラブ会員だけでなく、ローターアクト、インターアクトと合わせて総勢二〇人が参加してくれました。多くの車両が通る道沿いですので、事故を憂慮して、全員保険をかけての作業になりました。

八班に分かれ、それぞれの清掃場所を決めて作業し、落ち葉や側溝の泥、たばこの吸い殻などを集めてごみ袋に入れ、それを会員の清掃会社の車で回収してもらいました。

秋晴れの良い天気にも恵まれましたが、二時間近く作業をすると全身から汗が噴き出してきました。しかし、清掃の済んだ道路がきれいになっていくのを見ると、疲れが吹き飛び、すがすがしい気分になりました。

各メディアにも連絡してこの活動を取材していただき、広報すること



おもてなしの心で清掃活動

ができました。次年度も継続してこうと考えています。

親子で楽しむ多摩川の自然観察

川崎マリーナロータリークラブ

第二五九〇地区 神奈川県

クラブは一〇月一八日、「ハゼ釣り大会」を開催した。これは、故・名古屋直前会長が生前最も力を注いだ、NPO法人多摩川干潟ネットワークの支援の一環。同ネットワークでは一年を通じて多摩川河口に絡んださまざまなイベント(野草観察会、干潟観察会、ハゼ釣り、たこ作り、つる編み)を行っており、クラブからは当日、大型サントや電動自転車、リヤカー、網など活動に必要なものを寄贈した。

抜けるような秋空のもと、四〇人の親子が大会に参加し、会員も子どもたちの安全を見守りつつ魚釣りを指導した。自然に触れ合う機会が少ない中、身近にある多摩川の自然に触れて、親子が一緒に楽しむ環境作りのお手伝いをさせていただいた。釣ったハゼは天ぷらにしたが、さばく様子を真剣な表情で見つめる子どもたちが印象的だった。会員手作りの日本そばと天ぷらを食し、食育



会員が安全を見守る中、親子がハゼ釣り

として命の大切さを理解してもらうことができたのではないかと思います。今後も近隣地域への奉仕活動を続け、住民と楽しみながらもっとロータリーを知ってもらえるよう、情報を発信していきたいと考えています。

全国切手展に参加しました

ROS日本支部

『友』二〇一四年一〇月号縦組み三〇ページの「内外よろず案内」でお知らせした全国切手展のロータリーブースでは、国際ロータリーの親睦グループ・ROTARY ON STAMPS (ROS) 日本支部が趣味の切手を通じてロータリーの広報活



スポーツ指導者に向け、宍戸渉氏が講演

当日は、東海大学体育学部非常勤講師で、日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を持つ、宍戸渉氏が、競技力の向上に必要な強い心を養うポイントを解説した。

宍戸氏は「一流選手ほどしっかりと目標を持ち、準備を怠らない」と述べ、さらに、メンタルトレーニングを「科学的根拠に基づく根性論」と例え、「性格は変えられないが、考え方は変えられる」と強調。さらに、やる気や集中力を高める八項目の具体的手法を紹介し、表情や姿勢が精神面に与える影響、勝利の喜びを大声や身ぶりで見せる意義などを説明した。

また、欠点修正型ではなく、長所を積極的に褒める指導法を推奨。「普

段からポジティブな『ふり』を続けることで、大事な局面でもプラス思考で臨める」と解説した。

この後一月九日、二月七日にも講習会を行い、参加者は講師の実際の指導に基づく実技を通して、さらにメンタルトレーニングの技法を学び、今後の指導に役立てる方法の習得を目指した。

(秋場秀俊・記)

目指せ！卓球で東京オリンピックへ

松江南ロータリークラブ

第二六九〇地区 島根県

当クラブでは一〇月一九日、「ロータリーデー」として小学生卓球指導会を開催しました。講師は日本女子ナショナルチームヘッドコーチで、日本オリンピック委員会強化スタッフを務める岸卓臣氏、会場は当クラブ会員の企業が建てた卓球専用の体育館でした。

岸氏から直接指導を受けられるまたとない機会となり、大勢の小学生が集まり熱い一日となりました。氏は冒頭、「卓球を通して世界が平和になってほしい。卓球をすることで皆がいろいろなことを学び、幸せな生き方をしてほしい」と爽やかに語

りました。世界を見てきた経験による指導や話は、児童たちの心に響いたようで、熱心で元気な声が飛び交い、私たち会員もたくさんさんのパワーや夢をもらいました。

松江市は当地出身のテニスプレーヤー、錦織圭選手が活躍し街中が盛り上がりつつあります。次はこの中から五年後の東京オリンピックの選手が誕生すれば、地域が明るく元気になります。主催した私たちも、慣れない球拾いに自然と熱がこもり、児童からのお礼の言葉や、楽しい会話、笑顔も見られ、共に汗を流すいい一日となりました。

また、当日は会場にポリオ撲滅の活動を紹介したパネルを展示しました。ポリオのことを初めて知る児童も多く、興味深く見てくれていまし



子どもたちを岸卓臣氏が指導

た。ロータリーデーに卓球指導会を開催することで地域の人と触れ合い、ロータリーを理解していただいている機会になったと感じました。「卓球を通じて地域が元気に」。当クラブはこれからも楽しんで、ロータリーデーを実施していきます。

(持田裕子・記)

地域の人たちと海岸清掃

苅田ロータリークラブ

第二七〇〇地区 福岡県

当クラブでは毎年、社会奉仕活動として、福岡県京都郡苅田町内にある白石海岸の清掃を行っています。

今回は九月二二日に「ロータリーデー」として、当クラブの会員だけではなく、苅田工業高等学校インターアクトクラブの会員や地域の少年野球チームの選手、保護者、さらに会員企業の社員や家族を巻き込んで、総勢八〇人で清掃活動を行いました。

漂流物や缶、ビン、ペットボトル、花火の残骸など、ごみ袋に一〇〇袋以上が集まりました。また、広範囲にわたり草刈りを行いました。

最後はきれいな砂浜で、全員でバーベキューをして親睦を深めました。

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに
地区の活動を紹介、600
字以内。関連写真があれば
添付してください。

児童養護施設で図書寄贈 と人形劇披露

弘前ロータリークラブ

第二八三〇地区 青森県

一〇月一八日、地区補助金事業として、児童養護施設「弘前愛成園」を訪問し、児童図書の寄贈と、当ク



子どもたちに好評だった人形劇

ラブ提唱の弘前ロータリーアクトクラブ(RAC)による人形劇を実施しました。当日は、児童、生徒、職員合わせて五〇人ほどが参加してくれました。

当クラブの白滝伸夫会長のあいさつの後、弘前愛成園の佐々木哲副理事長に目録と児童図書を手渡ししました。佐々木副理事長は「最近の子どもたちは活字に慣れていません。いただいた本をたくさん読んで勉強してください」と子どもたちに話していました。

その後、弘前RACが人形劇「大きなかぶ」を披露。子どもたちは真剣に見入っていました。また、子どもたちが実際に人形を使う参加型の人形劇では笑い声が絶えず、子どもたちに楽しんでもらえたようです。笑って、踊ってのあつという間の一時間でした。

ちよつとよいこと!

日台野球の父をたたえる

松山西ロータリークラブ

第二六七〇地区 愛媛県

正岡子規(一八六七〜一九〇二)の没後、翌年の一九〇三年、松山商業高校野球部に入部した近藤兵太郎(二八八〜一九六六)は、同校を



近藤兵太郎氏の言葉を刻んだモニュメントが完成

卒業と同時に初代コーチ(現在の監督)となり、全国優勝を含め、六年連続全国大会に出場し、松山商業の第一期黄金時代を築きました。

一九二八年、台湾に渡り、嘉義農林学校野球部初代監督となり、台湾代表として第一七回全国大会に初出場。準優勝し、春夏合わせて五回、甲子園に出場し「天下の嘉農」と称され、今日に至るまで台湾野球の父と称賛されています。

しかし、戦下のため、「嘉農」野球部は解散。近藤氏は故郷・愛媛に帰って新田高校野球部初代監督となり、以後は愛媛の野球界に多大の貢献をされました。この間、野球歴約五〇年、多くの人材を世に送り出しました。そして、「球を遂ひつ 球に遂はれつ たまの世を 終わりに

永久に 霊石の下」の辞世の句を残し、一九六六年五月、七七歳で他界されました。

この偉大な大先輩の教えを後世に伝え、たたえていきたいと、当クラブ会員四人を含め松山商業高校と新田高校の両校野球部OBと関係者が奔走し、昨年一〇月六日、松山坊っちゃん球場正面入り口にモニュメントを建設・除幕に至りました。モニュメントには、先生の生涯変わらぬ教えとして次の言葉を記しました。

「球は雷なり」「靈正しからば 球また正し 靈正しからざれば 球また正しからず」

(林司朗・記)

スポーツ指導者への 講習会を実施

寒河江ロータリークラブ

第二八〇〇地区 山形県

クラブは一〇月五日、「ロータリーデー」の事業として地区補助金を活用し、スポーツ指導者向け講習例会を行った。地域の、特に若者のスポーツ競技力の向上を図ろうと、全三回の日程で基礎、実践、応用を学ぶ企画で、第一回の今回はスポーツ少年団の指導者や中学校の部活動顧問ら約六〇人が参加した。

ROTARY AT WORK



姉妹クラブ締結30周年

〈三次RC・小林RC〉

姉妹クラブ締結30周年記念懇親会を、両クラブ所在地の中間地点・福岡県小倉市内で開催。広島県の三次RCから25人、宮崎県的小林RCから12人が参加した。初対面の会員が多い中、姉妹クラブになったいきさつについて説明があり、その後プレゼント交換や近況報告などを行い、和やかな懇親会となった。翌日は親睦ゴルフコンペを開催。2日間だったが、会員同士の友好と友情を温め、交流を活発にしたいと考えている。

(11月15・16日 第2710地区
広島県/第2730地区 宮崎県)



卓球の子どもたちに夢を

〈弟子屈RC〉

元卓球日本チャンピオンの松下浩二氏を迎え、スポーツ講演会「卓球の子ども達に夢を」を開催。講演後には子どもたちが元チャンピオンと対戦するチャレンジマッチが行われた。ゲーム前には礼儀正しく「お願いします」、終了後は「ありがとうございました」とお互いをたたえるあいさつと握手が交わされていた。

(11月16日 第2500地区 北海道)



ミャンマー奥地の学童支援

〈海老名RC〉

2013年の家族特別例会で集めた有志の募金で、ミャンマー奥地のゴン村小学校に学習用の机・いすセット40人分、通学用かばん70人分を寄贈。続いて今回、有志が現地を訪問し、その寄贈品を子どもたちが活用し、勉学に励む姿を視察した。この地域への支援は2009年から始め、今回で計4校、5回目になる。村人全員に歓迎され、会員は「世界でよいことをしよう」の意義を全身に感じて帰国した。

(11月20・29日 第2780地区 神奈川県)



7回目の就職活動支援 出前講座

〈砂川RC〉

職業奉仕委員会主催で、砂川市内の高校生への就職活動支援として、今回で7回目となる出前講座を開催した。会員3人が北海道砂川高校3年生120人を前に「働くということ」と「企業が求める人材」「大人としてのマナー」の内容で講演。生徒の真剣な姿勢に緊張感があつた。終了後の調査では「面接の役に立った」「あいさつの大切さを学んだ」などの感想が出て、校長から「来年もぜひ」と依頼された。

(10月9日 第2510地区 北海道)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。



せやまる文庫除幕式

〈横浜瀬谷RC〉

「横浜市民読書活動推進計画」および関連する条例に基づき、瀬谷区では11月の読書活動推進月間事業の一つとして「せやまる文庫」を設置、クラブがこれを支援した。地区補助金を活用し、相模鉄道株との協力で、相鉄本線の瀬谷駅と三ツ境駅構内に文庫棚を置き、三ツ境駅構内で瀬谷区長、駅長、クラブ会長の手により除幕式が行われた。市民、区民から不用になった本を寄贈してもらい、電車利用者が書棚から本を取り、読んだ後書棚に戻してもらおうもので、多くの住民に利用されることが期待されている。

(11月14日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK



創立40周年で慈善公演

〈那覇南RC〉

クラブ創立40周年記念の社会奉仕事業として、那覇市内の劇場で観客約450人を集め「チャリティー芸能公演」を開催。民謡グループ「ためき」による琉球民謡ショーに始まり、琉球舞踊、日舞、歌謡ショー、エイサー演舞、フラダンス、琉球空手演武のほか、台湾アミ族の民族舞踊など各分野から18の演目が披露された。「各分野から集まった公演は珍しい。ロータリークラブならではのイベントです」と多良間朝時実行委員長は参加者と観客に感謝していた。写真は福嶺勝公琉球民謡研究所の演舞と歌。

(11月7日 第2580地区 沖縄県)



特別養護老人ホームへの音楽慰問

〈生駒RC〉

宝山寺福祉事業団特別養護老人ホーム・梅寿荘への音楽慰問を行った。約50人の入所者が、会員8人による「琴笑会」の大正琴の演奏や、例会でのエレクトーン奏者のグループ3人による演奏、会話やゲーム、会員の歌声を楽しんだ。終わるころには「アンコール」の声も上がり、全員で「夕焼け小焼け」を合唱した。「ぜひまた来てください」との喜びの声も聞け、大いに盛り上がった。

(11月22日 第2650地区 奈良県)



仙台市長を招き講演会

〈白石北RC〉

奥山恵美子仙台市長の講演会「グローバル時代を見据えた街づくり」を主催。市長は少子高齢化の時代の中で魅力的な街をどうつくっていくかをわかりやすくユーモアを交えて話し、質疑応答にも丁寧に答えていた。会場周辺には来場者にロータリーとポリオ撲滅への関心を高めてもらえるよう「ポリオのない世界まであと少し」のポスターを貼り、募金5万848円は全額ポリオプラス基金に寄付した。

(11月8日 第2520地区 宮城県)

ROTARY AT WORK



地域に子どもの笑顔を

〈八戸北RC〉

クラブ創立45周年記念事業の一環で、地区補助金を利用し、「地域に子どもの笑顔を」プロジェクトを実施、八戸市内の新井田公園に鉄棒を寄贈した。会員たちが東日本大震災を経験してから人と人とのつながりが大切だとあらためて感じ、さまざまな世代や未来を担う子どもたちが多く集まる場所をつくりたいと考え、今回の贈呈となった。地域社会の活性化の一助となることを願っている。

(11月18日 第2830地区 青森県)



障がい者支援で表彰

〈四日市東RC〉

知的障がい者のための民間組織「全日本手をつなぐ育成会」主催の「第47回手をつなぐ育成会東海北陸大会愛知大会」でクラブが表彰された。17年継続事業として知的障がい児を「海とのふれあい」クルージング体験(写真)や各種イベントに招待してきたことが評価された。イベントでは毎回、150人超の参加者の安全・安心はもとより、個々人の立場に合わせた対応を心がけ、参加者に夢を与えたとともに障がい者福祉の向上を目指してきた。今回の表彰を受け、クラブではロータリーとしての社会貢献が認められたことを喜び、今後の奉仕活動の糧としてまい進したいと考えている。

(10月26日 第2630地区 三重県)

感動のゴールデンコンサート

〈荒尾RC〉

荒尾の宝「三池炭鉱 万田坑(まんだこう)」の世界遺産登録を応援する「ゴールデンコンサート in ARAO 2014」を主催。出演した福岡県福岡市の精華女子高校と熊本県玉名市の玉名女子高校の吹奏楽部は、2週間前に名古屋で開かれた全日本吹奏楽コンクールに九州代表として出場し、両校そろって金賞を受賞。今回は名実ともに「ゴールデンコンサート」となった。当日は両校と荒尾市内の中学・高校・一般の計300人で構成した荒尾ドリームバンドによる迫力の演奏に、満席の会場は感動の嵐。共演した地元中高生には一生の思い出となる一日となった。

(11月8日 第2720地区 熊本県)



ロータリーデーで バザー開催

〈京都西山RC〉

「障害福祉センターあらくさ」(長岡京市)で開催されたバザーで、ロータリーデーとしての活動を実施した。会員が持ち寄った品を販売する傍ら、ロータリーに関する冊子や資料も手渡し、一般来場者のロータリークラブへの認識を促した。売上金の5万円は、「あらくさ」施設長に手渡した。

(10月26日 第2650地区 京都府)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編 AT WORK

岡山市の公園に 「花と緑」を贈る

岡山後楽園ロータリークラブ
第2690地区 岡山県

地域の役に立つことをモットーとする岡山後楽園R
Cでは、日本文化のシンボルとも言われる漆工芸の振
興を目指し、中世から史書にも残る「備中漆」の復興
支援を始めました。また県内の自然景観の美化を図る
ため、真庭市と協力して、県北の有名な観光地・蒜山
地域でのモミジバフウの並木道の造成や、クラブ創立
25周年を記念し、同地域内に今春「蒜山千本桜」と銘
打ち、地域の児童、生徒や住民も加わり、行政とも力
を合わせて植樹に取り組むことにしています。

そしてこのたび、地区補助金事業として、地元の保
育園児、高校生と一緒に岡山市西大寺緑花公園で
の環境保全プロジェクト「公園の植樹による景観改
善」を開催。クラブから「花と緑」を贈ることとな
り、好天に恵まれた10月26日、植樹と草花の植栽を高
校生、幼稚園・保育園児、同伴の家族、クラブの会員
家族、総勢約100人で実施しました。ケヤキ1本、
ハナミズキ5本を植樹し、チューリップの球根300
球、草花のビオラを、プランター20ケースに植えまし
た。園児とともに参加した若いお母さんたちは、わが
子の姿を収めようとカメラを手にし、にぎやかな笑い
声があふれていました。

この公園は2009年に開催された「全国都市緑化
おかやまフェア」の跡地に開設されたもので、今回の
植樹に際しては、岡山市長にクラブから寄付目録を贈
呈。岡山市長からはクラブに対して感謝状が贈られま
した。

(高山雅之・記)

掃く程の煤もなかりし一人暮る

大阪・堺 堤 淳

冬銀河星となりたる人おもふ

徳島・脇町 片山 良樹

米寿過ぎ意欲も新た松飾る

神奈川・横浜港北

椎橋 忠男

変る世に変わぬ山の雪景色

東京荒川

井上 一郎

佗助や鳥の重さに花揺れて

埼玉・川口中央

阿部 游徹

風の声何はともあれ冬支度

兵庫・神戸中

松原 宏

人恋し今日はねぎまの小鍋立て

東京西南

荒居 隆二

奈良の鹿煎餅売に距離を置き

京都・福知山

松山ひとし

あらがねの土下毛^{しもつけね}野葱^{のび}届く

東京ワセタ

福地桂之助

素麺を干すやこの世の風任せ

愛知・新城

荻野 修

振出しに戻る会議や日短

佐賀・伊万里西

田中 南嶽

初めての紅ほんのりと七五三

埼玉・日高

原田 邦義

地の下はあたたかからん冬木立

千葉・富里

寒郡 政雄

紅葉山トンネルのまだ繋がらず

埼玉・日高

落合 好雄

陀羅尼助売る軒先の干大根

奈良

田伏 博子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

日本語を学ぶ身重のベトナム人
産休にも学び通訳めざす

群馬・前橋西

花井 博将

天文を大好き翁の得意顔
問われて自ずと饒舌になる

埼玉・大宮西

川鍋 一夫

亡き妻に倣ひて洗濯乾きよき
ひと日うれしも小春の日和

千葉・市川

照井 親資

黒姫山の霧の下なる山裾の
そばの畑に雉子の声聴く

東京ワセタ

福地桂之助

いつせいに葉を落す林道に杖引けば
野鳥の声の混声合唱

神奈川・相模原

佐藤 清一

七五三父に手曳かれ腕白も
勝手違うか袴乱して

愛知・豊橋

長屋 孝美

キリストもブツダもともに愛の道
旅から生まれる信頼の絆

岐阜加納

鶴飼 武彦

「鉄道員」を演じし男優晩秋に
己れ語らず時代と逝きぬ

京都西南

池田 敏子

黄落の丸ビル街を歩きつつ
はるけきパリの記憶をたぐる

奈良

寺田眞佐子

ばあちゃんと孫に急かされままごとの
童女に戻る妻の姿が

奈良

井村 昌司

小川消えメダカの学校も廃校になりて
疎開学童らいずこにゆきし

福岡イフニング

守田 則一

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

本態に心澄み入り句が生きる

福岡イフニング

守田 則一

映画ではタバコのシーン外せない

埼玉・行田さくら

小澤 誠邦

妻は今 三途の舟を押し返し

東京武蔵府中

伊藤 信吾

年が明け少し余裕でさびしくて

群馬・太田

柳田 秀月

出席は急須のお茶が飲みたくて

埼玉・入間南

大野 快三

雑魚だって空想揚げ大海へ

兵庫・神戸中

吉井 邦弘

選挙カーあんな笑顔ができるとは

群馬・前橋西

花井 博将

振り向けば叱ってくれた父が居た

青森北東

遠間 善弘

固かった意志を崩してゆく老化

千葉・市川

照井 親資

落葉掻き焚火法度という時代

奈良

名和 佑介

購読誌丁寧に読みネタ探す

和歌山・新宮

塩崎 公治

同じ風受けて高さの違う風

高知西

山岡 陸宏

すっぴんでフルヌードです 猫ですよ

京都・宇治鳳凰

清水美榮子

蕎麦を打つなぎは人と人の縁

宮城・白石

村上 睦夫

タクト見て歌詞見てソングロータリー

神奈川・横浜旭

吉原 則光

もうすぐの春を探して散歩する

埼玉・川越

小川 正夫

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權



冬萌や形見となりし人の情

徳島・鴨島 長野 宏

形見といえ、ふつう故人の愛用していた品を分けるのである。しかし、この句の形見とはそうした物品でなく生前の情であるという。故人の人の人柄、作者の人柄もしのばれる。

冬紅葉ひそかに一葉また一葉

大阪心斎橋 西村 拓夫

一葉また一葉と紅に染まつてゆくというのだ。ならば秋の紅葉でもよさそうだが、そうではない。このひそやかさは句のとおり冬のものである。冬の一字が生きている

初詣卒寿の歩み遅くとも

奈良西 中村たもつ

ゆったりとした心持ちを愛すべき一句である。そのゆったりとした感じはもちろん言葉の運びからくるのだが、その言葉の運びは作者の心から生まれてくる。

老犬に添ひ寝をしやる寒夜かな

埼玉・川口中央 細井善次郎

犬への愛情が尋常ではない。そこがこの句の見どころだが、ならば寒夜（冬）の音がやきついようだ。夜寒（晩秋）とするほうがいいかもしれない。ご判断を。

秋空を見もせでスマホ見入るきみ

兵庫・神戸西 瀧川 好庸

「やは肌のおつき血潮にふれも見でさびしからずや道を説く君」与謝野晶子。この歌を心に置いて詠んだ句だろう。スマホから目を上げて、すばらしい秋空を見なさいと。



馬場あき子



独立にわれ聞せずと草を食む
スコットランドの羊やさしも

東京 新 欣樹

スコットランド独立を問う国民投票が行われたのは昨年九月のことだ。反対多数で現状維持となったが、作者はそのころスコットランドを旅したのである。スコットランド独立に関する国民投票は一九七九年にも行われており、鬱勃（うつぼつ）とした地下水脈が流れているのである。野に生きる羊にとつて、取りあえずは目前の牧草を食むこと以外ではない。飼われながらも人間の情念や意志とは関わらず、いまの生命をいづくしみ草を食む羊に、感銘したのである。

夜の更けて人も車もまばらなる

街にLED冴ゆる霜月

石川・金沢百万石 石丸 恭子

今回のノーベル賞を受けて、一躍その名が記憶された赤崎・天野・中村三氏の開発によるLEDが、市街の照明として青い光をかがやかせた。しかし、人通りの絶えた夜更けの街のダイオードの光は、いつそう街をさびしくみせる。もうひとつ景気の回復が遅れている人出の少ない街の風景は、時にふと、さびしい未来都市のような感銘を受けたりする。

メモを手求めておでんの具がそろふ
持ちたる大根意外に重し

青森・三戸 加藤 定男

ささやかな老の抵抗白髪染め
気分的には効果ありたり

山形・余目 佐藤孝二郎



てじま晩秋



ご勝手になんて地球の捨てゼリフ

新潟 小林 悟

地球さん、お怒りの気持ちはよくわかつているつもりです。このところ、特に昨年の異常な天災地変の各地での多発には、本当に心配していた連日でした。「奢（おご）る人間たちよ」と叱っているのでしょうか。その愚かな人間たちも充分に反省しております。地球さん、どうかこの辺でご勘弁のほどをお願い申し上げます。

朝ドラを見たあと妻がカタコトに

香川・高松 大平 昇

NHKの朝ドラ「マッサン」のヒロインにシャロット・ケイト・フォックスという米国女優を抜擢。ネットで検索したら彼女、日本語は全く話せず、せりふは通訳がローマ字で写し、全て英文での解説付きとか。日本人になりきろうとの演技が素晴らしい。毎日感心して見ています。大平さんの奥方、思わずマッサンの妻エリーの気持ちになられているのかも。

子育てのレシピが欲しい親子

北海道・斜里 辻 舒宏

現在の世の中、相変わらず、どこか子どもが進学コースへの親の過熱状態は右上がり続行中です。その期待に見事治うような子どもさんはごくわずかでしょう。そんな親御さんのお気持ち、望みに応えられる子育てへの「レシピ」があったら、などと思っている方も、たくさんおられることでしょう。

わたくしのあと押しをしている絆

大阪西 鴨谷瑠美子

うです。

日本では、健康食品の売り上げは一兆七〇〇〇億円を超えています。人口一人当たりで単純計算すると、日本人の消費額はアメリカ人より多いことになりました。さらに日本は、新聞やテレビなどで巨額の費用を投じて健康食品を宣伝しており、いかに日本人は健康食品や薬が好きな国民であるかと、驚かされます。

サプリメントと言えば、二〇世紀はビタミン、二一世紀はアミノ酸と言われています。では、サプリメントの効果は本当なのか。答えは、「体の調子が良ければよいのでは」。サプリメントを飲んで「調子が悪ければ飲むのをやめてはどうですか」。実際にサプリメントに配合されている中身を調べない限り、飲んでよいとは言えません。

厚生労働省医薬食品局食品安全部が「健康食品の正しい利用法」で、健康食品を選ぶ前に、健康食品を使う前に、健康食品情報の冷静な受け止め方Q&Aなどのガイドラインを記載しています。健康の一番の基本は、食事から栄養を取り、運動し、休養を十分取るということです。

(第二六四〇地区・大阪府・岸和田RCにて・同RC会員)

星を見つめて

元日本天文学会会員 佐藤 直人

惑星を新たに発見した場合、まず本物の惑星であるか厳しい審査があります。それを通過すると、軌道を観測します。軌道がはっきりすると、番号がつけられ、発見者は命名することができます。

専門的に星を観測する時、星が瞬く状態は邪魔になります。星は常に動いていて明滅もします。日本の上空には時速二〇〇〜三〇〇キロのジェット気流があり、空気を暴れさせたり、関東地方を中心に、人工の光が天体観測の邪魔になる光害があつたりと、観測に限界があるのが実情です。空気が乾く季節になれば、星や月は普段よりきれいに見えます。

命名した星の名前は国際天文学連合に申請しますが、ハードルが高く、世界のトップレベルの学者が一人でも反対すると却下されてしまいます。人類の財産として未来永劫その名前が残るため「ボチ」「タマ」「ミヨちゃん」などの名は付けられません。宇宙航空研究開発機構（JAXA）の月探査衛星「かぐや」にちなん

で小惑星にその名前を付けようとしたら、「かぐや姫」という名前の小惑星が既にあつたためにクレームがきました。が、違いを説明して通ったという経緯があります。新たに発見した小惑星には、月探査衛星「かぐや」の二つの子衛星にちなんで、かぐや姫の育ての親である「おきな・おうな」という名前が付きましました。

天体観測でお勧めの天文現象の一つに日食があります。かつて日食は、黒い太陽となつたのを神の怒りとして恐れたという話があつたり、日本では天照大神が岩戸に隠れたために真つ暗になつたという神話があつたりします。月食は、地球の影が月を隠す現象ですから、月食の時に月が見える場所であれば誰でも見ることがができます。しかし、日食は、月が太陽を隠す現象であるため、特定の時間に特定の地域でしか見ることができません。また、月が太陽をかすめるような場合、太陽を全部隠さずに部分日食となります。太陽よりも月のほうが見かけの大きさが大きくなると太陽を全部覆い隠すため、皆既日食が起きます。日本で皆既日食が次回見られるのは二〇三五年ですから、観測してみてください。

(第二五七〇地区・埼玉県・狭山RCにて)

卓

話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

家紋と紋章上絵師

国選択無形文化財紋章上絵
保存会 岐阜県理事

中林 彰

家紋という文化は日本独自の文化です。ヨーロッパにも家紋はありますが、貴族社会など限定されたものであり、一般庶民までが家紋を持つ国は日本だけです。日本人の花鳥風月を愛する独特の美意識が、簡略化された美しい紋を生活に取り入れ、使われるようになったと思います。

家紋の起源は、公家紋と武家紋に大別されます。公家紋は平安時代の装飾模様が始まりと言われ、公家が牛車を区別するための紋様が進化して家紋となりました。武家紋の起源は敵味方の識別に用い

た印が始まりですが、次第に自己顕示、武功の象徴となり、普及したとされます。安土・桃山時代に入り、武家の礼装である袴に家紋を入れるようになりました。江戸時代には、歌舞伎役者や裕福な商人などが家紋を使用するようになり、家紋もわかりやすく単純な図形が使われ、庶民にも家紋が広まりました。このころから家紋を描くことを「上絵」、その技術者を「紋章上絵師」と呼ぶようになりました。紋章上絵師の手法は江戸時代から少しも変わっていません。紋は筆で引く線と、分廻しと呼ばれる筆のコンパスで描く円で構成され、それを使って全ての紋を描けるのが上絵師です。紋を描く円の直径は男物が鯨尺で一寸一分(約四・二センチ)、女物が五分五厘(約二・一センチ)で、その中に描くのが上絵師の技術になります。実際の作業には、紋型作り、型刷込み、線入れ、小紋描き入れ等の技術を駆使して家紋を描き上げます。

今でも、子どもが生まれたときの初宮参りや結婚式、葬式の着物等に家紋が描かれています。現在、手描きの上絵師の人数は減少傾向ですが、日本古来の紋という文化は受け継がれております。

(第二六三〇地区・岐阜県・高山RCにて)

サプリメントについて

毛利医院 院長 毛利 高二

ほとんどの人が知っていて、多くの人が飲んでいる健康食品やサプリメントという言葉は、その用語に行政的な定義はありません。一般に、健康食品とは健康の保持増進に資する食品全般のこと。サプリメントとは、特定の成分が濃縮された錠剤やカプセル形態の製品とされています。アメリカでは、ビタミン、ミネラル、アミノ酸、ハーブなどの成分を含み、通常の食品と紛らわしくない形状(錠剤やカプセルなど)のものと定義しています。広い意味で考えれば、サプリメントも健康食品の中に含まれると言えます。

アメリカでは日本のように「誰でも」「どこでも」「いつでも」受診ができる国民皆保険制度がありません。従いまして、医療費が非常に高いため、ちょっとした病気の場合は、ドラッグストアで薬を買っています。アメリカ国民の半数がなんらかのサプリメントを薬代わりに摂取しているとされ、売上額は約二八〇億ドル(約二兆九〇〇億円)にも上るそ



津山西ロータリークラブ

第二六九〇地区（岡山県）

バナー自慢

津山の象徴として、かつての藩主・森家の鶴の紋章から取り、クラブ名はその菩提寺が津山の西方に位置していることに配慮した。地色紺にして重厚さを出し、森家の風格にあやかった。鶴の羽をいっばいに広げた線が、未来に向かって無限の発展を約束している。

カンボジアの大学で最初の授業の最初の日、日本に興味を持つ多くの学生からたくさん質問を受けました。例えば、「先生の日本での経験を教えてくださいませんか」、「日本の道路、建物、情報通信システム、自然環境や社会基盤はどのようなものですか」、「日本の教育制度、特に大学の環境を教えてください」、「日本のドラマを見たのですが、日本人は真面目で勤勉で礼儀正しいですか」などです。質問をした学生の中にも日本語を勉強している学生がいます。授業だけでなくこうした質問に答え、日本での留学経験を伝えることが楽しくてうれしく、誇りを持っています。皆さまのおかげで、今の場で活躍できています。本当にありがとうございます。

いつの日かまたお会いできる日を楽しみにしています。皆さまのご健康とご活躍を祈ります。

二〇一四年七月一日
（世話クラブ：第二六九〇地区 総社吉備路ロータリークラブ。ラタナさんは、二〇〇八年、米山奨学生となり、〇九年クラブ支援米山奨学生、一〇年カウンセラー片岡太郎会員ほか会員有志による支援を受けました）

姉妹クラブ

福島南 齋藤 浩

国内外を問わず二つのロータリークラブが互いに協調して共通の奉仕活動を展開しようという事で、姉妹クラブが締結されるのは言うまでもない。しかしそれを継続するのはそう簡単ではないこともご承知の通りであり、三年もしないうちに音信不通となってしまうという話もよく耳にする。もちろん互いの協力で継続しているクラブも少なくない。

そこで、まずはお家事情を考慮して、友好クラブを締結し、今後、友好、親善関係が維持されるだろうという予測が立てば、これまでの友人としての付き合いではなく、姉妹クラブ、すなわち血縁関係を持った関係になるというのがベストではなからうか。

実際に締結する年度の理事役員は「これがそがロータリーである」と意気軒高だが、一般事業所と異なり、ロータリーは単年度で役員が入れ替わる。締結当時の意気込みが次年

度も次々年度も継続されることで、新鮮味が薄れていくのは常であらう。友好クラブを飛び越えて姉妹クラブを締結して、にっちもさっちもいかなくなっては元も子もない。離縁することなく安泰を期待するところだ。

物事を立ち上げる時には、常に失敗例を考慮しながら一歩ずつ前進する、というのが常道ではなからうか。

昔と違って、最近では数年以内で離縁する割合が非常に高い。熱しやすく冷めやすいのはどこにその要因があるのだろうか。性格の不一致が圧倒的に多いようだが、姉妹クラブを締結したからには互いのお家事情をよく知り、助け合うことに努力すべきだと思う。恥部を隠すことのない結合こそ、永続できる秘訣ではなからうか。

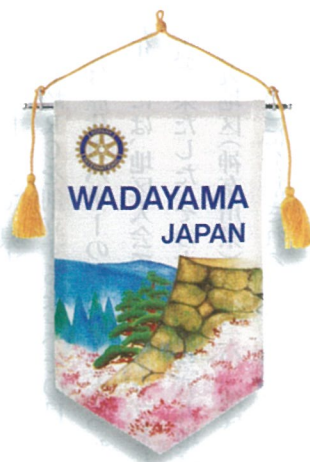
東京麹町ロータリークラブ（RC）と福島南RCは当初から姉妹クラブとして締結し、昨年一〇月二〇日、締結三周年記念式典が東京で開催され、福島南RCからは会員の二十数人が参加し、友好を深めた。宴席では隣の席になった会員と趣味などを含めて意気投合し、他の会員とは接触することができなかったが、じっくり互いの事情をより深く語り合えたことは有意義だった。

どこのクラブも大なり小なり問題を抱えていることは想像に余りあるが、それをひた隠しにしてお付き合いするのではなく、それぞれの恥部をさらけ出してこそ、本当の理解が得られるのではないだろうか。

（第二五三〇地区 福島県 歯科医）

和田山ロータリークラブ

第二六八〇地区（兵庫県）



天空の城で人気を呼んでいる国史跡、竹田城跡のある朝来市、国家戦略特区（農業特区）で有名になった養父市を地域とする当クラブは一九八一年に創立しました。地域のシンボルであるサクラと六太積（あのおづみ）といわれる竹田城跡の石垣をモチーフにしています。

していることが前提であると説いています。

3. ロータリークラブは一九〇五年二月

二三日、シカゴで生まれました。当時のアメリカは社会変動期で、資本主義の暴走によって、利己主義、悪徳商法など「身勝手な自由」が横行していました。創立者のポール・ハリスは荒廃した社会の中で、人間の絆を回復することが大切であることを悟り、一業種一人の相互扶助のクラブ構想が芽生えたとされています。

職業人が職業上の高い道徳的水準を保ちながら、職業を通じて奉仕する機会とする、日々奉仕を実践すること、奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的なネットワークを通じて国際理解、親善、平和を維持することがロー

タリーの目的です。

4. ハロルド・T・トーマス元国際ロータリー会長（一九五九―六〇年度）は、ロータリーの基本的特質ともいえる、職業分類の「原則」と例会への規則的出席が次第に希薄にされる傾向に憂慮している、と述べています。

世界的にロータリー会員数が伸び悩み、例会の出席率が低下してきているのは、ロータリーの原点から離れてきていることに原因があるのではないのでしょうか。ロータリーとは職業を人のため、世のために役立つことを実践しよう、サービス精神（思いやりの精神）を持つて人間活動の基本にするという運動であるということにほかなりません。そして、魅力あるロータリーづくりと例会出席を実現し、会員増強につなげていかななくてはなりません。（第二七一〇地区 広島県 商事弁護士）

片岡お父さんと
クラブの皆さまへ

米山学友 ティット・ラタナ

元米山奨学生（二〇〇八―一〇年）で岡山県立大学大学院修了したカンボジアのティット・ラタナです。

カウンセラー片岡太郎お父さんと総社吉備路ロータリークラブの皆さまに大変お世話になりました。カンボジアに帰国してから、



片岡お父さん（後列右）と筆者（前列中央）

クラブに連絡しなかったことは、本当に申し訳ありません。

お父さんと皆さまの貴重な支援とアドバイスのおかげで、私は岡山県立大学情報工学部を卒業、そして大学院情報システム工学専攻を修了することができ、日本の高度情報技術や日本語を習得しました。特にお父さんが苦勞して私の面倒を見てくださったことは、いつまでも私の記憶に残っています。

お父さんと皆さまのおかげで、夢をかなえることができました。私は今、カンボジア大学の講師、そしてコンピュータサイエンスとIT関係のインストラクターをしながら、JICA（国際協力機構）のプロジェクトをはじめカンボジアにおける投資、環境、農業、医療、鉱山開発、機械、技術や教育などの分野の翻訳をしています。

る時、「ロータリークラブの会員で良かった」「生きた喜びを発見できた」と思うことができるように、乗船中はロータリーの本質を大切に活動することが重要であり、このことがクラブ運営を確固たるものにしていくのだと思います。
(第二七六〇地区 愛知県 税理士)

成長が見える ロータリーに挑戦

甲府北 河野 通一

甲府北ロータリークラブ(RC)は、一九六八年一月一日、甲府RCから移籍会員三人を含む二人をもって甲府RCの六番目の子クラブとして誕生した。今井友之助特別代表の強い意向でロータリアンにふさわしい人を厳選したこともあって、創立時から周りの注目を集めた門出となった。

創立二年目にして、県内の交通の要衝である韮崎に韮崎RCを創立するなど、その目覚ましい活動は歴代ガバナーの話題にも上がった。創立五年目には、地区大会でホストクラブとしての重責を果たした。その大会は第三五九地区が第三五九地区(神奈川県)と第三六二地区(静岡県・山梨県)に分割される直前の記念すべき大会だった。以後一〇年を過ぎて、トーンが落ちたように思ったが盛り返し、二〇年を過ぎたころ、会員一〇八人を記録し、三〇年のうちに三人のガバナーも輩出した。

その後ロータリー先進国にかげりが出て日本にも影響が出た。当クラブはいくつかの新クラブの創立に会員を出したり、経済不況の影響もあって、会員数が五〇人を割ってしまった。その要因は、「本当のロータリークラブを知らない会員の増加」にあると考え、ロータリーの創始者ポール・ハリスの生い立ち、ロータリーの発想の経緯、創立から今日までの発展の歴史を知るところを基本に、地域の基幹クラブとしての誇りを失わないように頑張っている。

『ロータリーへの私の道』(ポール・ハリス著)の第二版の復刻の許可も得て、一〇〇〇部を準備し、当クラブ会員はもちろん分区内、甲府市内のクラブの会員に配り、各方面にも提供した結果、予想を上回る反響があった。今後、挑戦しようとしているのは、皆が一〇〇歳を目標に自分の生涯日記を書く「二〇〇年日記」の習慣づけである。時間はかかるがすぐにできることであり、効果は抜群だと考えている。『日本のロータリー一〇〇年史』^{〔編集〕}の付帯運動としても面白いと思っている。

ロータリーのこのような運動が出版業界や一般企業・団体を巻き込むことができれば、その成果は個人にとどまらず、政治、経済、社会の各分野で成果を生み、世界に貢献でき、日本が輝くことになるだろう。一〇〇歳を目標にするだけでも皆が今より健康管理を意識するようになり、社会に寄与するであろう。

自他ともに成長が見えるロータリークラブを目指そうと意気込んでいる。
(第二六二〇地区 山梨県 美術品製造)

ロータリーの精神と 実践についての一考察

広島陵北 渡部 邦昭

1. わがクラブのテーマを「こころゆたかなロータリアン」と決めたのは、二宮義人初代会長をはじめ創立会員の方々ですが、「こころゆたか」とは、相手の立場、人格を思いやり、理解し尊重するということ。一言でいえば、思いやりと寛容の精神ということです。

2. 私たちは資本主義社会の中で生きています。強欲の資本主義という言い方もされますが、本来、人間の欲望は限りなく、資本主義は暴走する宿命のようなものを背負っていますので、ブレーキとなるものがが必要です。

イギリスの経済学者、アダム・スミスは『国富論』『道徳感情論』の中で、個人の利己心に基ついた利益追求行動が社会全体の利益を無条件にもたらすと考えていたわけではなく、「神の見えざる手」によって経済がうまく循環していくためには、分業を担当する者がお互いを思いやる精神を共感できること、資本家と労働者との間にもこの種の「共感」が成立

長浜ロータリークラブ

第二六五〇地区（滋賀県）



日本三大山車祭の一つで、国の重要無形民俗文化財の長浜曳山まつり。絢爛（けんらん）豪華な山車は「動く美術館」とも言われ、祭りのクライマックスを彩るのが「子ども歌舞伎」。五〜一二歳の男の子が演じる歌舞伎に声援が絶えません。その子ども役者がモチーフです。

は継続的に繁栄できる、としたのです。すなわち、人のためにすることが自分のためになると気づき、そのように考え行動することとあらためて奉仕と呼びました。

この利己優先はその後、他利優先の「Self, Not Self（無私の奉仕）」なども経て、自分の存在を基軸とする標語「超我の奉仕」に至り、ロータリーの哲学に集約されていきます。このように見ると、「ロータリーの目的」に「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と記されたことが歴史的、有機的によくわかります。幸福論から始まり、道徳論が成立したのです。

従ってロータリーは知育の場ではなく、志

育の場です。そのためか歴史のあるクラブの例会はロータリアン・フェイスで満ちています。修行に専念する僧侶が、僧侶としての容貌を備えることが類例でしょうか。世のため、人のために心に例会に出席すると親睦が深まるのは、出会うロータリアンの言動に表れる奉仕の心によって友愛の交流が行われ、職業奉仕やロータリーの哲学に感覚をさらに研ぎ澄ませ、高い境地に近づくからではないでしょうか。この時間こそ、ロータリアン・フェイスが培われる場なのでしょう。

一方、この一〇〇年で社会は大いに進みました。初期の倫理観や職業奉仕の表現は見直され、「ロータリーの行動規範」に書き改められ実践しやすくなりました。また、「四つのテスト」で自分の言動を検討できるのも職業奉仕からの恩恵です。ロータリアン・フェイスを求め、職業奉仕を大切にしたいものです。

（第二六九〇地区 岡山県 理学）

ロータリーとクラブ運営

豊橋ゴールドン 福沢 省吾

ロータリーの創設者ポール・ハリスを中心に初期のロータリアンたちがさまざまな原理を開発し、たどり着いた中核概念が「親睦」と「奉仕」です。そしてこの第一義は、人間としてあるべき心、すなわち倫理を高めることです。

標準ロータリークラブ定款第四条「目的」には、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある」とした上で、四項目が示されています。これは各人が職業を通して、世のため、人のため、愛の心を持って他人の役に立つことを行い、現在よりもさらに良い社会を築いていこうというロータリー運動が、倫理運動であることを明確に表していると思います。

それではロータリーの倫理は、一体どこにあるのでしょうか。それは「ロータリアン一人ひとりの心の中に宿るもの」です。だからこそロータリアンは例会に出席し、友愛を育み、奉仕の心を学び、その成果を家庭、職場、地域社会にシェアしなければなりません。

この、例会を毎週定期的に開催するクラブ運営スタイルは「不連続の連続」だと考えます。航海に例えると、船の船長である会長は、クラブ方針を策定し、各委員会は副船長である幹事のもと乗船メンバーの委員とともにそのクラブ方針を実践していきます。この船長は毎年交代することから、当然クラブ方針も毎年変わります。「不連続」とはこのことを意味します。クラブという船に乗っている会員は退会しない限り乗船し続けます。船長とクラブ方針は毎年変わりますが、船はロータリーの目的に向かって航海し続けます。これが「連続」であり、ここにロータリーの本質があります。

私たち乗船している会員は人生を振り返

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

被災地支援と社会奉仕

仙台北 笹氣 光祚

東日本大震災から四年がたつ。国内はもちろん、海外のロータリーの仲間から絶大な支援をいただいて、被災地は普通の生活に戻ろうと努力しているが、まだ時間がかかりそうだ。残念ながら、支援活動は徐々に下火になりつつある。被災直後から数々の支援活動に携わり、見聞きしてきたが、今なお、さまざまな部門での支援を必要としている状況にあって、ロータリーで目指している社会奉仕との兼ね合いについて考えさせられる。

社会奉仕について、国際ロータリーの「社会奉仕に関する声明」では、地域のニーズの検討、活動を秩序立てるための他グループとの協力、地域社会にも参加を呼びかける、などが勧奨されている（二〇一三年手続要覧

六四ページ）とある。

『友』に掲載されている全国のクラブの活動を読むにつけ、被災地で支援を必要としている事柄をロータリアンで手伝えないものかと思案している。被災直後は緊急性のある地域ニーズに応じて各種の救援、支援を行ってきた。少し落ち着いてきた時期になって、あらためて、地域が求めている事柄を調べ、対応する必要があるのではないかと。そのために、地域のことをよく知っているロータリークラブの力を発揮する時ではないか？

小生が被災直後から関わっている公益財団法人では、世界各国の篤志家やファンと手を組んで、被災者・避難者を対象に活動している五五〇余の各種団体に、これまでに一二億円余りの資金提供をしてきた。これからもこのような活動をしていく団体は、活動を活発に行っていくと思われるが、資金的に困っている団体が多い。しかも彼らの活動は、小さな地域の小規模な活動であるがゆえに、公的な資金は行き届いてはいない。ロータリーが地域社会に強く密着していることを考えれば、地域の各種団体の活動を調査し、クラブの方針との整合性を図りながら、資金面で手伝うのも社会奉仕の一環ではなからうか？ 私としては自治体などに寄付金を預けるより、こうした団体の活動の現場に協力したり、資金を援助したりすることが有効だと思われるし、そのような活動が、ロータリーの広報活動にも寄与すると確信する。現に、震災直後の救援活動を見ていた三陸沿岸の市

民の一人が「ロータリーはこんな活動をするのか。落ち着いたら入会したい」と語っていたそうだ。（第二五二〇地区 宮城県 体育指導）

ロータリアン・フェイス

岡山東 浦上 澤之

今はまさに情報化の時代でしょうか。国際ロータリーとロータリー財団は協同で戦略を策定し、優先事項も着実に推し進め、ロータリーの奉仕の方向をまとめました。その後、インターネット上にロータリーの変化が時々刻々とそこに載せられます。そのせいか、かつてロータリーが複雑に見える、奉仕の意味がわからなくなった、と耳にすることが多くなっているように思います。

しかし、ロータリーの基本が変わったわけではありません。そもそもロータリーが始まったのは、この世での私たちの幸福は他人への思いやりと互いに助け合うことから生まれる、と意識することにありました。

ロータリーで職業奉仕は中心的課題です。ロータリーはいわば評判の良い職業人の集いであり、自分の事業に成功し、その成果から十分な利潤を上げている人々の集いといえます。ここに倫理が目覚め、利潤の中から自分に適正な利益を受け取り、残りは社会にお返しすれば、必ず社会からの報恩があり、事業



模泰吉さん

大橋泰弘さん

草野旦さん

石田昌也さん

舞台は華やかだ。早霧^{さぎり}れいな、咲妃^{さき}みゆ以下六四人の雪組メンバーが、きらびやかな衣装をとっかえひっかえ登場して、踊りまくり、歌いまくる。「タカラヅカこそ究極のコスプレ」と言えそう。

その晩は宝塚武庫川RCの例会に出席した。弁護士^{びんごし}の模泰吉^{もたいきち}さんは入会した当時の思い出を語る中、「娘が宝塚歌劇団に入ったのも、ロータリークラブに入ったのが縁だった」というエピソードも披露した。

その例会が始まる前、このクラブの創立会員で第二六八〇地区の直前ガバナーだった大室^{おほむろ}僣^{えん}さんと、地区代表幹事として大室^{おほむろ}さんを支えた大橋泰弘^{おほはし}さんの話を聞いた。

大室^{おほむろ}さんは、一九六七年に宝塚で開業した父の跡を継いだ外科医、奉仕の精神で年間三〇〇人くらいの手術をしつづけたという。もちろんタカラヅカの生徒の盲腸炎の手術なども手掛けている。宝塚歌劇のファンクラブ「愛宝会」の古参会員だ。

大橋^{おほはし}さんは、宝塚歌劇団の舞台美術デザイナーで、今公演の『ファンシー・ガイ』の舞台装置も担当している。阪神淡路大震災のとき、西宮の自宅は全壊したが、その日は仕事場で徹夜仕事をしていたので命を承らえたという。

大室^{おほむろ}さんがガバナーのときの地区大会は、二〇一四年三月一日に神戸のポートピアホールで挙行された。宝塚のクラブがホストクラブとしてやる以上、タカラジェンヌを登場させて華やかにやらねばならない。大橋^{おほはし}さんは、「この日に備えて、宝塚歌劇団の演出家・石田昌也^{しだ 昌也}さん

んを宝塚武庫川RCにスカウトしておいたのですよ」と笑う。

二月二七日まで名古屋公演をしていた宙組^{そらぐみ}の全員となるとギャラが大変なので、そのうちの二八人をポートピアホテルに拉致^{らき}してきて、アトラクションに出演してもらった。大歌劇場並みの二六段の大階段とまではいかないが、電飾付きの五段の階段を子会社の宝塚舞台に特別料金でつくってもらい、ロータリーの徽章がくるくる回るなか、ガバナー夫妻や国際ロータリー会長代理の李兆祥^{り ちょう しょう}さんが階段を下りてくるといった演出もした。

音楽も「四つのテスト」や「手に手つないで」「我が生業」などをタカラヅカの音楽家にアレンジしてもらおうという凝りようだった。地区大会の様子は写真をながめてご想像ください。

「石田メモ」によると、最近アジア圏にもタカラヅカファンが増え、観劇後にメークアップする海外からのロータリアンも多いのだとか。

「石田メモ」はこんなふうに結ばれている。

《全国のロータリアンの皆さま、ぜひ、一〇〇周年を迎えた宝塚歌劇をご鑑賞ください。手塚治虫記念館で漫画文化に触れてください。中山寺や清荒神にお参りください。古墳と植木の町を散策の後、宝塚温泉で汗をお流しください。機会あらば、ぜひぜひ「宝塚3クラブ」をご訪問ください》

池田史生^{いけだ しせい}（いけべ・ふみお）元週刊朝日記者、現在はフリーランスの記者
佐藤 敬^{さとう けい}（さとつ・たかし）写真家。人物の撮影を軸に活動。

宝塚武庫川RC例会



宝塚中RC二次会





「大階段から落ちる子はいませんよ」

と、あわてて口をはさんだのは、それまでおとなしく聞いていた草野旦さん、宝塚歌劇の演出家として「殿堂入り」している人だ。

「草野さんの奥さんはね、タカラヅカの卒業生よ。大変な良妻賢母」

と暴露したのは会長の小山一子さん。

「どうやって口説いたんだ」

などと問われて、草野さんは、

「やめてくださいよ」

と、ひたすら身を細くしている。立場上、話しくいこともあるのかしら……。不動産関係の仕事をしている竹原善記さんに、

「会員が所有するマンションに生徒が入って

いるケースもあるようです」

と振ると、再び小山会長が、

「竹原善記さんの奥さまは女医として歌劇団の嘱託医をなさっているのよ」

とぼらす。まあ、にぎやかなこと。

熱狂的なファンに支えられる
タカラヅカ

翌日、公演中の『ルパン三世』『ファンシー・ガイ』の舞台を見ることにした。朝早めにホテルを出て当日券売り場に並び、かろうじて二階席のチケットを手に入れた。行列の前後の人に尋ねると、四国の愛媛県から来た人は、午後のチケットは予約で手に入れることができたが、午前のチケットはダメだったので、当日券を手に入れるべく朝一番の飛行機で来たという。なんと一日に二度も同じ舞台を見るのだ。愛知から来たお嬢さんは、今週二度目だという。タカラヅカはこういう熱烈なファンに支えられているのだ。

座席が二五五〇、立見席が一四〇の大劇場がぎっしり埋まっている。女性客が圧倒的に多いが、わが席の後ろには、宝塚市内の中学三年生が一〇〇人余り団体で入っていて、ここだけは男の子もいる。卒業前に一度はタカラヅカを見せておこうという配慮か、高校の受験を前にリラックスさせようということか。男子生徒の一人は、「初めてです」と緊張していた。

「2013 - 14 年度 第 2680 地区大会」では宝塚歌劇団宙組が公演。写真右のタカラジェンヌに囲まれているのが大室ガバン（当時）





手塚治虫記念館

宝塚に行く前、宝塚武庫川ロータリークラブ（RC）幹事の石田昌也さんから「わがまち宝塚」という長文のメモを頂戴した。石田さんは幼稚園のときから宝塚で過ごし、東京の大学を出た後、歌劇団に就職、演出家として活躍して、現在は宝塚歌劇団理事の肩書を持つ「宝塚っ子ロータリアン」である。

さすが演出家のメモだ。宝塚にある宝塚RC、宝塚中RC、宝塚武庫川RCの「宝塚3クラブ」には「宝塚歌劇団関係」といべき人がたくさんいて、ほどよくつながっていることが巧みに紹介されているのである。この「石田メモ」を頼りに宝塚での取材をすることに決めた。

まず、石田さんに会った。仕事の合間を縫って、こちらの止宿先のホテルまで出向いてくれた。そういうことなら、どんな仕事ぶりか見せてほしくもあるから、歌劇団のほうに参りましょうかと提案すると、一笑に付された。

宝塚歌劇団のけいこ場は男子禁制、汗みどろで踊りのレッスンをしている光景などをお見せするわけにはいかないというのであった。

宝塚歌劇団の生徒（宝塚音楽学校の生徒ばかりでなく、そこで二年間の勉強をした後、舞台に立っている劇団員も含めてすべて生徒というのだそう）は四五〇人、みんな独身の女性であるから、身長・体重、本名、生年月日、住所など、隠せるものはすべて隠すことになっているのだという。うかつにもそんなことは知らなかった。ファンの夢を壊さないための配慮だと聞けば、なるほどと納得せざるを得ない。

その晩は、宝塚中RCの例会があるというの

で訪ねてみた。例会の後、二〇人ほどの会員が二次会をしている席にお邪魔した。

宝塚というのとはどういうところですか。

「古来、古墳がたくさんつくられた土地、宝塚という地名もそれに由来しているらしいよ」

「植木の里として有名なんだよ。接ぎ木の技術を発見したので、豊臣秀吉から『木接太夫』の称号を授かった坂上善太夫という人は、坂上田村麻呂の流れをくんでいる。山本地区にはい

まも坂上姓の人が多く、わが宝塚中RCにも坂上栄樹さんという植木屋さんがいる」

「宝塚は温泉の町として知られていたが、一九九五年の大震災で温泉街が壊滅した。旅館や企業の保養所などだったところの跡地にいまはマンションが林立しているんだ」

「西国三三か所の札所参りの人たちが行き交う巡礼街道には、安産の仏さまとして知られる中山寺、かまどの神さまの清荒神清澄寺など、参拝客が多い」

「手塚治虫の育った土地。手塚さんが亡くなってからできた市立の手塚治虫記念館には手塚さんの全作品がそろっている。手塚さんは幼いとき昆虫に夢中になっていたが、タカラヅカにも親しんでいる。幼い手塚さんが天津乙女と並んだ写真が残っている」

話題がタカラヅカに移ると、にわかに盛り上がる。幹事の栗田義博さんは、京大のアメリカンフットボール部のチームドクターをしている外科医、市内で開業している。

「歌劇団の生徒も捻挫などの治療にこっそり来ますよ。大階段を踏み外したりするのかな」

田村麻呂の幼名「松尾丸」を冠した松尾神社

中山寺

清荒神清澄寺



わがまち.....ROTARY そしてロータリー

兵庫県 宝塚市

オー、一〇〇年たったかタカラヅカ 夢の町を支える人たち

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

古墳、植木、温泉、神社仏閣……
そして、タカラヅカ

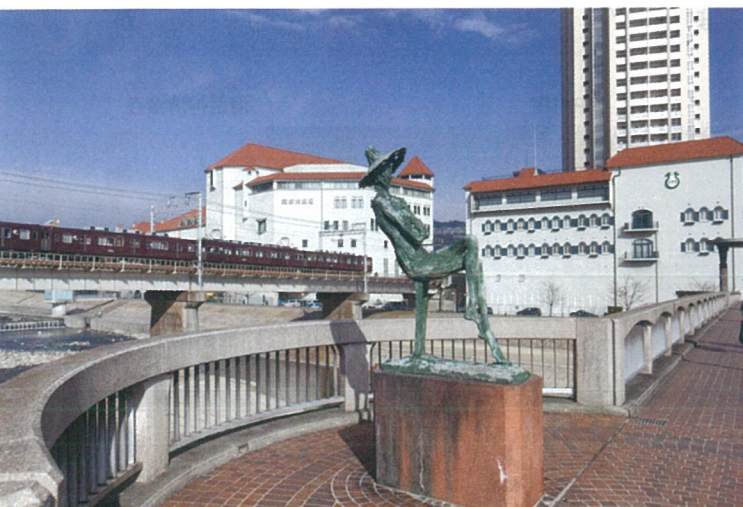
宝塚市と言えば、へすみれの花咲くころ……
のタカラヅカである。「清く、正しく、美しく」
の宝塚歌劇団の町である。その歌劇を見るため
に日本の各地から宝塚大劇場を訪れる人は年間
一〇〇万人を超える。

大阪、神戸からそれぞれ電車で一時間圏内の
土地だから住宅地としても開発が進んで、宝塚
市の現在の人口は二二万余り。市政が施行され
て六〇年の間に五倍以上にもなった。阪急電車
の乗客増をねらって一〇〇年前に宝塚歌劇団を
創設した小林一三さんもあの世でニコニコして
いるに違いない。

そのころに生まれて、いま一〇七歳になる遠
縁の女性が、東京で老人ホーム暮らしをしてい

る。週に一度は見舞っているが、この婆さまが
大阪の生まれ育ちで、聞けば、女学校時代には
毎月、宝塚の少女歌劇を見に行っていた
というではないか。天津乙女、小夜福子
といった伝説のスターが活躍する舞台を
この目で見たと、うれしそうに話す。

こちら、四〇年ほど前、『ベルサイユ
のばら』が上演されて大ヒットしたと
き、初めて東京宝塚劇場でタカラヅカを
見て、演出の長谷川一夫さんに会つても
いる。そのとき、長谷川一夫という往年
の大スターが意外にも小柄だったのでへ
エーと思った記憶が鮮明だ。しかし、こ
の後、宝塚歌劇とは縁のないままに過ご
してきた。今回、その本拠地を訪ねるこ
とになって、もう少し親しんでおけばよ
かったと後悔した。



私が一番心配しているのは、「内臓脂肪を減らす」と言われているサプリメントです。中身は防風通聖散という薬で、体が熱っぽくて、血圧がやや高め、元氣いっぱいの人が使う薬です。体がやや虚弱で、冷え性ぎみの人が飲むと、ますます冷えてしまつて具合が悪いのです。ただ、体重が減ることについては、成果が上がります。だから売れるのです。体がだるくなつて食欲がなくなつて、ものが食べられなくなるから、やせるのです。

漢方薬は、万人に効くことはありません。集団があつたら、陽のグループと陰のグループの人がいて、使う薬が違います。食べ物にも、陰陽の考え方を当てはめるところが大変に面白い。これが、すこやかに生きる一つの知恵になつていくのではなからうかと思っています。

また、西洋医学は、内臓はおのの独立した機関として扱つていて、専門家が育つております。しかし、東洋医学では五臓、すなわち肝臓、心臓、脾臓、肺、腎臓はリンクしていると考えられます。「五行」、木火土金水、この世の中は五つのエレメントできている、とまず分類します。これはおそらく、インド哲学の影響を受けていると思われます。木火土金水、これは十二支と甲、乙などの十干がありますが、この十干のもとになつていくものなのです。

「木」は肝臓で、胆嚢と関係し、その出張状態は目に表れて、筋肉の緊張状態に影響します。感情では怒り。約二〇〇〇年前、私たちは脳の働きがよくわからなかったものですから、肝臓は怒りをコントロールする場所で、色で言つと

青なのだろうと考えました。

このように一つの連関したものにとらえて、五行にそれぞれ臓器を当てはめ、五臓色体表を整備しました。

例えば、怒りやすい人。青筋を立てて怒る、という表現をしますが、青と関係しています。肺は大腸の関係と裏表になつていて、具合が悪いことは鼻に起こってきます。そして「皮毛」、これは皮膚のことですが、これに影響し、感情的には「憂い」、憂鬱になつてしまうということです。これは白に分類します。このように、みな一連の関係があるということです。

こうした考え方は臨床にとっても役立ちます。最近、アトピー性皮膚炎とか、気管支喘息などのお子さんが来ます。西洋医学では、アトピーは皮膚の病気で、皮膚に塗り薬を塗つて、抗アレルギー剤を内服するということが行われていますが、それで本質的によくなる例は、私は少ないように思います。

では漢方の場合どうするか。皮膚だから、腸の調子を良くしてあげなければいけない、と思うのです。下痢しやすい子であれば、下痢が止まつて毎日きれいな大便が出るようにする。便秘がちな子であれば、腸の動きをよくして、毎日快い便が出るようにする、というような操作をしてあげますと、アトピー性皮膚炎は良くなるのです。こういう発想が要素還元的に、皮膚は皮膚だけ、と切り出したとたんに、全体が見えなくなつてしまつていくということなのです。

先ほどの「木火土金水」、臓器では「肝心脾

肺腎」「胆小腸胃大腸膀胱」、これは味で言うところ「酸苦甘辛鹹」となり、これには色があります。木、肝臓と胆嚢、これは酸で青です。食べ物でいうとホウレンソウとかニラとかです。青物、緑色のものは必ず、食卓にあるようにしましょう。心臓と小腸は苦、赤、オレンジですから、ニンジンとかカボチャ。それから甘、脾臓と胃は大豆のように黄色の色をしたもの。肺と大腸は辛、色は白です。腎臓と膀胱は鹹、これは塩辛いという意味ですが、色は黒で黒ゴマとかヒジキとか海藻類です。

一日のうちに五色を整えるようなもの、しかも可能な限り、ハウス栽培ではなくて、その時期に露地でできるものを食卓に上げるようにし、それを楽しい家庭環境の中で、おいしく、よくかんで食べるというのが、すこやかに生きるポイントです。

このようにして食事を行つていきますと、例えば肝臓を、心身一如の機能単位としてとらえるので、安定して怒りを抑えることができます。新陳代謝も良くなりますし、血を貯蔵していくので全身に栄養が補給されます。骨格筋の緊張も維持されます。

今の医学では、体の力が衰えたことを健全に保つていくのは不得手なものです。日本はもう一つの知恵、「漢方」という、体内の変化を体表で認識する、素晴らしい医療技術を現実に持つていくということ、この「漢方」、すなわち「和魂和才」、この形の医療が実践できるように、日本のアイデンティティーをこれからも、大事に育てていきたいと思っています。

吐く時が大事で、ゆっくりとその空気が鼻からではなくて手指の先、足指の先から、すうーつと出ていく。これが、すこやかに生きるための健康の秘訣です。何回も行いうことはありません。十回くらいこれを行いますと、非常に平穏な心、穏やかな心を取り戻すことができます。

呼吸が非常に大事です。呼吸がしつかりできていなくて、胸で浅く息をしていると、ろくなことがありません。特に忙しくなってくると、身が縮んできて空気がうまく入ってきませんから、この呼吸法は大事です。

食物もバランスの良いもの、その時期にできるものをよくかんで食べること、「かむこと」は非常に大事です。よくかみますと、ボケも防げます。かむと脳の血流が三〇〜四〇割も上がるといことは、科学雑誌に出ています。脳の血流状態は計測できるのですが、五〇回くらいかむと、咬筋を、かむ筋肉を収縮させ、血流がよくなっていくということが知られています。

また、血流を、気をめぐらせていくためには、良い社会環境、職場環境、あるいはロータリーのような知友の集い、交流が大事です。ロータリーは長生きすると思います。じつとしていると、うつ状態になって、何もする気がなくなってしまうです。ですから、ロータリーの例会に出かけて、次のプロジェクトなどを考え、頭を使っていると、自分の専業である仕事とは、全く別の脳の部分を使っていますから、気がよくめぐっていくことになると思います。

このごろの若い女性でも「パワースポット」ということを言うのですよね。特別エネルギー

の強い場所があるように思います。出雲大社。行っただけで元氣になります。そこにはエネルギーが濃密にあるのです。逆に、そういう場所に、神社やお寺を建てたということです。気圧、パワーがしっかりと濃密にあるということが見える人がいるのです。そういう所へ行くと、携帯電話の急速充電のように、人も元氣になるといふことなのです。

日常生活では、気の衰えた状態「虚」のときには、まず反省してみなければなりません、まず胃腸を冷やすようなことをしていると、パワー不足になります。ですから、夏に冷たい食べ物ばかり食べていては、パワーが出ないので、胃を冷やさないこと。

体を冷やす食べ物があります。グレープフルーツは、運動した後飲んだり食べたりするもので、ビタミンが豊富だからといって、少し冷え性の人がこんなものを毎日食べたなら、最悪です。逆に冷やさないのはバナナとかリンゴです。冬には、ゴボウ、ダイコン、ニンジンといっ

た根菜類を入れた鍋物などを食べますと、エンジールームがよく動くようになり、元氣が回復できます。それで足りない時は、各種の漢方薬があります。

ものごとには陰と陽がある

もう一つ漢方の知恵です。ものごとには陰と陽があるということです。例えば、易で判断、占いをしますが、元になったのは、中国の古い古典『易経』です。これは陰陽論で成り立っています。陰と陽の組み合わせで、どういうことがこれから起こるか、ということ予測するのです。その陰陽の考え方が、医学にも持ち込まれました。同じ病気、西洋医学的に言うと同じく「慢性肝炎」と診断されても、東洋医学では陰に診断された人と、陽に診断された人では、治療戦略が違ってくるという知恵を持っているのです。



■千葉中央メディカルセンター
和漢診療科・部長

寺澤 捷年

一九四四年 東京生まれ。七〇年 千葉大学医学部卒業。七九年同大学大学院医学研究科博士課程修了（中枢神経解剖学専攻、医学博士）。同大学医学研究科神経内科学助手、富山医科薬科大学附属病院和漢診療部長。八二年 富山医科薬科大学医学部助教授。九〇年 同大教授。九三年 富山医科薬科大学医学部和漢診療学講座創設、教授。九九年 富山医科薬科大学医学部長（兼任・二年間）。二〇〇二年 同大学副学長・附属病院長（専任・二年間）。〇四年 同大学大学院医学研究科教授（二世紀COEプログラムPMOPプロジェクト責任者）。〇五年 千葉大学大学院医学研究科和漢診療学講座創設、教授就任。一〇年 千葉中央メディカルセンター和漢診療科・部長。著書に『吉益東洞の研究』岩波書店、二〇一二年、『漢方開眼・わが師藤平健先生』医聖社、二〇一四年など。

ういうものを捨て去っていいこう、とするキーワードです。

内臓脂肪を減らす薬を、今、大宣伝していますよね。でも、そういう薬を飲む前に、自分が摂るカロリーの量を抑制していく、欲との闘いに勝たなければならぬのではないですか。「生活習慣病」と言いますが、食べるのが当たり前の生活習慣なのです。日ごろ当たり前にしていることにもう一度チェックを入れてみるということが、非常に大事なことです。

西洋医学と東洋医学の最も根本的な違いは何か。喜んでみたり、悲しんでみたり、怒ってみたりというような感情と、人間の体は密接に関連している、というのが漢方の世界なのです。ただし、僕は漢方の世界だけが正しいとも言いません。

西洋の医学では心は神様がつかさどるもので、あとは生物学的な、モノとしての存在の人間、これを不可分にしていますから、多くの場合、血液の検査をする、あるいはCT（コンピュータ断層撮影装置）とかMRI（磁気共鳴画像装置）、そういったものでまず検査を試みます。結果はなんでもないので、患者さんはつらくて「先生、もうだるくて朝起きても起きた気がしない、何もする気が起きない」と言いますと、さらにいろいろ検査をして「なんでもないですよ」。これでおしまいです。

それでもつらいと訴ええると、「うつ状態でしょうかね。抗うつ剤を出しましょう」ということで、とんでもない向精神薬が出されることになります。心と体のリンケージを考えられな小医

療システムなのです。その意味では、漢方は優れています。

今まで私たちが習ってきた医学では、「頭痛い」となると神経内科か脳外科、「心臓が痛い」「ときどきする」となると循環器内科、「便秘をする」となると消化器内科、「腰が痛い」と整形外科ということになります。人間の本質を理解するには、体を部分部分に分けて、細かく研究して、手術法とか治療法を研究すると全体がわかるという理論ですね。これを「要素還元論」と言います。

英語ではElementary Reduction Theoryと言うのですが、これで全体がわかる、というのは、私はうそだと思っています。今、医療の最大の問題は、神経内科の先生は頭痛に対して一生懸命診断、治療してくれて、循環器内科、消化器内科、整形外科も、それぞれベストを尽くしてくれるのですが、それでもらってきた薬の数が二〇種類になってしまう、ということがさらにあるということです。それで健康が得られるか、すこやかさが獲得できるかというと、そんなことはないと思います。

私は厚生労働省の行政にも長く携わりまして、薬の許可認可の審査員をしていたのですが、そこでの審査は、一個一個は効果を担保していますが、一緒に合わせて飲んだ時の相互作用にはほとんど関心を払っていないのです。

こういうことが、今、日本の医療が持っている最大の問題のように思われます。その点、漢方は心の部分も、体の部分も、トータルでものを見ていくノウハウを持っています。

正しく呼吸し

「気」を取り入れる

その根幹となるものが「気」の思想です。気というのは、エネルギーの場です。地球環境にはエネルギーが満ちていて、それが閉鎖空間をつくっているのが私たちの存在なのです。この「気」の量がしっかりと保たれていて、よく循環していると、天寿を全うできるということです。

東洋の、漢方の世界で寿命は一二〇歳くらいと言われています。このごろ分子生物学が進歩してきて、人間の寿命がどうかと言うと、やはり一二〇歳という数字なのです。細胞は分裂し若返っていくのですが、それにも限度があり、分裂回数の、正確に言うところ「テロメア」という遺伝子についている鎖の部分がだんだん切れて、転写、コピーができなくなってしまうのです。それが一二〇歳ということです。

要するに「気」の量が、パワーがしっかりといて、よく循環していること。それには、すこやかに生きねばなりません。呼吸が大事だ、というわけですね。エネルギーの場からエネルギーを吸うわけですから、きれいな自然環境でなければなりません。

正しく呼吸するにはどうしたらいいかということが、すこやかに生きる、お金のからない方法です。その呼吸法ですが、背筋を伸ばして、あごは引きまします。そしてゆったりと肩を落として、鼻からおなかの中、おへその下のところまで、ぐうっと空気を吸ってくるようにします。



国家や個人が経済的に豊かになることが、最大の目的になってしまっています。それが「幸福だ」と言って、経済至上主義になり、これが経済格差を生んで、さまざまな社会的な問題を生んでいる根本にあります。経済的な豊かさはおしろ心を貧しくしている、という気がしてなりません。社会の中で生活を営んでいる一個人の間ですから、社会が健全でなければ、一個人の間が健全であるわけがありません。今、漢方の世界から「すこやかに生きる」ということを考える必要があります。

自然の中でわれわれは生かされているといったような、大自然、自然との共生を、われわれは明確に意識していません。自然に対して、十分に畏敬と感謝の念を持っていません。

島根県は、魚が特別においしいのですよ。豊かな山があつて、川が流れて、いいプランクトンがつくられて、それを食べているお魚が日本海の荒波にもまれて、おいしい魚になっていくのではないかと思うのですが、このように自然は大きく循環しているものであつて、その中に、人間がたまたま生かしてもらっている、という考え方を、しっかりと持っていかなければならないだろうと思います。

心も体も

トータルで見えていく

このごろ、若い女性の中で「断捨離^{だんしゃり}」という言葉がはやっています。これは「欲」というものの逆です。人間に欲はいろいろあります。こ

和魂和才

すこやかに生きる漢方の知恵

今の医学では、体の力が衰えたことを健全に保っていくのは不得手なものですが、日本は「漢方」という、体内の変化を体表で認識する、素晴らしい医療技術を現実を持っています。この「漢方」、すなわち「和魂和才」、この形の医療が実践できるように、日本のアイデンティティーをこれからも、大事に育てていきたいと思えます。

千葉中央メディカルセンター和漢診療科・部長 **寺澤 捷年**
Katsutoshi Terasawa

自然の中で われわれは生かされている

日本が本当にいい国だと思うのは、自然環境、文化、科学技術、価値観、宗教観を基盤として、国民皆保険制度の中で、西洋医学も漢方も、一緒に保険適用になって、治療を受けることができるということです。

私が行っていることがまさしく漢方で、診断としては、西洋医学的に判断にしっかり見落としがないように検査をし、西洋医学の薬も必要最小限、漢方薬とともに使っていくということをしておりまして、世界広しといえども、これができる国は、わが日本だけです。

明治維新政府は、科学技術、産業、経済などさまざまな領域で近代化を遂げなければなりません。開国以来、日本はドイツの医学を学ぶことで精いっぱいだったと思います。多くの優秀な人材を外国へ送り込みました。

日本で医療用に使っている薬の規格を示した「日本薬局方」というものがあります。第一版は明治時代に、その改訂第二版が正の初期にできているのですが、すべて「ドイツ薬局方」

を翻訳したものでした。当時、医薬品は全部、科学の先進国であったドイツから輸入していました。

第一次世界大戦で日本はドイツを敵国とし、協商国側について戦勝国になりましたが、戦争状態に入るとたんに、ドイツから一切の医薬品が入らなくなってしまうしました。これはやりすぎたのではないかと、という反省もあって、そこから、漢方復興の機運がだんだんと高まってきたということ、これが、歴史が示している事実です。

中国医学には、約二〇〇〇年前に出来上がったテキストがあるのですが、そういったものに準拠し成り立っている医学を、遣隋使や遣唐使、日宋貿易、日明の交流といったものを通じて、輸入して成立したのが日本の漢方です。

中国からそっくり技術導入していたのですが、江戸時代の中期、將軍徳川吉宗（一六八四（一七五二）のころに、吉益東洞（一七〇二（一七七三）という人が現れ、医療改革を行いました。全くの発想の転換を行ったのですが、これによって、日本独特の漢方医学が成立することになりました。

この吉益東洞は、臨床を確立していった科学的な考え方の持ち主でしたから、その弟子からはたくさんの方の蘭学者、「蘭方」というのですが、オランダ医学を勉強しようとする人たちが出ました。こういう人たちに對して、大きな土俵をつくり環境を整えてあげたことが、彼の一つの大きな功績だと思っています。

現代の、日本全体の病的な状況を見ますと、

3月は識字率向上月間です
3月9～15日は世界ローターアクト週間です

THE ROTARY-NO-TOMO

和魂和才

すこやかに生きる漢方の知恵

■千葉中央メディカルセンター和漢診療科部長 寺澤 捷年

4 81

シリーズ わがまち……そしてロータリー

オー、一〇〇年たったかタカラヅカ 夢の町を支える人たち

兵庫県 宝塚市

文・池辺 史生 写真・佐藤 敬

9 76

友愛の広場

被災地支援と社会奉仕

ロータリアン・フェイス

ロータリーとクラブ運営

成長が見えるロータリーに挑戦

ロータリーの精神と実践についての一考察 広島陵北 渡部 邦昭

片岡お父さんとクラブの皆さまへ ティット・ラタナ

姉妹クラブ 福島南 齋藤 浩

●バナー自慢

卓話の泉

家紋と紋章上絵師

サブリメントについて

星を見つめて

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

◆長谷川 權 選

◆馬場あき子 選

◆てじま晩秋 選

中林 彰

岸和田 毛利 高二

佐藤 直人

18 67

13 72

仙台北 笹氣 光祚

岡山東 浦上 澤之

豊橋コールドン 福沢 省吾

甲府北 河野 通一

テイト・ラタナ

福島南 齋藤 浩

ロータリー・アット・ワーク

岡山市の公園に

「花と緑」を贈る

岡山後楽園ロータリークラブ

〈写真〉四日市東／八戸北／荒尾／京都西山／那覇南／白石北／横浜瀬谷／生駒／弟子屈／三次・小林／海老名／砂川

児童養護施設で図書寄贈と人形劇披露

ちよつとよいこと！ 日台野球の父をたたえる

スポーツ指導者への講習会を実施

目指せ！ 卓球で東京オリンピックへ

地域の人たちと海岸清掃

ロータリーデー清掃活動

親子で楽しむ多摩川の自然観察

全国切手展に参加しました

伊勢神宮「初穂曳」に参加

ソウル漢水RCとの交流

江南RC五〇周年記念講演会を開催

第二七三〇回の記念例会を開催

初めての医療市民公開講座大成功！

刈谷RCバンド結成二〇周年記念ライブ開催

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

表紙 横組み 「雪原カーニバル」 山内 正胤（二五六〇 十日町）

表紙 縦組み 「二羽のカワセミ」 小島 常男（二六六〇 大阪船場）

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



22 63

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ポリオのない世界まで あと少し

子どもたちが、ポリオによって二度と体の自由を奪われないよう
今こそポリオを世界から撲滅しましょう。

歴史に1ページを刻むために
募金、認識向上、支援の働きかけにご協力ください。

endpolionow.org/ja



あと少し

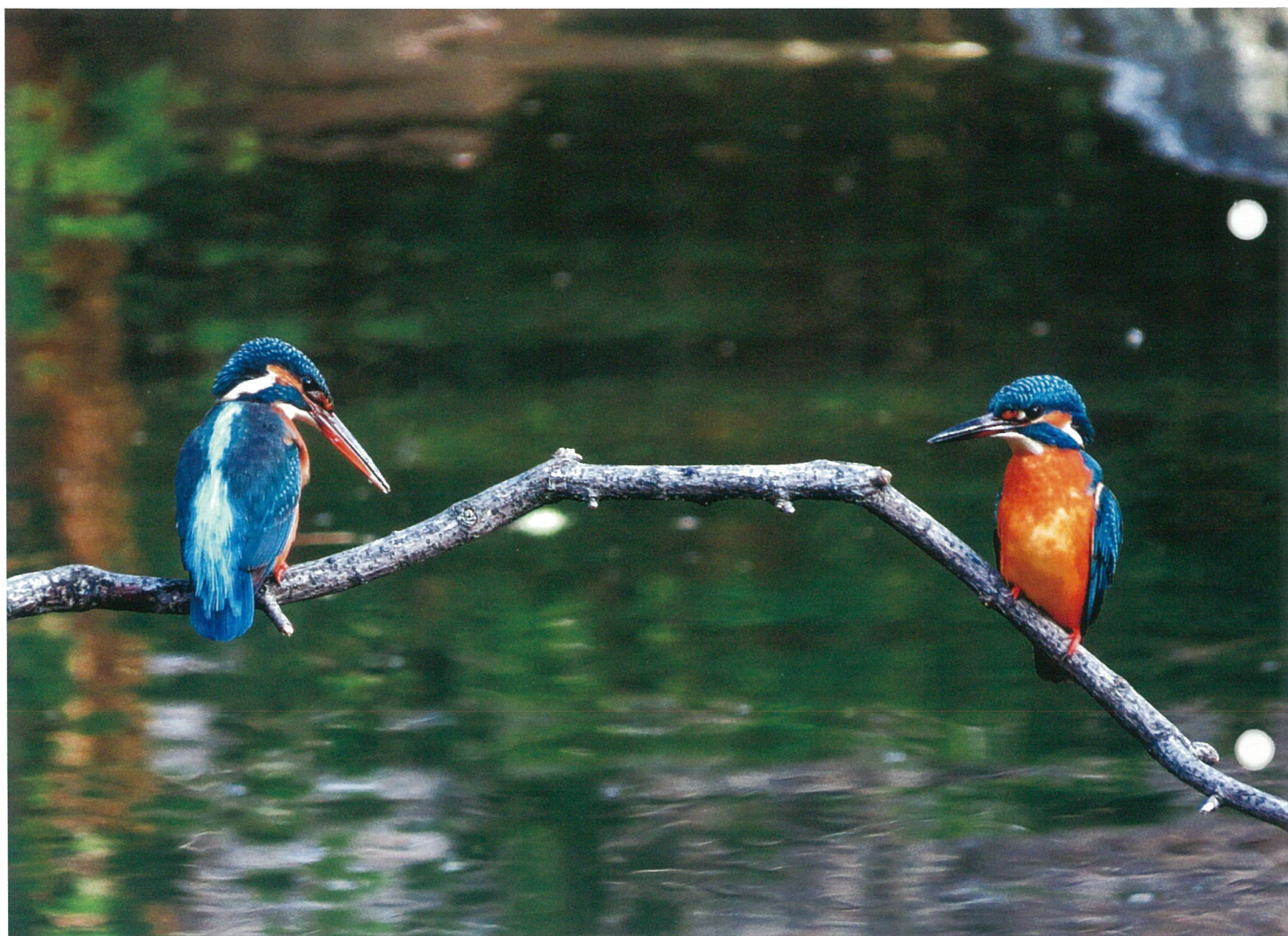
Itzhak Perlman

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO MARCH 2015 VOL.63 NO.3

ロータリーの友3月号 第63巻 第3号
平成27年3月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻747号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

3
2015



SPEECH ———

和魂和才

寺澤 捷年

わがまち……そしてロータリー

兵庫県宝塚市

Rotary 